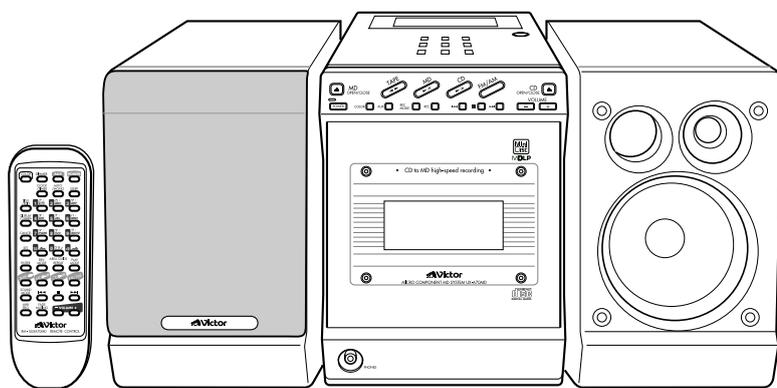


マイクロコンポーネントMDシステム

型名 **UX-A70MD**



* 外観のデザインは色によって異なります。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

MDLP

Mini
Disc

はじめに 3

準備 11

聞く 17

録音する 30

編集する 41

タイマーを使う 50

知っておいて
ほしいこと 55

● もくじは 2 ページにあります。

— お買いあげいただきありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ~ 6 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

- 安全上のご注意 3
- 使用上のご注意 7
- 各部の名前とはたらき 8
 - ・本体正面および上面 8
 - ・表示窓 9
 - ・リモコン(RM-SUXA70MD) 10

準備

- 準備と接続 11
 - ・リモコンの準備 11
 - ・アンテナの接続 11
 - ・スピーカーの接続 12
 - ・スピーカーの設置 12
 - ・他の機器の接続 12
- 電源の「入/切」について 13
 - ・電源コードの接続 13
 - ・POWERボタンを使う 13
 - ・イチ押しボタンを使う 13
- 基本の操作 14
 - ・時計を合わせる 14
 - ・電動パネルの照明について 15
 - ・音量を調節する 16
 - ・重低音を強調する 16
 - ・サウンドモードを選ぶ 16

聞く

- 放送を聞く 17
 - ・オート選局/マニュアル選局 17
 - ・放送局を記憶させる(エリアガイド) 18
 - ・記憶(メモリー)した放送局を選局する 18
 - ・放送局を選んで記憶させる(プリセット) 19
- CDを聞く 20
 - ・CDの演奏 20
 - ・CDのリピート演奏 21
 - ・CDのプログラム演奏 22
 - ・CDのランダム演奏 23
- MDを聞く 24
 - ・MDの演奏 24
 - ・MDのリピート演奏 25
 - ・MDのプログラム演奏 26
 - ・MDのランダム演奏 27
- テープを聞く 28
- 他の機器の音を聞く 29

録音する

- 録音する前に 30
 - ・録音方式について 30
- MDに録音する 32
 - ・CDのシンクロ録音 32
 - ・CDの倍速録音 33
 - ・放送やテープ、他の機器からの録音 35
- テープに録音する 37
 - ・CD/MDのシンクロ録音 37
 - ・放送や他の機器からの録音 38
- MDとテープに同時録音する 39

編集する

- タイトルをつける 41
- トラックを編集する 44
 - ・曲を分ける(DIVIDE) 45
 - ・曲をつなげる(JOIN) 46
 - ・曲を移動する(MOVE) 47
 - ・曲を消す(ERASE) 48
 - ・全曲を消す(ALL ERASE) 49

タイマーを使う

- タイマーを使う 50
 - ・RECタイマー(録音タイマー) 50
 - ・DAILYタイマー(目覚ましタイマー) 52
 - ・SLEEPタイマー(おやすみタイマー) 54

知っておいてほしいこと

- MDのメッセージ 55
- MDの技術解説 56
- MDの制約について 57
- エリアガイド放送局一覧 58
- CD、MD、テープの取り扱いについて 60
- 故障かな?と思う前に 62
- 保証とアフターサービス 63
- ビクターサービス窓口案内 64
- 主な仕様 65
- 索引 66

MDLPについて

●MDLPはMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用したステレオ2倍(または4倍)長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダー/プレーヤーまたはATRAC3による音声録音されているMDメディア(レコーダブルメディアを除く)に表示されています。

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

注意をうながす記号



一般的注意



感電

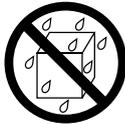
行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示



電源プラグを抜く

はじめに

警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）



電源プラグを抜く



このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



分解禁止

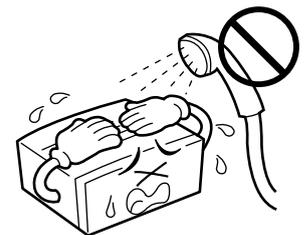


風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

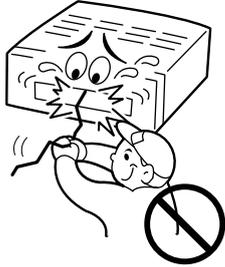


警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



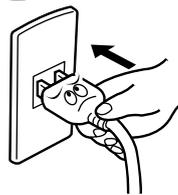
接触禁止



電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。



交流 100 V (ボルト) 以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

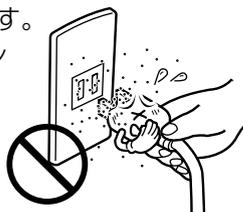
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。

定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。



⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

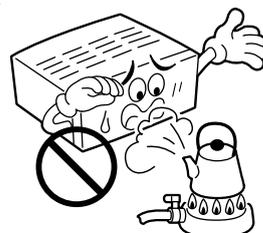
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す



置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

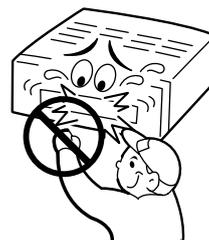


電源プラグを抜く



可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。



⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



手を挟まれないよう注意

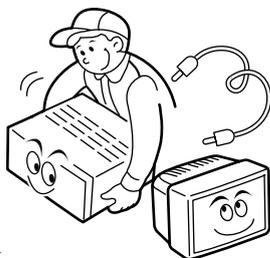


移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

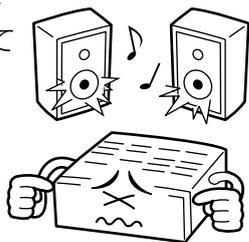
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。



はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。



電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく



ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。



もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

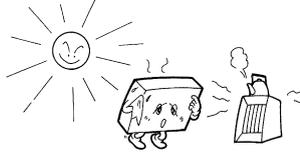
—はじめにお読みください—

本機やCD、MD、テープの置き場所について

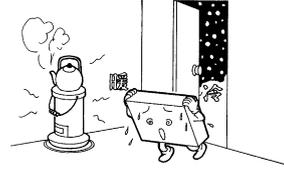
故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。



- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所



- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く



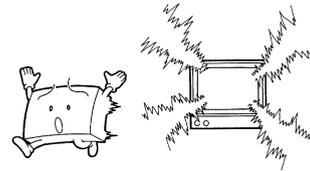
- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間



- 極端に寒い所



- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所



- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がからないような音量でお聞かせください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。



このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ヘッドホンをご使用になるときは、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

本機は電動パネル内に光センサーを使用していますので、直射日光などの強い光が当たる場所で使用すると電動パネルが誤動作することがあります。このような場所は避けてお使いください。

露がついたら

次のようなとき、本機のレンズに露(水滴)が付いて正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1~2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品をお確かめください。

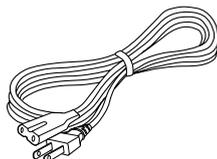
万一、不足しているものがありましたら、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡ください。



リモコン
RM-SUXA70MD
(1個)



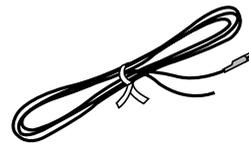
リモコン用
単3形乾電池
(動作確認用、2本)



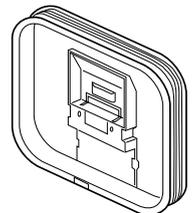
電源コード
(1本)



スペーサー
(2個)



FM簡易型アンテナ
(1本)

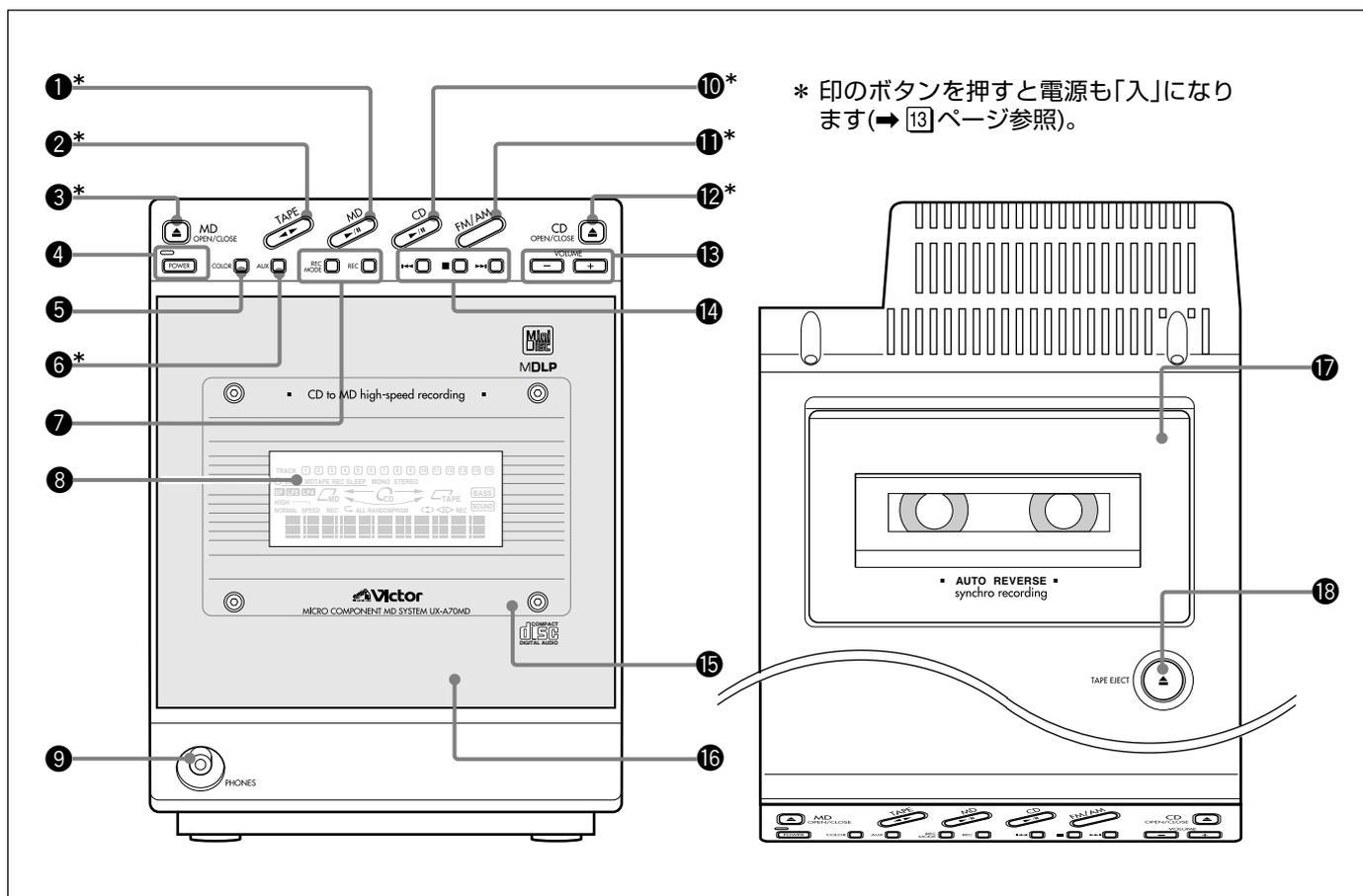


AMループアンテナ
(1個)

- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

各部の名前とはたらき —□内の数字のページに説明があります—

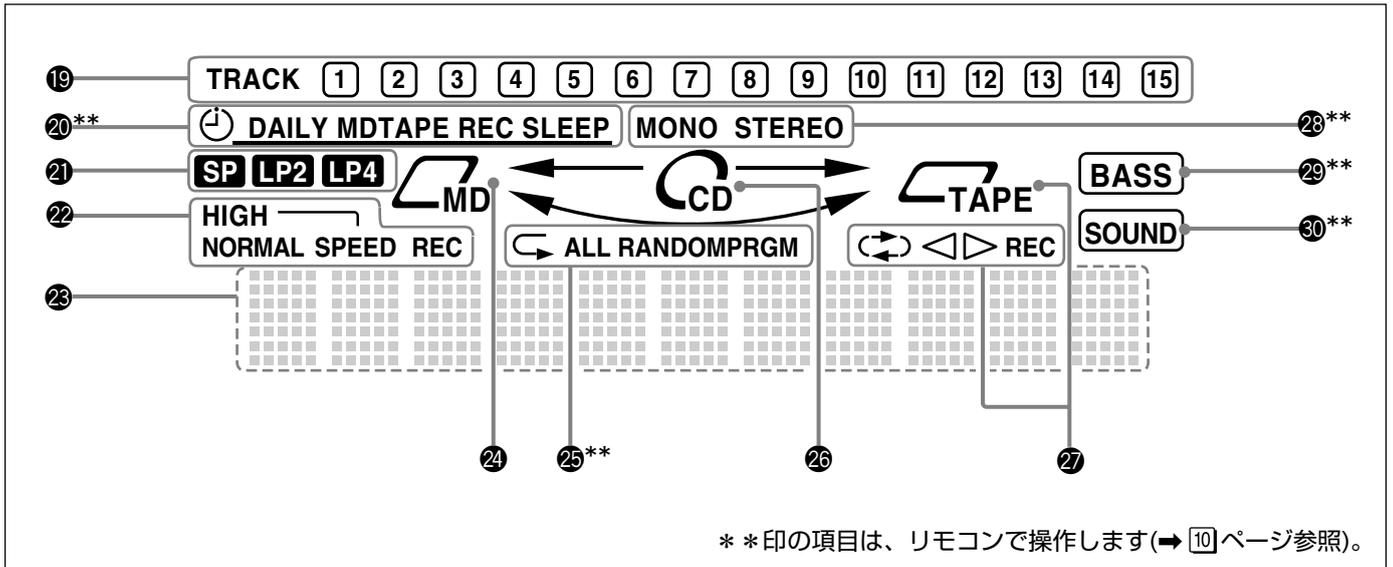
本体正面および上面 (CA-UXA70MD)



* 印のボタンを押すと電源も「入」になります(⇒13ページ参照)。

- ① MD ▶/|| ボタン 13 24*
MDの演奏を始めます。演奏中に押すと、一時停止になります。
- ② TAPE ◀▶ ボタン 13 28*
テープの再生を始めます。再生中に押すと、テープの走行方向が変わります。
- ③ MD OPEN/CLOSE ▲ (MD取出し) ボタン 24*
電動パネルが下がってMDスロットが現われます。MDが入っているときは、MDが取り出せません。
- ④ POWER (電源) ボタンと電源ランプ 13 15
電源を「入/切」します。「入」のとき、ランプが点灯します。
- ⑤ COLOR ボタン 15
電動パネルと表示窓の照明を切り換えます。
- ⑥ AUX (外部機器) ボタン 13 29*
他のオーディオ機器を接続したときに使います。
- ⑦ 録音ボタン (ふたつのボタンを続けて操作します)
REC MODE ボタン 30 32~40
録音方式を設定します。
REC (録音) ボタン 30 32~40
録音を始めるとき押します。
- ⑧ 表示窓
演奏中や録音中、操作中にさまざまな情報を表示します。
- ⑨ PHONES (ヘッドホン) 端子
ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。
- ⑩ CD ▶/|| ボタン 13 20*
CDの演奏を始めます。演奏中に押すと、一時停止になります。
- ⑪ FM/AM ボタン 13 17*
ラジオ放送を受信します。受信中に押すと、FMまたはAMに切り換わります。
- ⑫ CD OPEN/CLOSE ▲ (CD取出し) ボタン 20*
電動パネルが上がって、CDトレイが出てきます。
- ⑬ VOLUME (音量調節) +/− ボタン 16
「VOL. MAX」(最大)~「VOL. MIN」(最小)までの41段階に音量が調節できます。
- ⑭ ◀◀ / ■ / ▶▶ ボタン
これらのボタンは、CD/MDやテープの早送り、早戻し(巻戻し)、CD/MDの頭出し、時刻やタイマーの設定、MDの編集など、ソース(音源)やモードに応じて使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。
- ⑮ リモコン受光部 10
- ⑯ 電動パネル 15
CDやMDを出し入れするときに開閉します。MDを入れたときは、自動で閉まります。
- ⑰ カセットホルダー 28
- ⑱ TAPE EJECT ▲ (テープ取出し) ボタン 28

表示窓



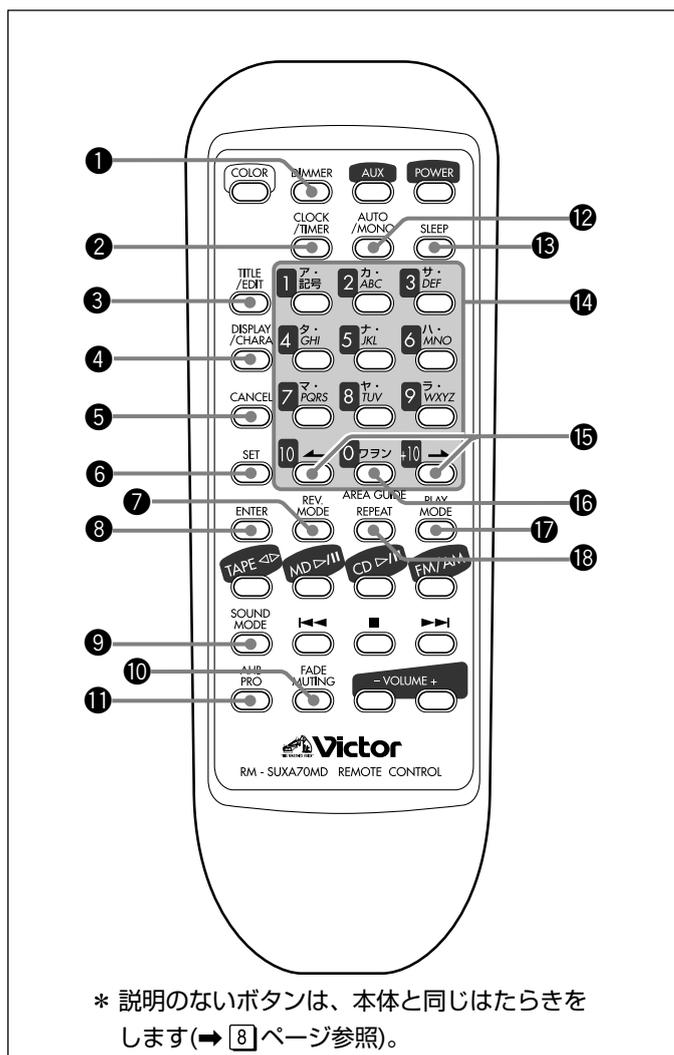
はじめに

- ⑱ ミュージックカレンダー ⑳ ㉒ ㉓～㉔
CDまたはMDに収録されている曲(トラック)を最大15まで表示します。
- ㉔** タイマーモード表示 ㉕**
 - 🕒 デイリー DAILY : 目覚ましタイマー
 - 🕒 ロック REC : 録音タイマー
 - 🕒 スリープ SLEEP : おやすみタイマー
 - MD : MDの録音タイマー
 - TAPE : テープの録音タイマー
- ㉕ MDの録音・再生モード表示 ㉖ ㉗
MDの録音・再生モードを表示します。
 - SP : 標準時間
 - LP2 : 2倍長時間(LP2)
 - LP4 : 4倍長時間(LP4)
- ㉖ CD録音スピード表示 ㉗
 - ノーマル NORMAL SPEED REC : 定速録音
 - ハイ HIGH SPEED REC : 倍速録音
- ㉗ 文字情報表示部 (11ケタ)
曲(トラック)番号や録音・演奏時間など、さまざまな文字情報を表示します。
- ㉘ MD動作表示
演奏中や録音中に点滅します。
MDが入っていないときは、MDの文字だけが点灯します。
- ㉙ CD/MDのリPEAT/プレイモード表示 ㉚～㉛ ㉜～㉝**
 - ↶ : 1曲リPEAT演奏
 - ↶ ALL : 全曲リPEAT演奏
 - RANDOM : ランダム演奏
 - PRGM : プログラム演奏
- ㉞ CD動作表示
演奏中に点滅します。
CDが入っていないときは、CDの文字だけが点灯します。

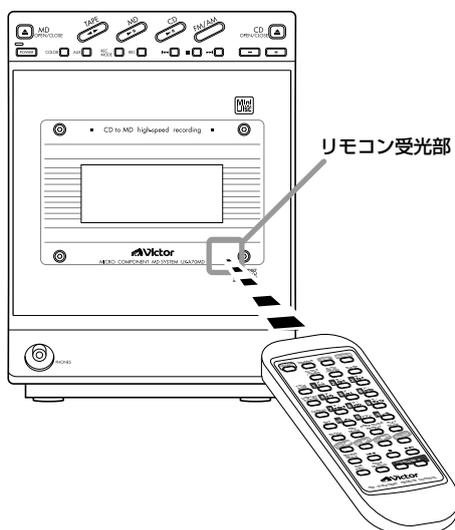
- ㉟ TAPE動作表示
再生中や録音中に点滅します。
テープが入っていないときは、TAPEの文字だけが点灯します。
 - ↶↷ : リバースモード表示 ㉠**
 - ◀▶ : テープ走行方向表示(◀ 逆方向/▶ 順方向) ㉡
 - REC : テープ録音表示 ㉢
- ㉠ FM放送受信モード表示 ㉡**
 - STEREO : FMステレオ放送を受信中、自動的に点灯します。
 - MONO : モノラル受信を選んだとき点灯します。
- ㉡ AHB PRO表示 ㉢**
リモコンのAHB PROボタンで設定します。重低音を強調するモードのとき表示します。
- ㉢ SOUND MODE表示 ㉣**
リモコンのSOUND MODEボタン(➡ ㉕ ページ参照)で設定します。

各部の名前とはたらき (つづき)

リモコン (RM-SUXA70MD)



- リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。



- DIMMER ボタン [15]**
電動パネルと表示窓の照明を暗くします。
- CLOCK/TIMER ボタン [14] [50]**
時計とDAILYタイマー、RECタイマーの設定に使用します。
- TITLE/EDIT ボタン [41] ~ [49]**
MDの編集に使用します。
- DISPLAY/CHARA ボタン [18] [25] [33] [42]**
表示窓の表示を切り換えたり、MDの編集に使用します。
- CANCEL ボタン [14] [22] [26] [42]**
- SET ボタン [14] [15] [18] [41] [45] ~ [47] [51] ~ [54]**
- REV. MODE ボタン [28] [37]**
テープのリバースモードを変えるときに使用します。
- ENTER ボタン [42] [45] ~ [47]**
- SOUND MODE ボタン [16]**
音楽のジャンルに合わせて音域を設定します。表示窓には次のように表示されます。

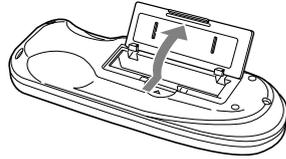
ROCK	: 低音と高音を強調した設定
POP	: ボーカルやナレーションに向けた設定
CLASSIC	: 高音を強調した設定
FLAT	: (解除)
- FADE MUTING ボタン [16]**
一時的に消音するとき使用します。
- AHB PRO ボタン [16]**
重低音を強調するとき使用します。
- AUTO/MONO ボタン [17]**
FMステレオ放送をモノラルに切り換えます。
- SLEEP ボタン [54]**
おやすみタイマーの設定に使用します。
- 数字ボタン [18] [21] [25] [43]**
CD/MDのダイレクト選曲やFM/AM放送のプリセット選局、MDの編集などに使用します。
- ← / → ボタン [15] [42]**
MDの編集や電動パネルと表示窓の照明の設定に使用します。
- AREA GUIDE ボタン [18]**
市外局番で放送局を記憶(メモリー)するとき使用します。
- PLAY MODE ボタン [22] [26]**
CDやMDのプログラム演奏、ランダム演奏をするときに使用します。
- REPEAT ボタン [21] [25]**
CDやMDをくり返し演奏するとき使用します。

準備と接続 —すべての接続が終わるまで電源は入れないでください—

リモコンの準備

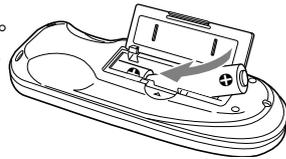
単3形の乾電池をリモコンに入れます。

1 裏ぶたをあける



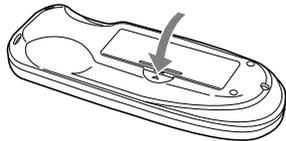
2 乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。リモコン内部の表示に合わせ、⊕/⊖の極性を正しく入れてください。



3 裏ぶたをしめる

カチッと音がしてしまします。

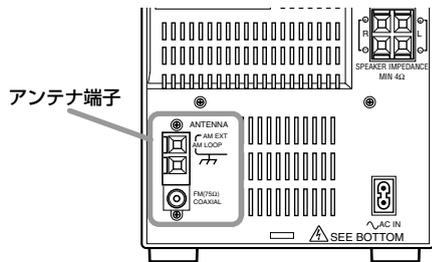


ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

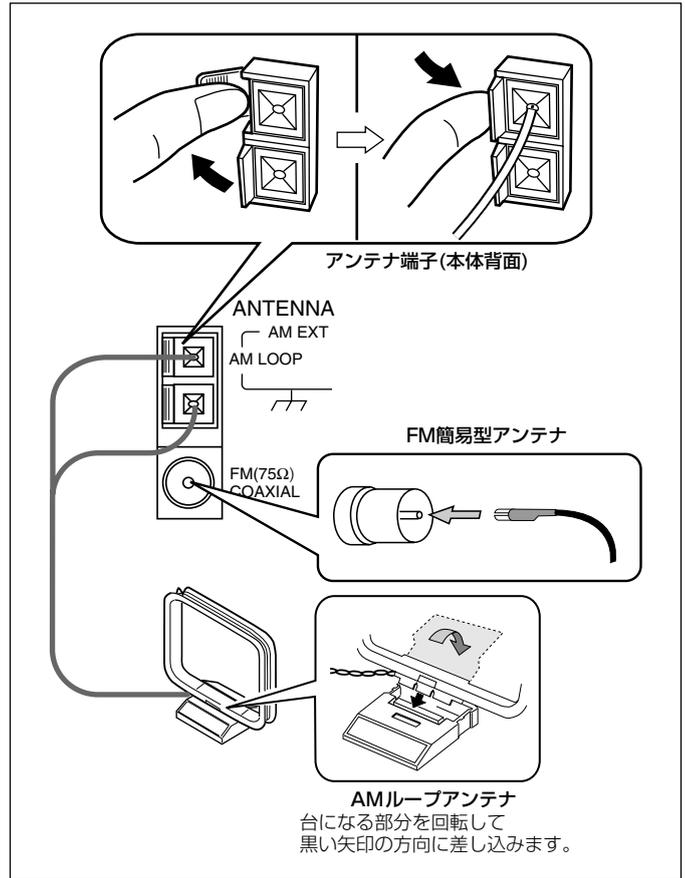
アンテナの接続

FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。



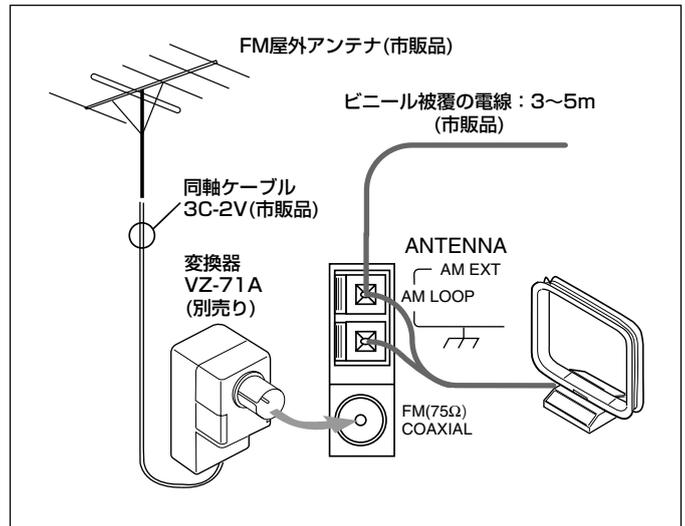
屋内アンテナ(付属品)を接続する

- AMループアンテナは、左右に回して最も受信状態の良い位置と方向に、本体からできるだけ離して置きます。
- FM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向に、まっすぐ伸ばしてテープなどで固定します。



屋外アンテナ(市販品)を接続する

- 付属のアンテナではうまく受信できないとき、または集合住宅などの共聴アンテナ端子を使うときに接続します。

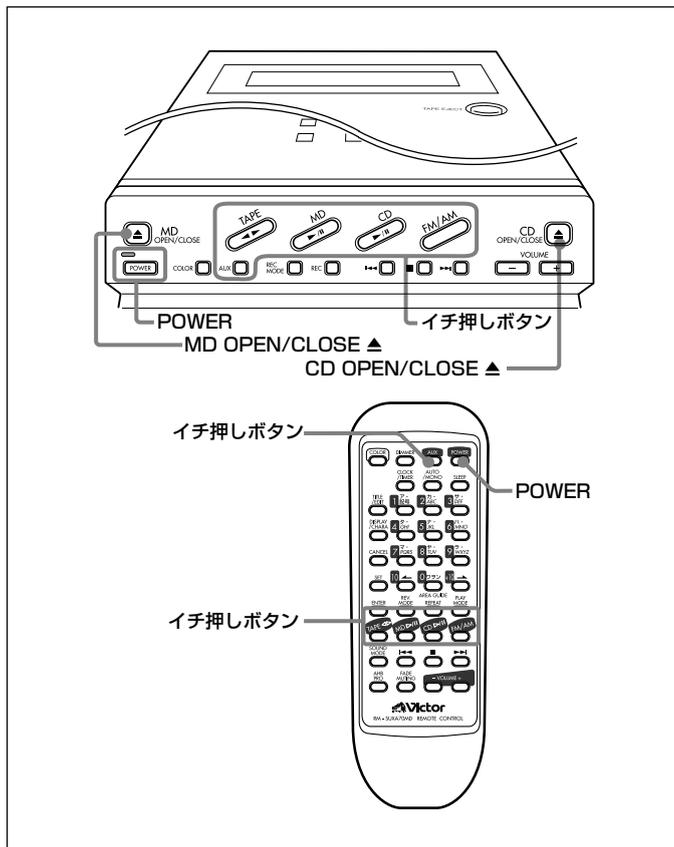


お知らせ

- 付属のアンテナでうまく受信できないとき、AM EXT 端子から3~5mのビニール被覆の電線(市販品)を窓際や屋外に、なるべく高く水平に張ります。**AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。**
- FM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換器(別売り)を用意してください。

準備

電源の「入/切」について



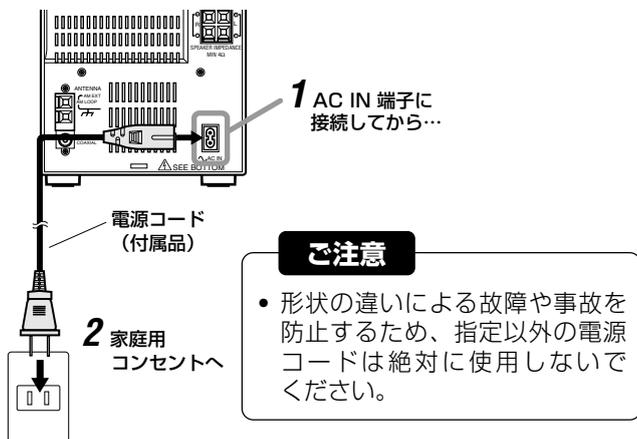
* 以後、本書では主にリモコンを使って操作を説明します。リモコン上のボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、本体上でも同じはたらきをします。また、本体だけのボタンのときは、本体で説明します。

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

- 1 本体背面のAC IN端子に電源コードを差し込む
- 2 電源コードを家庭用コンセントへ接続する

電源コードを家庭用コンセントへ接続すると、電動パネルと表示窓の照明が無作為に変わるランダム表示(RANDOM)になります。とめるときはCOLORボタンを押します。



家庭用コンセント
AC 100 V、50 Hz/60 Hz

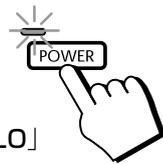
POWER ボタンを使う

- 電源を「入」にするには

POWERボタンを押します。

いち押しボタンを使うこともできます。

電源ランプが点灯し、表示窓には「HELLO」と表示されます。



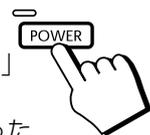
- 電源を「切」にするには

POWERボタンを押します。

電源ランプが消え、表示窓には「SEE YOU」と表示されます。

電動パネルが上がったまま、または下がったままCDトレイまたはMDスロットが見えているときは、CDトレイが中に入り電動パネルが自動的に閉まります。

また、電動パネルと表示窓の照明も消え、現在時刻が表示されます。



いち押しボタンを使う

電源が「切」のとき、下表のボタンを押すだけで電源が入り、ソース(音源)も切り換わります。

本 体	リモコン	ソース(音源)	動 作
		CD	CDが入っているとき押しすと、演奏が始まります。
		MD	MDが入っているとき押しすと、演奏が始まります。
		TAPE	テープが入っているとき押しすと、演奏が始まります。
		FM/AM	電源を切る前の放送局を聞くことができます。
		AUX	LINE IN(AUX)端子に接続した機器の音を聞くことができます。

お知らせ

次の2つのボタンは本体のみで操作できます。

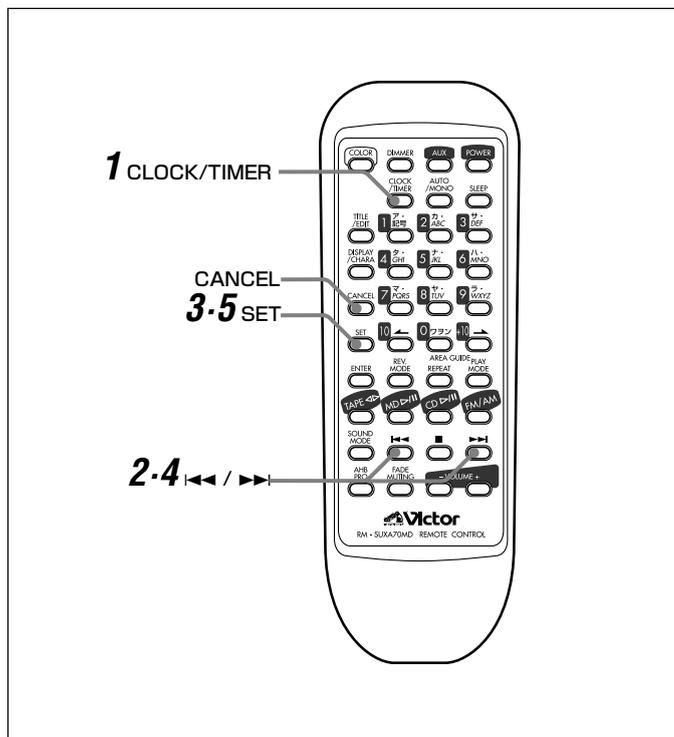
- CD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押すと電源が入り、CDトレイが出てきますが、ソース(音源)は切り換りません。
 - MD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押すと電源が入り、MDスロットが現われますが、ソース(音源)は切り換りません。
- * 前回、使い終わったときのソース(音源)で電源が入ります。

基本の操作

時計を合わせる (初めてお使いになるとき)

時計(24 時間表示方式)を現在時刻に合わせておきます。
正しく設定しないとタイマーが動きません。

- 電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。



例：午前 10 時 10 分に合わせるとき

1 CLOCK/TIMER ボタンを押す

表示窓に「0:00」が表示され、「時」の表示が点滅します。

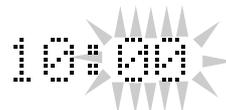


2 ▶▶または◀◀ ボタンをくり返し押し て「時」を合わせる

- ボタンを押し続けると、「時」の表示は連続的に変化します。

3 SET ボタンを押す

「時」が設定され、「分」の表示が点滅します。



- まちがった時刻を設定してしまったときは、CANCEL ボタンを押してください。「時」の点滅表示に戻ります。

4 ▶▶または◀◀ ボタンをくり返し押し て「分」を合わせる

- ボタンを押し続けると、「分」の表示は連続的に変化します。

5 SET ボタンを押す

「分」が設定されます。電源「入」で設定したときは、2秒後にソース(音源)の表示に戻ります。



時刻を正確に合わせるには

- テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。時報などに合わせて、手順5でSET ボタンを押すと、正確に合わせることができます。

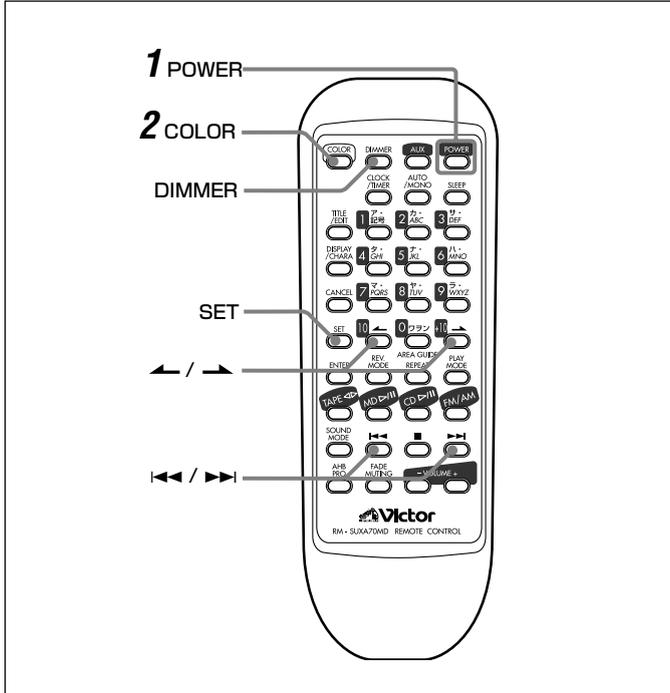
ご注意

- この時計は、月におよそ1分程度のズレを生じることがあります。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00」の表示に戻ります。もう一度正しい時刻に合わせてください。
- 初めから時刻を設定し直すときは、CLOCK/TIMER ボタンを5回押ししてください。「時」の表示が点滅します。

電動パネルの照明について (初めてお使いになるとき)

電動パネルと表示窓の照明を選んで好みの色にしたり、照明の明るさを変えたりすることができます。

- 電源が「入」の状態で作ります。



1 POWER ボタンを押す

電動パネルと表示窓の照明が「青、水色、緑、黄、オレンジ、赤、ピンク、紫、白」と9色が無作為(RANDOM)な順番で変わります。

2 COLOR ボタンをくり返し押して色を選ぶ

- COLOR を押すごとに…



表示させたい照明の色が決まったら、そこで操作を止めます。

*1 「RANDOM」を選ぶと、約2秒ごとにこの9色がランダム(無作為)に表示されます。

*2 「M1」または「M2」を選ぶと、赤、緑、青の光の三原色をそれぞれ7段階に調節して、好みの照明をつくることができます(343色の中から2色)。

- DIMMER ボタンを押すと、これらの照明を暗くすることができます。もう一度押すと、元の状態に戻ります。

お知らせ

- 電源が「切」のときにCOLOR ボタンを押すと、9色のランダム表示(RANDOM)となります。

電動パネルの照明の設定と登録

ここでは例として、電動パネルと表示窓の照明が消えるに設定し、「M1」に登録してみます。

- リモコンで操作します。

1 COLOR ボタンをくり返し押して「M1」を表示させる
「R」(赤)の部分が点滅します。

M1 R5 G5 B5

2 ◀◀または▶▶ボタンをくり返し押してR(赤)の値を「0」にする

3 → ボタンを1回押してG(緑)を点滅させる

4 ◀◀または▶▶ボタンをくり返し押してG(緑)の値を「0」にする

- 手順3・4をくり返してB(青)の値も「0」にする
照明が消え、表示窓には次のように表示されます。

M1 R0 G0 B0

5 点滅表示しているあいだ(約5秒間)に、SET ボタンを押す
表示窓に「MEMORY」と表示され、「M1」の照明(この例では消える)が登録されます。

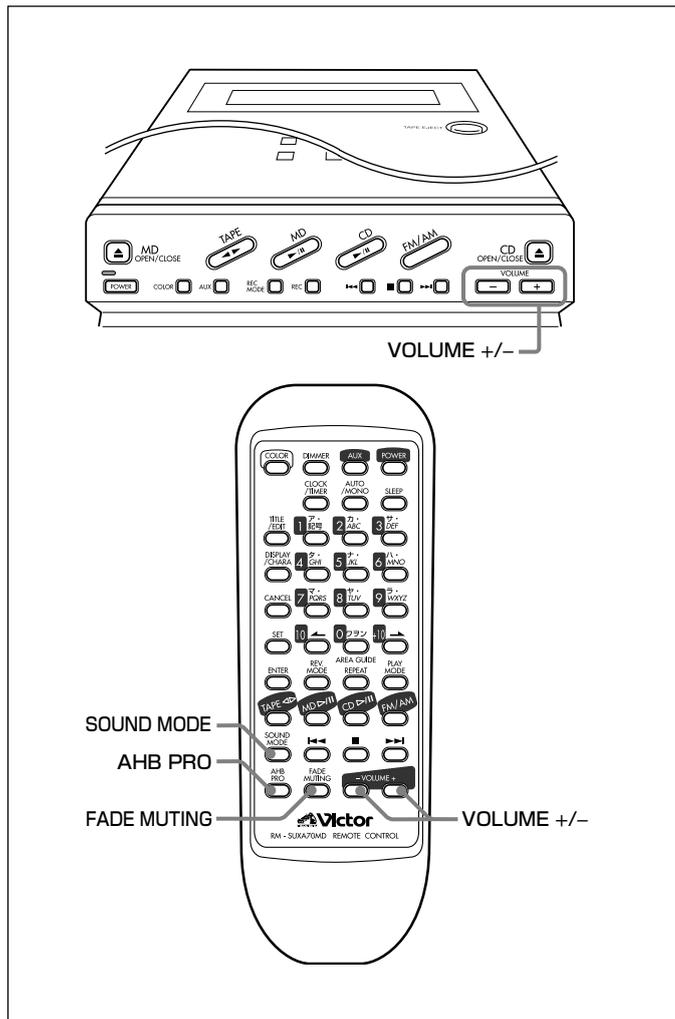
- 点滅表示のあいだにSET ボタンを押さないと、そのときの電動パネルと表示窓の照明が自動的に登録されます。

ご注意

- 設定した照明の色には、厳密な色再現性はありません。製品の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化、発光素子のバラツキなどにより、色合いが異なって見えます。
- DIMMER ボタンと合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。これは故障ではありません。
- 「M1」または「M2」のときに DIMMER ボタンを押すと、設定にかかわらず水色系の照明になります。

基本の操作 (つづき)

ご使用になる環境やソース(音源)に応じて、音量や音質の設定をします。



音量を調節する

VOLUME + / - ボタンを押すごとに、音量が 41 段階で調節できます。表示窓には次のように表示されます。



- 一時的に音量を下げたいときは、リモコンの **FADE MUTING** ボタンを押してください。現在の音量から最小の「VOL. MIN」まで下がります。ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。



重低音を強調する

- 小さな音量で聞くとときや重低音を強調したいときは、リモコンの **AHB PRO*** ボタンを押して「BASS ON」にしてください。ボタンを押すごとに表示窓は「BASS ON」または「BASS OFF」に切り換わります。「BASS ON」にすると表示窓の右側に **BASS** 表示が点灯します。

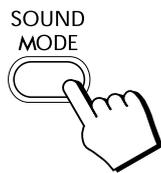


*AHB PRO : Active Hyper Bass PRO の略で、クリアで迫力ある重低音が楽しめます。

サウンドモードを選ぶ

聞きたい曲のジャンルや好みに応じて、高音から低音までの音域を別個に設定してあるモードを選ぶことができます。

- リモコンの **SOUND MODE** ボタンを押すごとに表示窓には「FLAT」→「ROCK」→「POP」→「CLASSIC」と順番に表示されます。FLAT を除くいずれかを選ぶと表示窓の右側に **SOUND** 表示が点灯します。



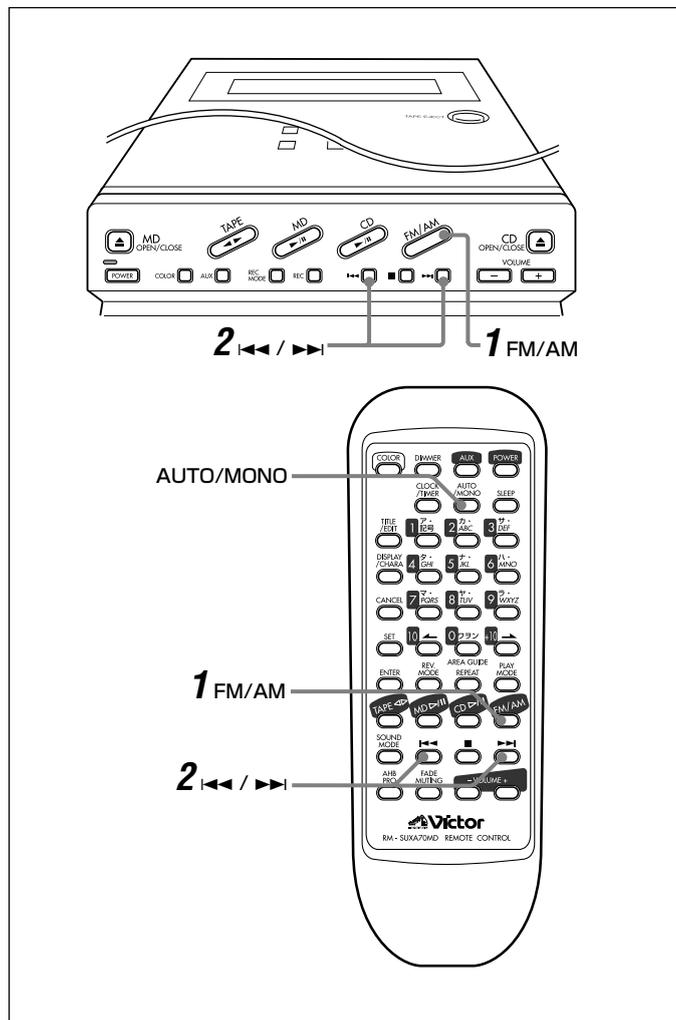
- **ROCK** : 低音と高音を強調した設定
- **POP** : ボーカルやナレーションに向けた設定
- **CLASSIC** : 高音を強調した設定
- **FLAT** : (解除)

お知らせ

- VOLUME + / -、FADE MUTING、AHB PRO、SOUND MODE のボタン操作は、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音する音には影響がありません。

放送を聞く

FM/AMのラジオ番組を受信します。また、地域の電波事情や好みに応じた、プリセット選局も可能です。



オート選局/マニュアル選局

- オート選局では、周波数を自動的に変化させて放送局を探し出し、十分に電波の強い放送局を受信すると止まります。
- マニュアル選局では、ボタンを1回押すごとに周波数を一定範囲で変化させ、目的の放送局を探して受信します。

1 FM/AM ボタンを押す

電源が入り、表示窓は次のようになります(お買い上げ時)。

MD CD TAPE
FM 76.0 MHz

- ボタンを押すごとにFMまたはAMに切り換わります。

2 ▶▶ または ◀◀ ボタンで放送局に合わせる

オート選局 : ▶▶または◀◀ボタンを押し続け、周波数が連続的に変化し始めたら、ボタンを離します。放送局を受信すると止まります。

マニュアル選局 : ▶▶または◀◀ボタンを「ポン・ポン」と押すと、周波数が一定範囲で変化しますので、放送局を自分で探すことができます。▶▶ボタンを押すと周波数が上がり、◀◀ボタンを押すと下がります。どちらも放送局が見つかったら放送局名が表示されます。

STEREO
MD CD TAPE
NHK-FM

- FMステレオ放送を受信すると、表示窓に**STEREO**表示が点灯します。

お知らせ

- 電波が弱くオート選局が自動的に停止しないときは、押したボタンをもう一度短かく押して、マニュアル選局に切り換えてください。
- マニュアル選局の場合、FM放送では0.1 MHz(100 kHz)ごとに、AM放送では9 kHzごとに周波数が変わります。
- テレビの1～3チャンネルの音声は周波数が合わないため、うまく受信できません。これはテレビの周波数が50 kHz間隔で設定されているためで、故障ではありません。

受信モードを切り換える

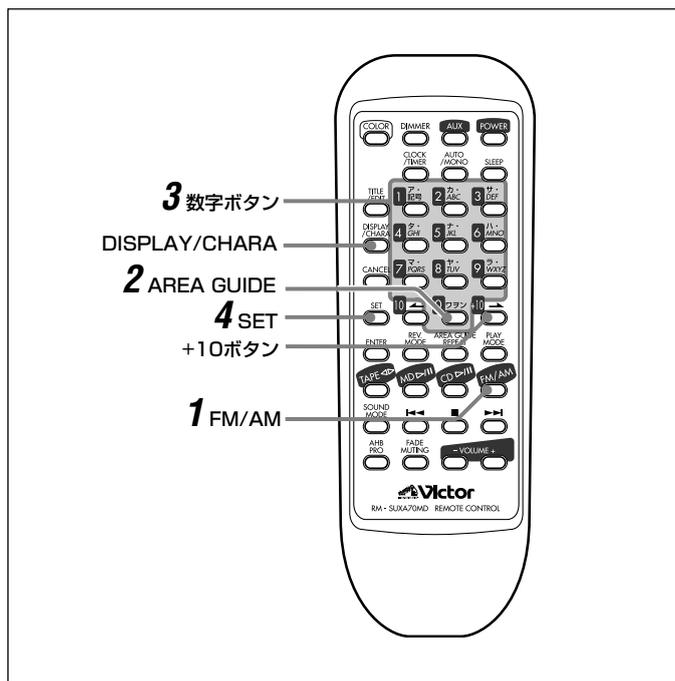
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンの**AUTO/MONO**ボタンを押します。表示窓に**MONO**表示が点灯して、聞きやすくなります(このとき音声はモノラルになります)。
別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、**STEREO**表示が点灯します。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送を聞く (つづき)

放送局を記憶させる (エリアガイド)

リモコンから市外局番を入力するだけで、お住まいの地域で受信できる放送局の周波数が自動的に記憶(メモリー)され、受信した放送局名も表示します。操作はリモコンで行ないます。

- AM 放送の場合、内蔵されているデータをもとに、放送局を呼び出して記憶します(→ [58] ~ [59] ページ参照)。
- FM 放送の場合、東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪地区の市外局番([58] ページ、「エリアガイド放送局一覧」参照)を入力したときは、内蔵されているデータ(03 局または 04 で始まる局の地域では 12 局、06 局地域では 7 局)を呼び出して記憶します。他の市外局番を入力したときは、76 MHz ~ 90 MHz の間で実際にオート選局で受信できた放送局が記憶(メモリー)されます。

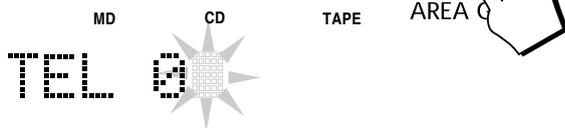


- リモコンで操作します。

1 FM/AM ボタンを押して FM または AM を選ぶ

2 AREA GUIDE ボタンを押す

表示窓に、市外局番の初めの「0」が表示され、次のケタが点滅します。



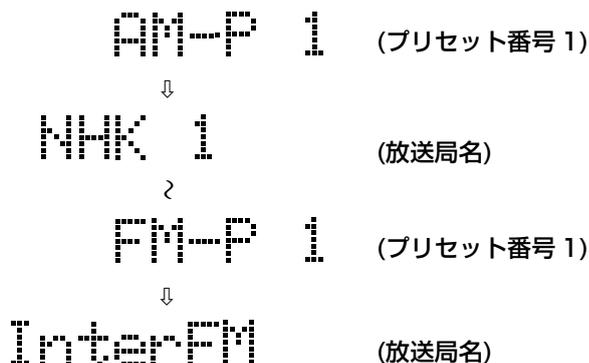
3 数字ボタンで市外局番を入力する

市外局番は最大 4 ケタまで入力できます。1 ケタ入力するごとに、点滅部が右へ動きます。



4 SET ボタンを押す

AM 放送から FM 放送の順に、低い周波数から高い周波数へとオート選局し、各放送局の記憶(メモリー)が始まります。その間約 1 分、次のように表示されます(例)。



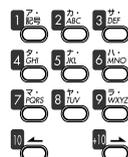
- 各放送局の記憶が終了すると、FM 放送のプリセット番号 1 の放送局名が表示されます。

記憶(メモリー)した放送局を選局する

リモコンの数字ボタンを使って、プリセット番号を入力します。聞きたい放送局がワンタッチで受信できます。

受信中は放送局名が表示されます。DISPLAY/CHARA ボタンをくり返し押すと、「現在時刻→放送局の周波数」の順に表示が変わります。

- 1 ~ 10 の番号を指定するとき
数字ボタンの 1 ~ 10 のいずれかのボタンを押します。
- 10 以上の番号を指定するとき
数字ボタンの + 10 ボタンを押してから、1 ~ 10 のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例: 15 局目は... + 10 → 5 と押す
- 20 以上の番号を指定するとき
数字ボタンの + 10 ボタンを 2 回押してから、1 ~ 10 のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例: 25 局目は... + 10 → + 10 → 5 と押す



プリセットした放送局の局名を削除する

- 1 AREA GUIDE ボタンを押す
 - 2 SET ボタンを押す
表示窓に「NAME CUT」と表示され、プリセットした放送局名がすべて削除されます。
- プリセットした放送局の周波数は消えません。プリセットしてある放送局と周波数を消去するには、新しい周波数を記憶させるか、長時間電源プラグを抜いておいてプリセットした内容を消去してください。

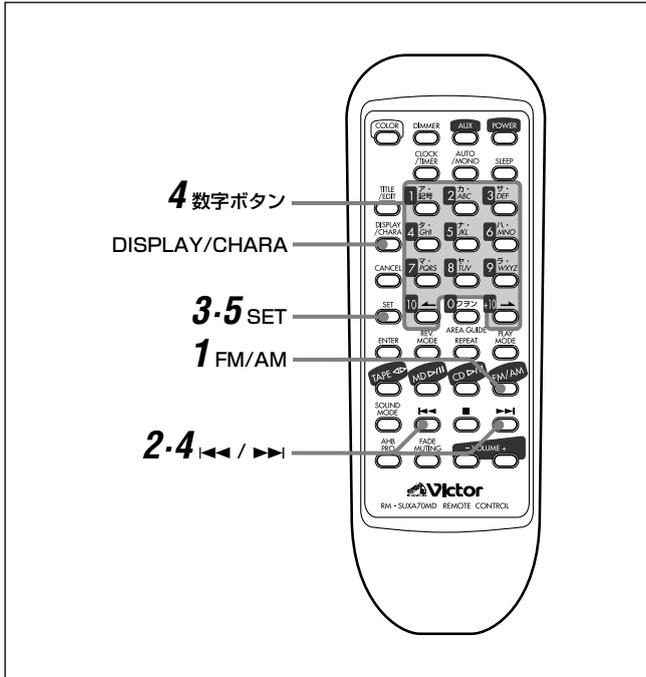
お知らせ

- エリアガイド機能による放送局名表示は、コミュニティ FM 局には対応していません。

放送局を選んで記憶させる (プリセット)

電波事情や地域によっては、エリアガイド機能を使うよりもマニュアル選局で記憶(メモリー)させたほうが、良好に受信できる場合があります。

- AM放送局は最大15局、FM放送局は最大30局まで記憶させることができます(エリアガイドで記憶させた放送局も含む)。



- リモコンで操作します。

1 FM/AM ボタンを押して FM または AM を選ぶ

2 ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンで、記憶させる放送局を選ぶ

→ 17 ページ「オート選局 / マニュアル選局」参照。

MD CD TAPE
AM 810 kHz

3 SET ボタンを押す

放送局を記憶させたいプリセット番号が点滅表示されます。

MD CD TAPE
AM-F 1

- この点滅は約5秒間続きます。その間に次の操作をしないときは、手順2の状態に戻ります。

4 ▶▶▶ または ◀◀◀ ボタンまたは数字ボタンでプリセット番号を選ぶ

5 SET ボタンを押す

約2秒間、表示窓に「STORED」と表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)は完了です。

MD CD TAPE
STORED

記憶(メモリー)した放送局を選局する

FM/AM ボタンを押してFMまたはAMを選んでから、数字ボタンを押してプリセット番号を入力します。聞きたい放送局がワンタッチで受信できます。

受信中は放送局名が表示されます。DISPLAY/CHARA ボタンをくり返し押しすと、「現在時刻→放送局の周波数」の順に表示が変わります。

ご注意

- プリセット番号はいつも最初に「1」が表示されます。すでに放送局を記憶させたプリセット番号と重ならないよう注意してください。
- すでに記憶させたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が記憶されます。
- エリアガイド機能で新たに記憶(メモリー)し直すと、マニュアルプリセットの内容は削除されます。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。エリアガイドやプリセットの操作をやり直してください。

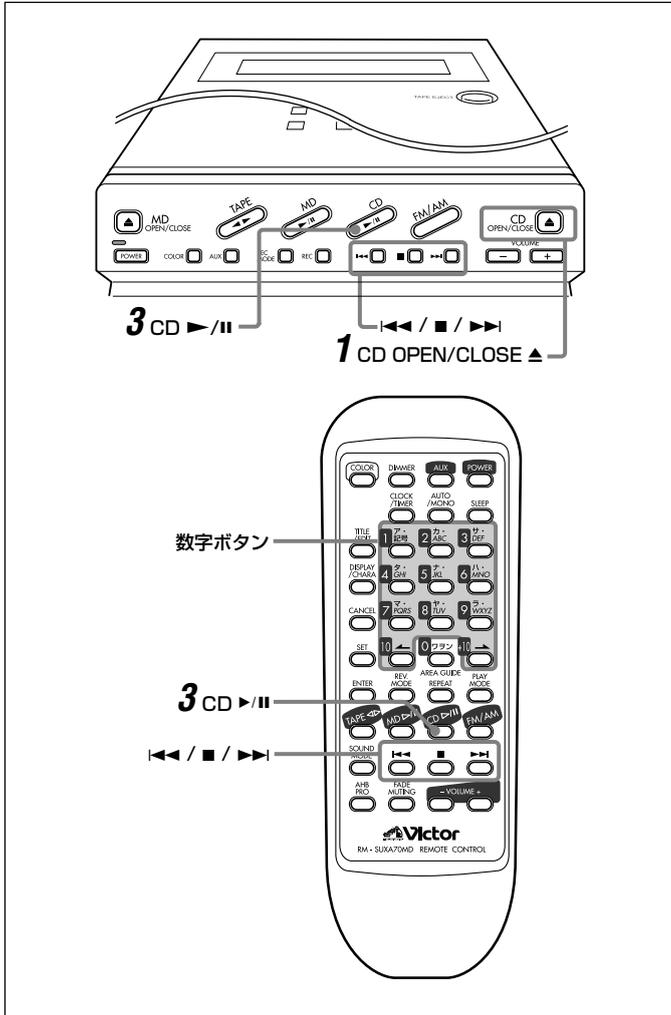
お知らせ

- 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切り換えた場合でも、最後に受信していた放送局の周波数は記憶されています。再び電源を「入」にしたりFM/AM ボタンを押したりすると、同じ放送局が受信できます。

CDを聞く

通常の演奏の他に、リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏を楽しむことができます。

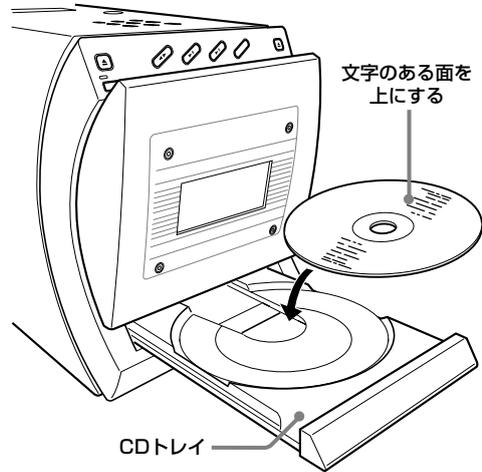
- リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏のときは、リモコンで操作します。
- 文字のある面に **COMPACT DISC DIGITAL AUDIO** マークが入っている CD をお使いください。



CDの演奏

1 CD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押す

電源が入り電動パネルが上がって、CDトレイが出てきます。



2 CDトレイにCDを置く

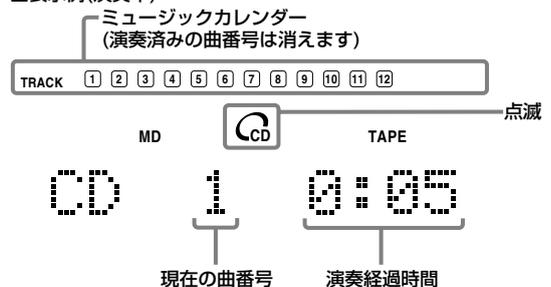
トレイ上面の円形部分に沿うよう正しく置きます。

- 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3 CD ▶/|| ボタンを押す

CDトレイが本体内に収まり、電動パネルは自動的に閉まります。CDマークが点滅し始め、演奏が始まります。表示窓には曲番号や演奏経過時間が表示され、ミュージックカレンダーに曲番号が点灯します。演奏がすべて終わると自動的に停止します。

■表示例(演奏中)



- CD ▶/|| ボタンを押さずに、CD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押すと、CDトレイが本体内に収まり、電動パネルが自動的に閉まります。曲数と演奏時間が表示され、停止状態になります。

ご注意

- キャッシュカードや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。
- CDにごみやキズが付いていたり、裏表を逆に入れたときは、「CD NO DISC」や「CD 0 0:00」などと表示されることがあります。このようなときは、CDを清掃または交換したり、裏表を確かめてからご使用ください。

聞きたい曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの**数字ボタン**を使います。

1～10の曲番号を指定するとき

数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。

10以上の曲番号を指定するとき

数字ボタンの+ 10 ボタンを押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。

例：15曲目は…+ 10 → 5 と押す。



20以上の曲番号を指定するとき

数字ボタンの+ 10 ボタンを**数回**押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。

例：25曲目は…+ 10 → + 10 → 5 と押す。

一時停止する

CD ▶/|| ボタンを押します。

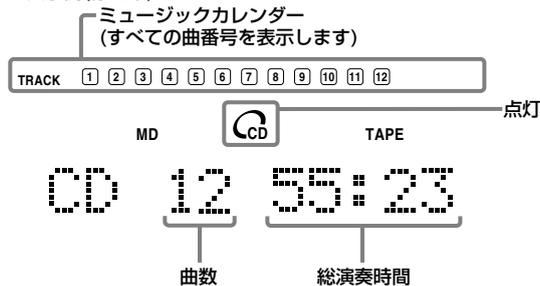
- 演奏経過時間が点滅します。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

演奏を停止する

■ ボタンを押します。

- 曲数と総演奏時間が表示されます。

■表示例(停止中)



曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中、▶▶/|◀◀ ボタンを「ポン」と押します。演奏中の曲または後の曲の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に▶▶/|◀◀ ボタンを押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

CDを取り出す

- CD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押します。演奏が停止し、電動パネルが上がってCDトレイが出てきます。CDを取り出したら、もう一度ボタンを押して電動パネルを閉めます。

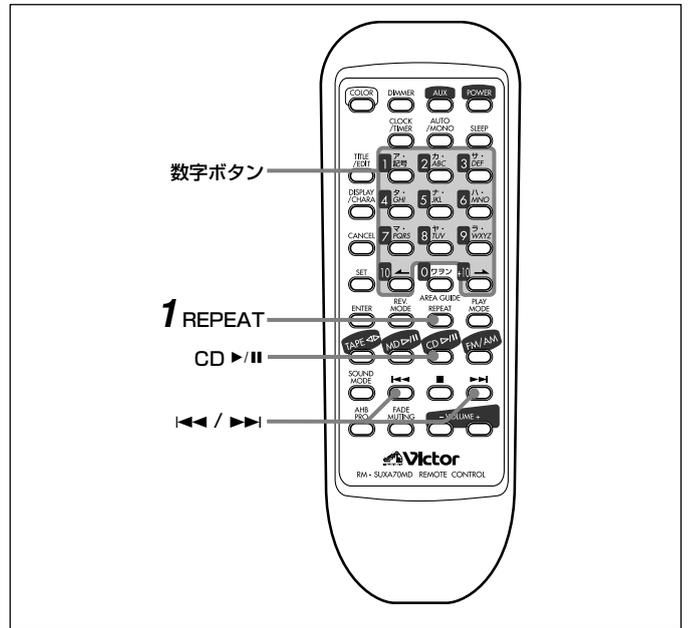
お知らせ

- CDの演奏は無音状態でのノイズがほとんどありません。ノイズを聞きながら音量を調節しておくと、演奏が始まってから思わぬ大音量になることがあります。電源を切る前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

CDのリPEAT演奏

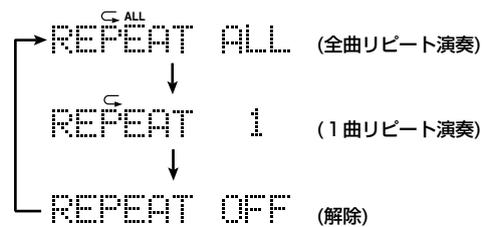
CDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。リモコンを使って設定します。

- 一枚のCDを全曲くり返す**全曲リPEAT演奏**と、現在演奏中の曲、またはこれから聞きたい曲(停止中)を1曲だけくり返す**1曲リPEAT演奏**の二通りから選べます。



1 リモコンの REPEAT ボタンをくり返し押す

ボタンを押すごとに、表示窓のリPEAT表示は次のように切り換わります。



- 演奏中のときは、リPEAT演奏に変わります。現在演奏中の曲から、1曲リPEAT演奏、または全曲リPEAT演奏になります。
- 停止中のときは、CD▶/|| ボタンを押してリPEAT演奏を始めます。1曲リPEAT演奏の場合は、そのCDの一番最初の曲、または数字ボタンや▶▶/|◀◀ボタンで選んだ曲のリPEAT演奏になります。

お知らせ

- リPEAT演奏中に、数字ボタンや▶▶/|◀◀ボタンで他の曲のリPEAT演奏に切り換えることができます。

リPEAT演奏のモードを解除する

REPEAT ボタンをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。リPEATの表示が消えます。

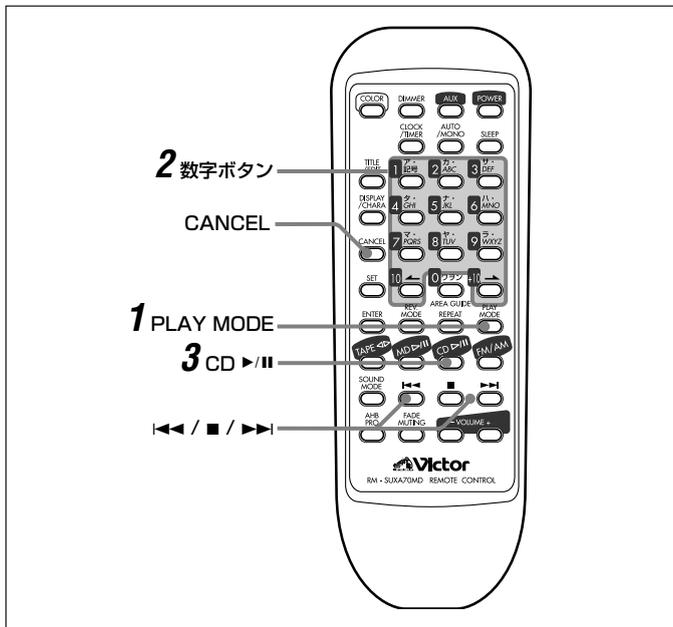
- CDを取り出したり電源を「切」にしても、リPEAT演奏は取り消されます。

CDを聞く (つづき)

CDのプログラム演奏

CDに収録された曲を好きな順番で、最大32曲まで選んで演奏させることができます。

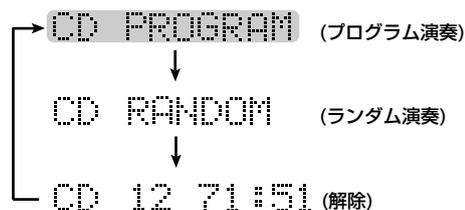
- リモコンを使って、停止中に操作します。
- 「CDの演奏」手順1～3(⇒20ページ参照)のあと、■ ボタンを押しておきます。



1 PLAY MODEボタンを押して「CD PROGRAM」を選ぶ

表示窓にPRGMが点灯し、プログラム演奏のモードになります。

- ボタンを押すごとに、表示窓のプレイモード表示は次のように切り換わります。

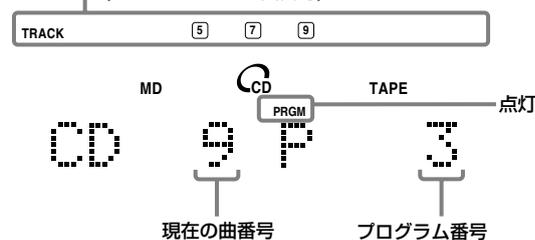


2 数字ボタンを押してプログラムしたい曲を選ぶ

- 1～10の曲番号を指定するとき
数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。
- 10以上の曲番号を指定するとき
数字ボタンの+ 10 ボタンを押してから1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：15曲目は…+ 10 → 5と押す。
- 20以上の曲番号を指定するとき
数字ボタンの+ 10 ボタンを数回押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：25曲目は…+ 10 → + 10 → 5と押す。



■プログラムの予約(停止中) 例：5→7→9と
ミュージックカレンダー プログラムしたとき
(プログラムされた曲番号)



3 CD >|| ボタンを押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。
- 停止中に▶▶/◀◀ボタンを押すと、プログラムの曲順を確認することができます。
- プログラムを修正するときは、CANCELボタンを押します。プログラムした最後の曲から順番に削除されます。そのあとプログラムをし直します。
- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(⇒21ページ「CDのリピート演奏」参照)。

お知らせ

- 33曲目をプログラムしようとする時、「MEMORY FULL」と表示されます。これ以上はプログラムできません。
- CDに収録されていない曲番号はプログラムできません。例えば13曲目入りCDでは、14曲目以降はミュージックカレンダーにも表示されません。
- プログラムされた曲の合計時間が99分59秒を超えると、演奏時間は「--:--」と表示されます。

プログラム演奏を停止する

■ ボタンを押すと、プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏がとまります。プログラム内容は変わりません。

プログラム演奏のモードを解除する

PLAY MODE ボタンをくり返し押して、表示窓のPRGM表示を消します。

- プログラム内容は削除されません。PLAY MODE ボタンを押すと、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

CD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押してCDを取り出すか、電源を「切」にします。

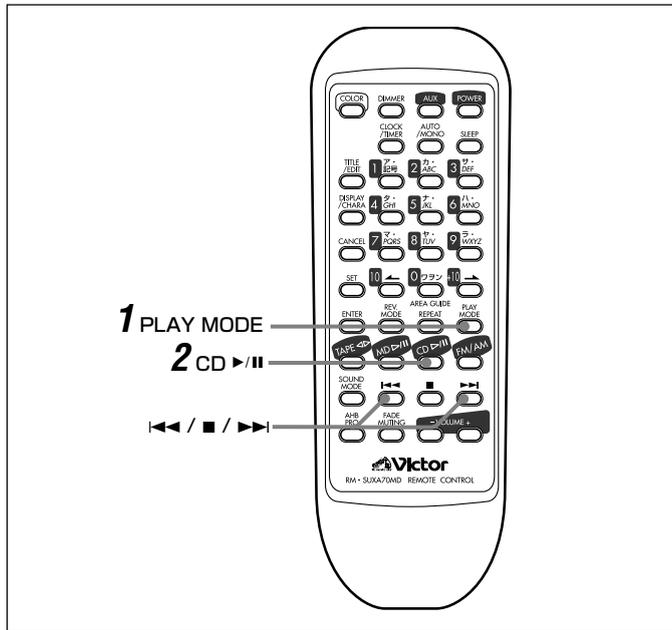
ご注意

- CDの演奏中にPLAY MODEボタンを操作することはできません。必ずCDの停止中に操作してください。

CDのランダム演奏

CDに収録されているすべての曲を、ランダム(無作為)に選出して演奏します。

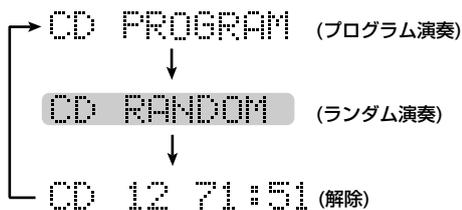
- リモコンを使って、停止中に操作します。
- 「CDの演奏」手順1～3(⇒ 20 ページ参照)のあと、■ボタンを押しておきます。



1 PLAY MODEボタンをくり返し押し て「CD RANDOM」を選ぶ

表示窓にRANDOMが点灯し、ランダム演奏の待機状態になります。

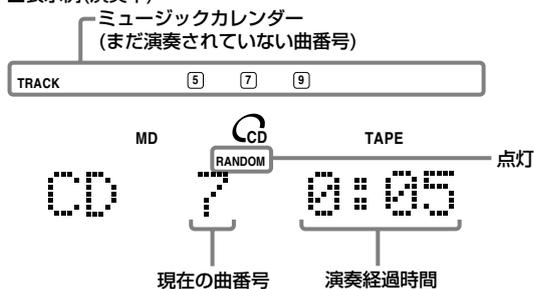
- ボタンを押すごとに、表示窓のプレイモード表示は次のように切り換わります。



2 CD▶/|| ボタンを押す

表示窓の曲番号がくり返し点滅して、最初の曲の演奏が始まります。

■表示例(演奏中)



- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

お知らせ

- ▶▶ ボタンを「ポン」と押すと、現在演奏中の曲を飛ばして、演奏できます。
- ◀◀ ボタンを押すと、演奏中の曲の頭出しをします。
- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます。(⇒ 21 ページ「CDのリピート演奏」参照)

ランダム演奏を停止する

■ ボタンを押します。

「CD RANDOM」と表示して、演奏がとまります。ランダム演奏の設定は変わりません。

- ランダム演奏の停止中に数字ボタンを押すと、数字ボタンで選んだ曲から通常の演奏に戻り、ランダム演奏のモードが解除されます。

ランダム演奏のモードを解除する

- PLAY MODE ボタンをくり返し押し、表示窓のRANDOM表示を消します。

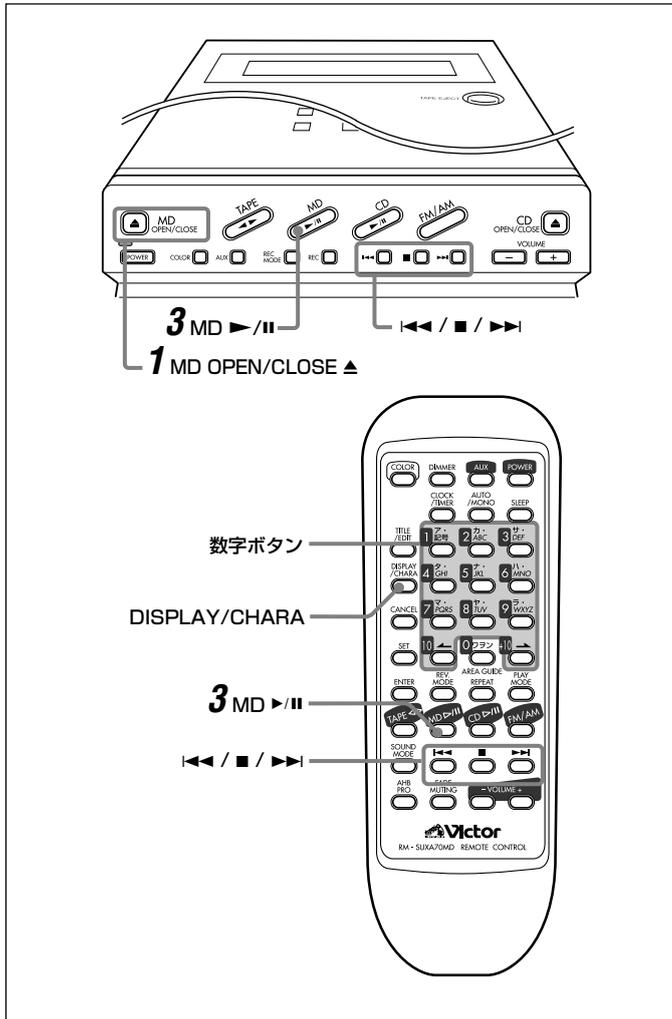
ご注意

- CDの演奏中にPLAY MODEボタンを操作することはできません。必ずCDの停止中に操作してください。

MDを聞く

通常の演奏の他に、リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏を楽しむことができます。

- リピート演奏、プログラム演奏、ランダム演奏のときは、リモコンで操作します。



MDの再生モードについて

MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

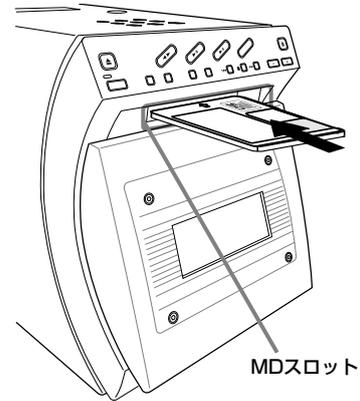
- **SP** : 本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2** : 2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき
- **LP4** : 4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

MDの演奏

1 MD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押す

本体の電源が入り電動パネルが下がってMDスロットが現われます。

- すでにMDが入っていたときは、MDが出てきます。



2 MD スロットにMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の方向に向かって正しく差し込みます。MDは途中から自動的に引き込まれ、電動パネルが自動で閉まります。

「TOC Reading」と表示されたあと、ディスクタイトルに続いてMDに収録された曲数と総演奏時間が表示されます。ミュージックカレンダーに曲番号が表示されます。

- 未録音/未編集のMDのときは、「BLANK DISC」「NO TITLE」と表示されます。

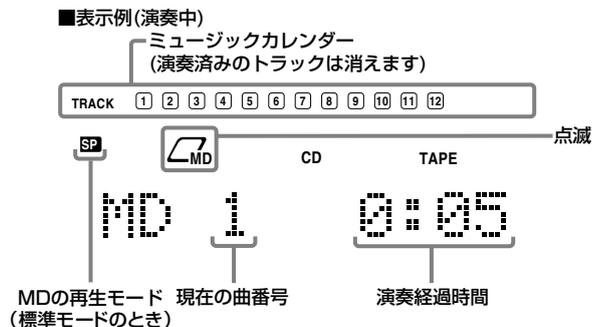
ご注意

- MDが引き込まれると、電動パネルが自動的に閉まる構造になっています。途中でMD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押したり、電動パネルを無理に開閉しないでください。指先やMDが挟まれたり、故障の原因となります。

3 MD ▶/|| ボタンを押す

MDマークが点滅し始め、演奏が始まります。

表示窓には曲番号や演奏経過時間が表示されます。



- 演奏がすべて終わると自動的に停止します。

聞きたい曲をダイレクトで演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの**数字ボタン**を使います。

- **1～10以上の曲番号を指定するとき**
数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。
- **10以上の曲番号を指定するとき**
数字ボタンの+ 10 ボタンを押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：15曲目は… + 10 → 5
- **20以上の曲番号を指定するとき**
数字ボタンの+ 10 ボタンを**数回**押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：25曲目は… + 10 → + 10 → 5



一時停止する

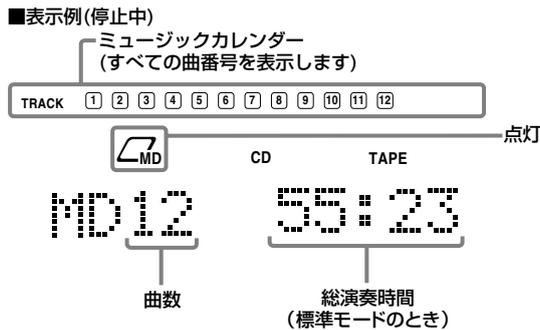
MD ▶/|| ボタンを押します。

- 演奏経過時間が点滅します。
もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

演奏を停止する

■ ボタンを押します。

- 曲数と総演奏時間が表示されます。



曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中、▶▶/◀◀ ボタンを「ポン」と押します。演奏中の曲またはうしろの曲の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。

曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に▶▶/◀◀ ボタンを押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

表示窓の内容を変える

DISPLAY/CHARA ボタンを押すと、ディスクタイトルや曲名、録音可能な残量時間(「REM. 分:秒」の表示)などが順番に表示されます。

MDを取り出す

- MD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押します。演奏が停止し、電動パネルが下がってMDが出てきます。**必ずMDを取り出してから、次の操作をしてください。**

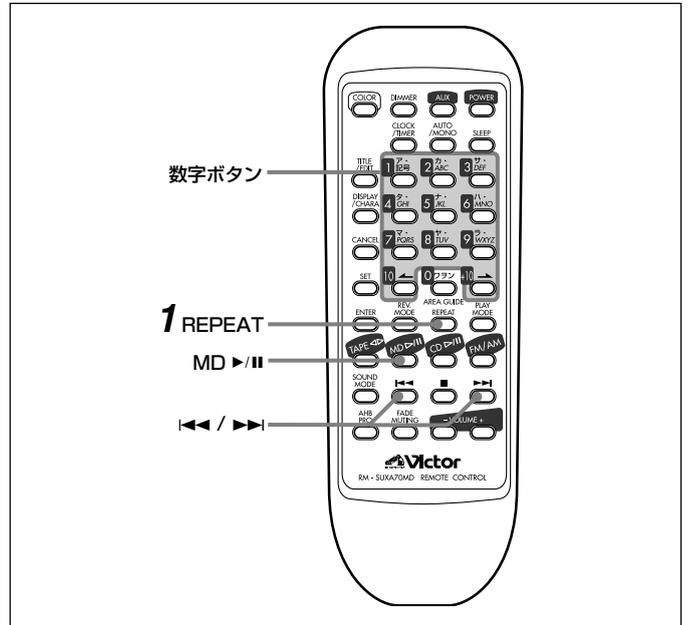
お知らせ

- MDの演奏は無音状態でのノイズがほとんどありません。ノイズを聞きながら音量を調節しておくと、演奏が始まって思わぬ大音量になることがあります。電源を切る前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

MDのリPEAT演奏

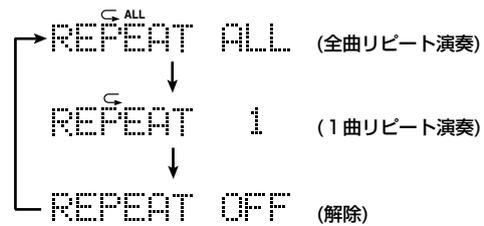
MDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。リモコンを使って設定します。

- 一枚のMDを全曲くり返す**全曲リPEAT演奏**と、現在演奏中の曲、またはこれから聞きたい曲(停止中)を1曲だけくり返す**1曲リPEAT演奏**の二通りから選べます。



1 リモコンの REPEAT ボタンをくり返し押し出す

ボタンを押すごとに、表示窓のリPEAT表示は次のように切り換わります。



- 演奏中のときは、リPEAT演奏に変わります。現在演奏中の曲から、1曲リPEAT演奏、または全曲リPEAT演奏になります。
- 停止中のときは、MD ▶/|| ボタンを押してリPEAT演奏を始めます。
1曲リPEAT演奏の場合は、そのMDの一番最初の曲または数字ボタンや▶▶/◀◀ ボタンで選んだ曲のリPEAT演奏になります。

お知らせ

- リPEAT演奏中に、数字ボタンや▶▶/◀◀ ボタンで他の曲のリPEAT演奏を選ぶことができます。

リPEAT演奏のモードを解除する

REPEAT ボタンをくり返し押し出して「REPEAT OFF」を選びます。リPEATの表示が消えます。

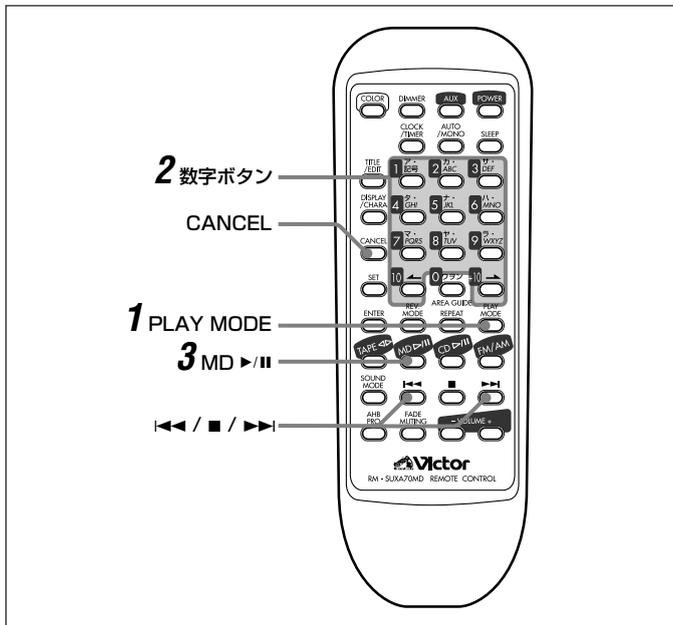
- MDを取り出したり電源を「切」にしても、リPEAT演奏は取り消されます。

MDを聞く (つづき)

MDのプログラム演奏

好きな曲を好きな順番で、最大32曲まで選んで演奏させることができます。

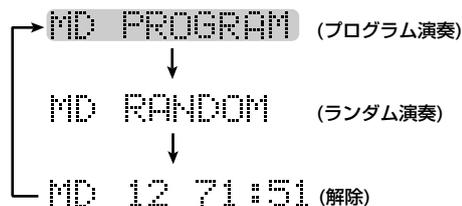
- ・リモコンを使って、停止中に操作します。
- ・「MDの演奏」手順1～3(⇒24ページ参照)のあと、■ボタンを押しておきます。



1 PLAY MODE ボタンを押して「MD PROGRAM」を選ぶ

表示窓には PRGM が点灯し、プログラム演奏のモードになります。

- ・ボタンを押すごとに、表示窓のプレイモード表示は次のように切り換わります。

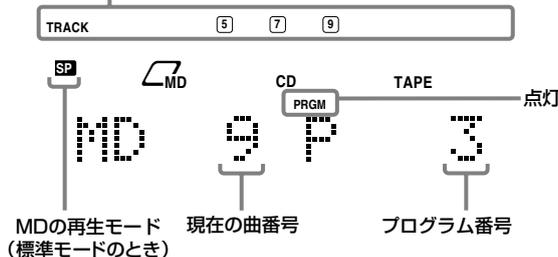


2 数字ボタンを押してプログラムしたい曲を選ぶ

- ・1～10の曲番号を指定するとき
数字ボタンの1～10のいずれかのボタンを押します。
- ・10以上の曲番号を指定するとき
数字ボタンの+ 10 ボタンを押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：15曲目は…+ 10 → 5と押す。
- ・20以上の曲番号を指定するとき
数字ボタンの+ 10 ボタンを数回押してから、1～10のボタンを押します(合計した数が指定した番号になります)。
例：25曲目は…+ 10 → + 10 → 5と押す。



■プログラムの予約(停止中) 例：5→7→9と
ミュージックカレンダー
(プログラムされた曲番号)



3 MD >|| ボタンを押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- ・プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。
- ・停止中に >>> / <<< ボタンを押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。
- ・プログラムを修正するときは、CANCEL ボタンを押します。プログラムした最後の曲から順番に削除されます。そのあとプログラムをし直します。
- ・リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(⇒25ページ「MDのリピート演奏」参照)。

お知らせ

- ・33曲目をプログラムしようとする、「MEMORY FULL」と表示されます。これ以上はプログラムできません。
- ・MDに収録されていない曲番号はプログラムできません。例えば13曲入りMDでは、14曲目以降はミュージックカレンダーにも表示されません。
- ・プログラムされた曲の合計時間が149分59秒を超えると、演奏時間は「--:--」と表示されます。

プログラム演奏を途中でとめる

■ ボタンを押すと、プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏がとまります。プログラム内容は変わりません。

プログラム演奏のモードを解除する

PLAY MODE ボタンをくり返し押して、表示窓の PRGM 表示を消します。

- ・この場合、プログラム内容は削除されません。PLAY MODE ボタンを押すと、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

- ・MD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押して MD を取り出さか、電源を「切」にします。

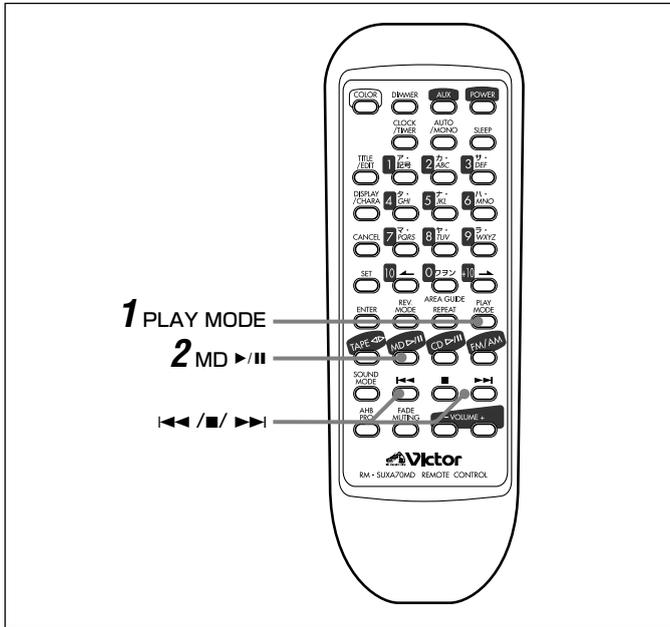
ご注意

- ・MDの演奏中に PLAY MODE ボタンを操作することはできません。必ずMDの停止中に操作してください。

MDのランダム演奏

MDに収録されているすべての曲を、ランダム(無作為)に選出して演奏します。

- リモコンを使って、停止中に操作します。
- 「MDの演奏」手順1～3(⇒ 24 ページ参照)のあと、■ ボタンを押しておきます。



お知らせ

- ►► ボタンを「ポン」と押すと、現在演奏中の曲を飛ばして、演奏できます。
- ◀◀ ボタンを押すと、演奏中の曲の頭出しをします。
- リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(⇒ 25 ページ「MDのリピート演奏」参照)。

ランダム演奏を停止する

- ボタンを押す。

「MD RANDOM」と表示して、演奏がとまります。ランダム演奏の設定は変わりません。

- ランダム演奏の停止中に**数字ボタン**を押すと、数字ボタンで選んだ曲からの通常の演奏に戻りランダム演奏のモードは解除されます。

ランダム演奏のモードを解除する

- **PLAY MODE** ボタンをくり返し押し、表示窓の**RANDOM**表示を消します。

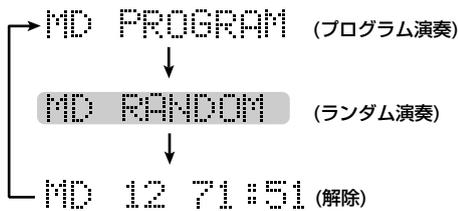
ご注意

- MDの演奏中に**PLAY MODE** ボタンを操作することはできません。必ずMDの停止中に操作してください。

1 PLAY MODE ボタンをくり返し押し て「MD RANDOM」を選ぶ

表示窓にRANDOMが点灯し、ランダム演奏の待機状態になります。

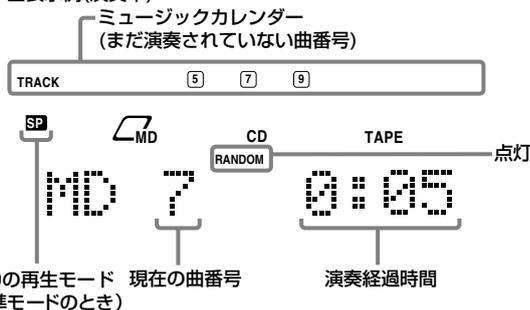
- ボタンを押すごとに、表示窓のプレイモード表示は次のように切り換わります。



2 MD ▶/|| ボタンを押す

表示窓の曲番号表示がくり返し点滅し、最初の曲の演奏が始まります。

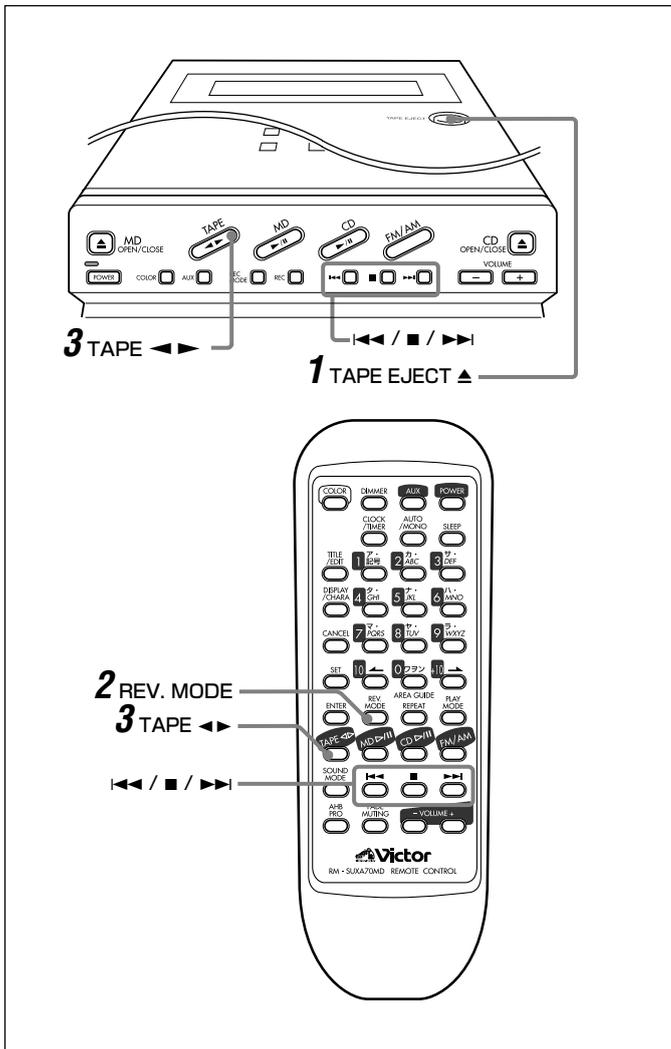
■表示例(演奏中)



- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

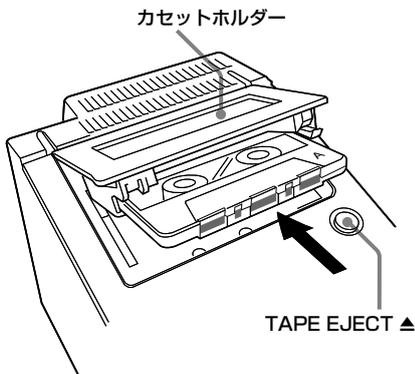
テープを聞く

ノーマルテープ(タイプ I)、ハイポジションテープ(タイプ II)、メタルテープ(タイプ IV)が再生できます。本機はテープの種類を自動的に判別するオートテープセレクト方式になっています。



1 TAPE EJECT▲ボタンを押してカセットホルダーを開け、テープを入れる

テープの見える面を手前にして入れます。



- カセットホルダーをしめるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押してしめてください。

2 REV. MODE ボタンを押してリバーモードを選ぶ

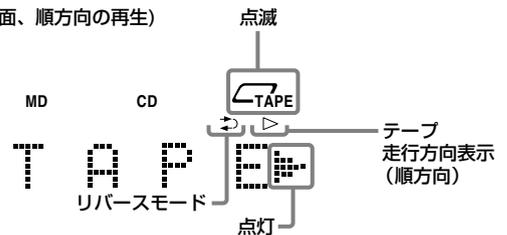
押すごとに、リバーモードは次のように切り換わります。

- ▶ : A面(表面)のみ、またはB面(裏面)のみの片道再生
- ↔ : A面(表面)からB面(裏面)への往復再生
- ↻ : AB両面の連続再生

3 TAPE◀▶ボタンを押してテープを再生する

テープの再生が始まります。

■表示例(A面、順方向の再生)



- TAPE◀▶ボタンを押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず順方向から走行します。
- テープのA面の再生中は▶(順方向)、テープのB面の再生中は◀(逆方向)が表示されます。
- 片道再生と往復再生では、テープが巻き終わると自動的に停止します。

再生を停止する

■ ボタンを押します。

カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず■ボタンを押してテープをとめてからTAPE EJECT▲ボタンを押します。

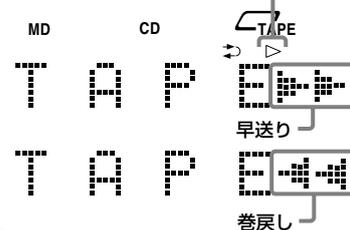
テープを早送り / 巻戻しする

▶▶ / ◀◀ ボタンを押します。

- テープの走行方向と同じ向き的时候が早送り、反対の向き的时候が巻き戻しになります。

■表示例(順方向のとき)

テープの走行方向表示(順方向)



お知らせ

- テープのB面(裏面)◀を再生中は、▶▶ / ◀◀ ボタンの働きがそれぞれ巻き戻し / 早送りになります。

ご注意

- テープにたるみがあると、機械に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用前にたるみを取り除いてください(▶▶ 81 ページ参照)。
- C-120などの長時間テープは、テープの材質が薄く伸びやすいため、こきざみな走行・停止や早送り・巻き戻しを繰り返すとテープが機械に巻き込まれる原因となります。なるべく90分(C-90)以下のテープをご使用ください。

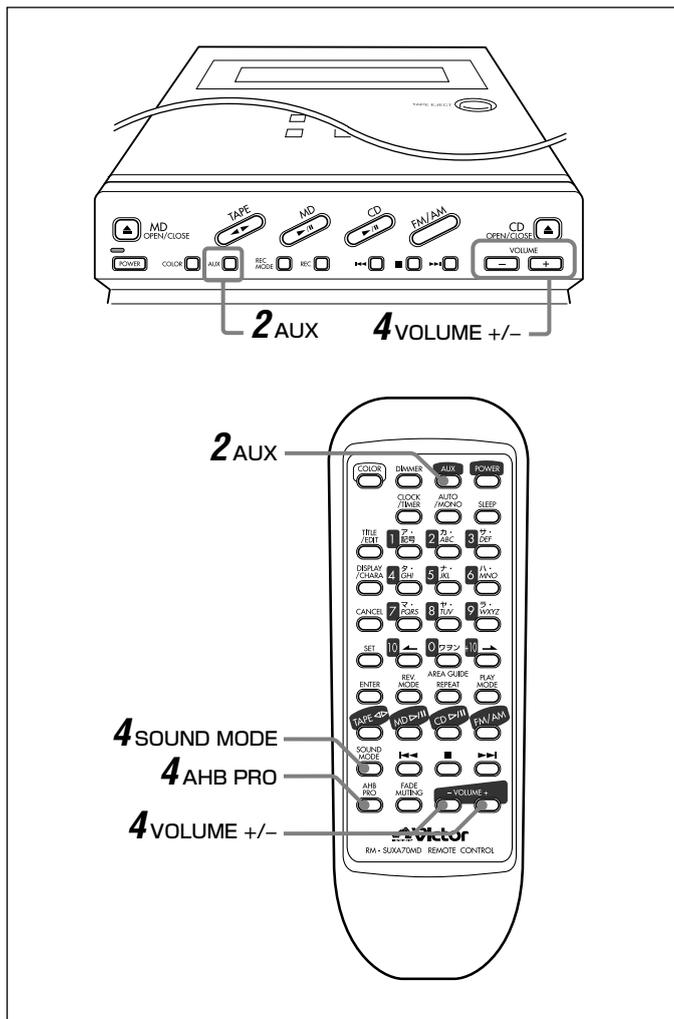
他の機器の音を聞く

他のオーディオ機器と接続して、それらの音声を楽しむことができます。

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

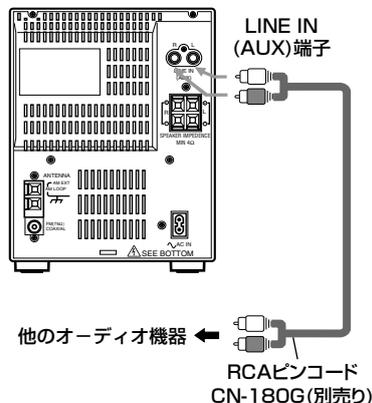
ご注意

- 接続する機器だけでなく、本体側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。



1 本体裏面の LINE IN(AUX)端子に他の機器をつなぐ

(→ 12 ページ「他の機器の接続」参照)



2 AUX ボタンを押す

本機の電源が「入」になり、表示窓は次のようになります。



3 他の機器の演奏を始める

- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(→ 16 ページ「基本の操作」参照)

聞

<

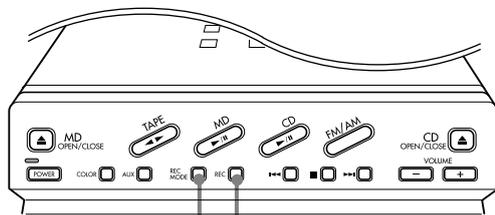
録音する前に

本機では、さまざまなソース(CDやMD、FM/AM放送、カセットテープなど)に応じた録音を **REC MODE** ボタンで設定できます。したがって、細かな設定に気を使わず、簡単に正確な録音を行うことができます。

録音方式について

まずお好きなソース(音源)を選び、録音に使う MD またはテープを用意します。

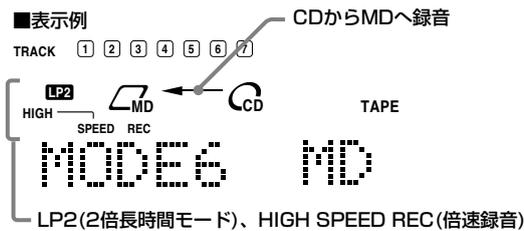
- CD や MD、テープから録音するときは、停止状態にしておきます。
- FM/AM 放送から録音するときは、FM/AM ボタンを押したあとに、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局しておきます。
- 他の機器から録音するときは、AUX ボタンを押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備しておきます。



*これらのボタンは本体でのみ操作できます。

1 本体のREC MODEボタンを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに表示窓の内容が変わり、いま選んでいるソース(音源)でどのような録音ができるかを、順番に知らせてくれます(→ 32~40 ページ参照)。



- この例では、CDからMDへステレオ2倍長時間録音(LP2モード)で、倍速録音(HIGH SPEEDモード)することを表しています。

2 本体のREC ボタンを押す

録音が始まります。

録音方式の内容

本機では、それぞれのソース(音源)ごとに、MDへの録音とテープへの録音とを一括して管理しています。

- CDからMDへ** : 通常の録音と、ステレオ長時間録音(2倍長時間、4倍長時間)に対応しています。
それぞれの録音モードに対して、倍速録音も可能です。
1曲録音にも対応しています。
- CDからテープへ** : 通常の録音のみ対応しています。
1曲録音にも対応しています。
- CDからMD/テープへ** : 通常の録音と、ステレオ長時間録音(2倍長時間、4倍長時間)に対応しています(MDの録音)。
MDとテープに、同時に録音することができます。
- MDからテープへ** : 通常の録音にのみ対応しています。
1曲録音にも対応しています。
- テープからMDへ** : 通常の録音と、ステレオ長時間録音(2倍長時間、4倍長時間)に対応しています。
- テープからテープへ** : テープを無音状態にするモードです。
- FM/AMからMDへ** : 通常の録音と、ステレオ長時間録音(2倍長時間、4倍長時間)に対応しています。
- FM/AMからテープへ** : 通常の録音にのみ対応しています。
- AUXからMDへ** : 通常の録音と、ステレオ長時間録音(2倍長時間、4倍長時間)に対応しています。
サウンドシンクロ録音に対応しています。
- AUXからテープへ** : 通常の録音にのみ対応しています。

お知らせ

- 各ソース(音源)に合わせ、最高10までの録音方式が用意されています。
- CDやMD、テープが入っていないなど、状況に応じて表示される方式は制限されることがあります。
- 各ソース(音源)によって、録音できる方式は異なります。

ステレオ長時間録音 (MD LP)

従来モノラル音声でしかできなかったMDの長時間録音が、本機ではステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間で録音できます。

再生するソース(音源)に関係なく設定でき、各再生ソースの演奏モードと組み合わせて使用できます。

また、1枚のMDに違う録音モード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。

SP : 標準のステレオ録音
(MD80で最大80分の録音)

LP2 : 2倍長時間録音(ステレオ)
(MD80で最大160分の録音)

LP4 : 4倍長時間録音(ステレオ)
(MD80で最大320分の録音)
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードをSPにしてください。

ご注意

- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、「MD LP」に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。「MD LP」に対応した機器で演奏すると、「LP:」は表示されません。
- MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

倍速録音

CDの収録曲を演奏時間の半分の時間でMDに録音できます。倍速録音は、CDを録音するときのみ設定できます。

お知らせ

- 倍速録音中は、CDおよび他のソース(音源)の音を聞くことはできません。
- 倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音できないことがあります。その結果、次のような症状が出る場合があります。
 - MDにノイズが録音される。
 - MDに不要なトラックができたり、録音が途中で停止する。このようなときは、定速で録音し直してください。とくに、「HCMS CAN NOT COPY」が表示されて録音が停止したときは、録音停止から74分以上たってから録音し直してください。

HCMSについて

倍速(ハイスピード)録音では、著作権保護のため倍速(定速を超える)録音に関する規定があります(→57ページ参照)。

- この規定により、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとするとき、「HCMS CAN NOT COPY」が表示されて録音が停止します。

お知らせ

- CDの収録曲をプログラムして倍速で録音するときは、プログラムの中に同じ曲が入っていると、倍速録音の規定により録音が途中で停止しますので、特にご注意ください。

録音をする前に

大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。

- MDには最大**254曲(トラック)**まで録音することができます。
- CDの音は、デジタル信号のまま録音されますが、テープやFM/AM放送の音はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。新たに録音し直すときは、**ALL ERASE** (→49ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(→41ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。

ご注意

- MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「**UTOCwriting**」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間の部分が「曲」としてみなされます。

- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけます。
- CD以外のソース(音源)の録音中には、手動でトラックマークをつけることができます。トラックマークをつけたいところでリモコンの**SET** ボタンを押してつけます。

お知らせ

- FM放送やテープなどのアナログソースの録音中には、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつけます。また、30秒以上の無音状態がつづくとき、自動的に録音が停止します。

お願い

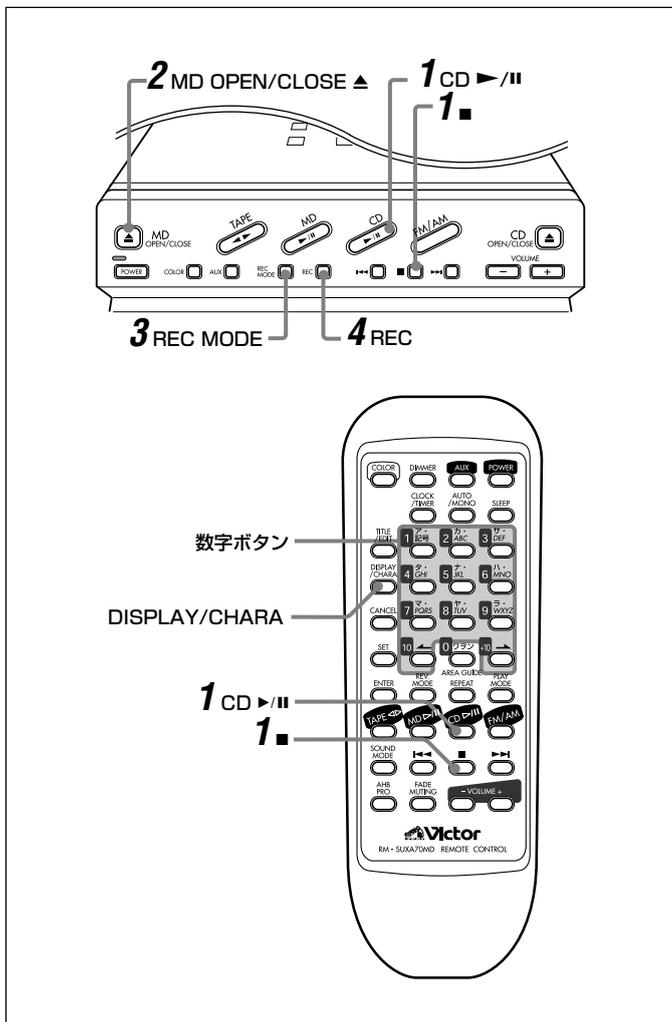
- MDカートリッジにラベルを張ってお使いになると、ラベルははがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

MDに録音する

CDのシンクロ録音

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。

- 録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。



1 CD ▶/|| ボタンを押してから ■ ボタンを押す

ソース(音源)をCDにして停止状態にします。
(→ 20 ページ「CDの演奏」参照)

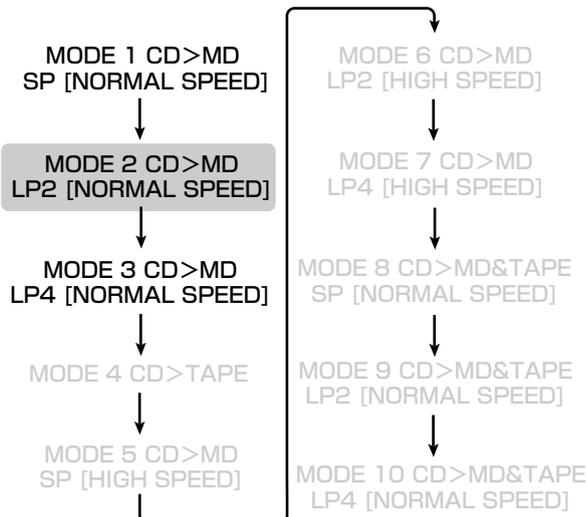
2 録音用のMDを入れる

誤消去防止つまみを閉じておきます(→ 60 ページ参照)。
MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。

3 REC MODE ボタンを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに下図のような録音方式が表示窓にくり返し表示されます。

- 目的に合わせて録音モードや録音スピードの組み合わせを選んでください。定速録音のときは、「MODE1」～「MODE3」の中から選んでください。ここでは例として「MODE2」を選びます。



4 REC ボタンを押す

2倍長時間モードの定速録音が始まります。



録音が終わると、「UTOCwriting」と表示して自動的に停止します。

- MDの録音残量時間がなくなると、自動的に停止します。

途中で録音をやめる

■ ボタンを押します。

- MDとCDが同時に停止し、「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

▶▶/◀◀ ボタンで曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。

- 手順 3 で REC MODE を選ぶ前に操作してください。

1 曲録音をする

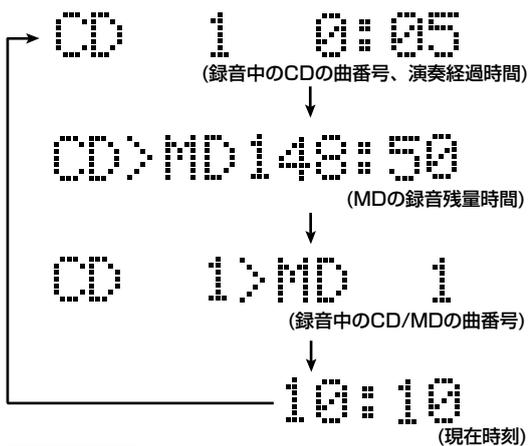
- 数字ボタンでダイレクトに録音したい曲を選び、手順 3 と手順 4 の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 曲の演奏中または一時停止中に、手順 3 と手順 4 の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。

プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(⇒ 22 ページ「CDのプログラム演奏」参照)。CD▶▶/◀◀ ボタンは押さないでおきます。次に、手順 3 と手順 4 の操作をします。

表示窓の表示内容を切り換える

- DISPLAY/CHARA ボタンを押すごとに、録音中のCD/MDの曲番号や演奏経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。



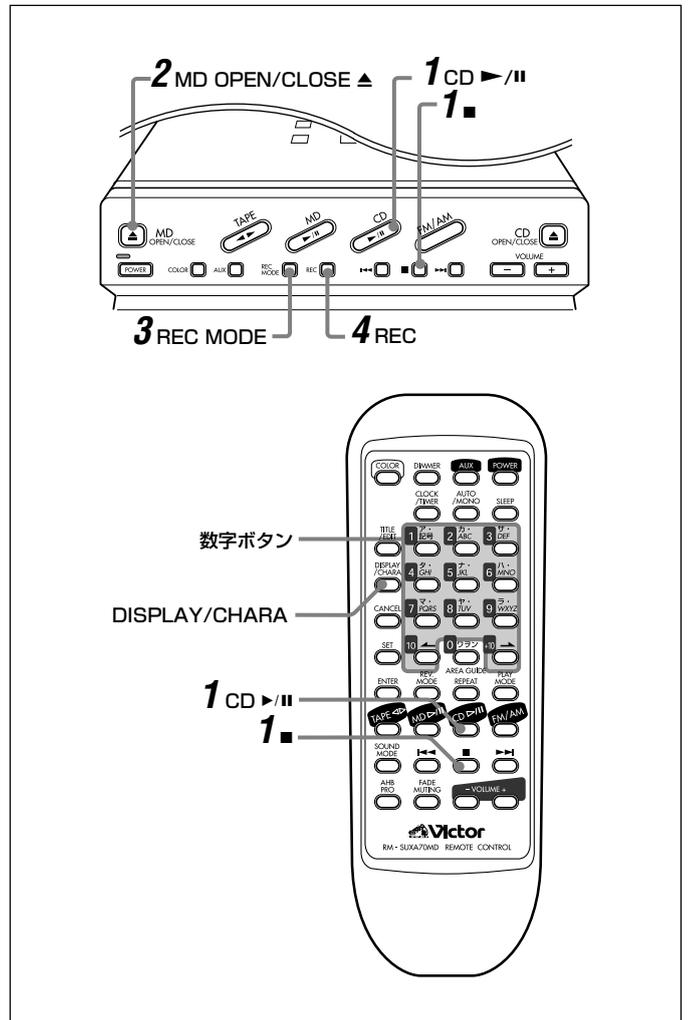
お知らせ

- 録音残量時間は、そのMDの録音に用いられる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

CDの倍速録音

CDのシンクロ録音を通常の半分の時間で行ないます。

- 録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。



1 CD▶▶/◀◀ ボタンを押してから ■ ボタンを押す

ソース(音源)をCDにして停止状態にします。

(⇒ 20 ページ「CDの演奏」参照)

2 録音用のMDを入れる

誤消去防止つまみを閉じておきます(⇒ 60 ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。



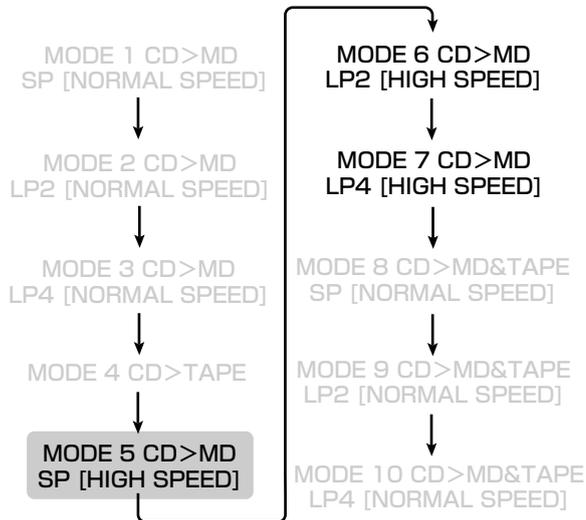
34 ページへ続く

MDに録音する (つづき)

3 REC MODE ボタンを押して録音方式を選ぶ

ボタンを押すごとに下図のような録音方式が表示窓にくり返し表示されます。

- 倍速録音のときは、「MODE5」～「MODE7」の中から選んでください。ここでは例として「MODE5」を選びます。

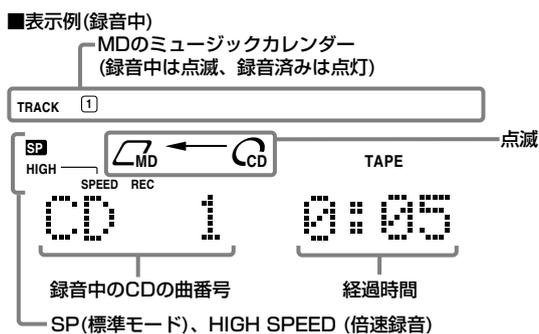


お知らせ

- 倍速録音を選ぶと、録音中にCDの演奏を聞くことはできません。音量調節などの操作をすると、「CAN NOT LISTEN」と表示されます。

4 REC ボタンを押す

標準モードの倍速録音が始まります。



録音が終わると、「UTOCwriting」と表示して自動的に停止します。

- MDの録音残量時間がなくなると、自動的に停止します。

途中で録音をやめる

- ボタンを押します。

- MDとCDが同時に停止し、「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

▶▶/◀◀ ボタンで曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。

- 手順3でREC MODEを選ぶ前に操作してください。

1曲録音をする

- 数字ボタンでダイレクトに録音したい曲を選び、手順3と手順4の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 曲の演奏中または一時停止中に、手順3と手順4の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。

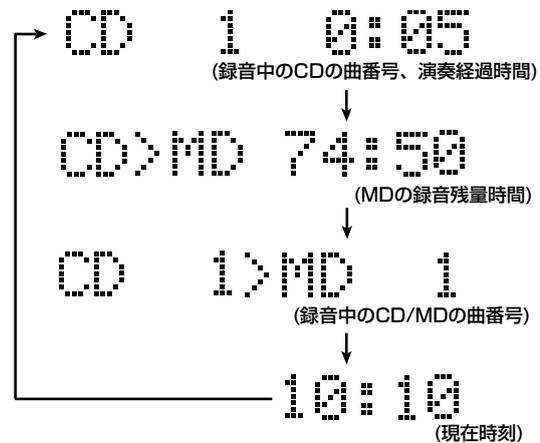


プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(⇒ 22 ページ「CDのプログラム演奏」参照)。倍速録音するときは、同じ曲をプログラムしないでください(⇒ 31 ページ「HCMSについて」参照)。また、CD▶/|| ボタンは押さないでおきます。次に、手順3と手順4の操作をします。

表示窓の表示内容を切り換える

- DISPLAY/CHARA ボタンを押すごとに、録音中のCD/MDの曲番号や演奏経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。



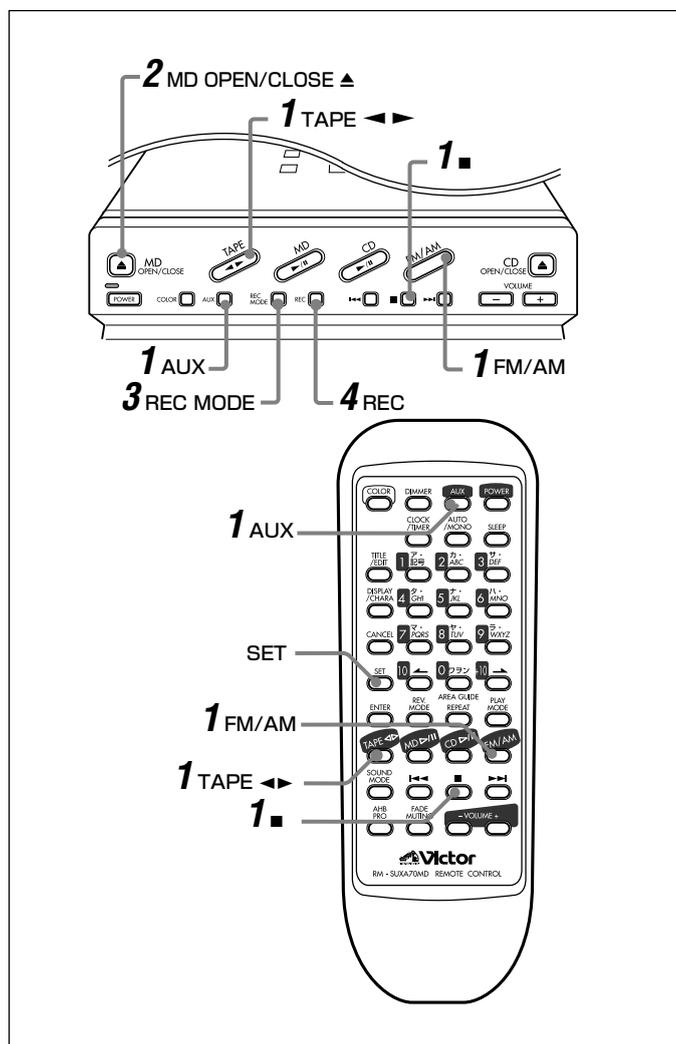
お知らせ

- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード (SP/LP2/LP4) に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

放送やテープ、他の機器からの録音

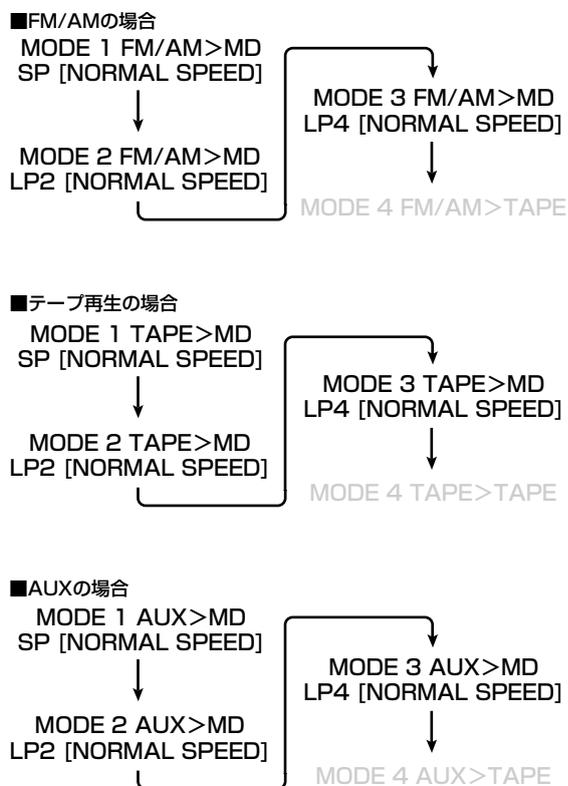
他の機器からの録音はサウンドシンクロ録音になります。

- 録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。



3 REC MODE ボタンを押す

録音したいソース(音源)に応じて、録音方式は次のようになります。目的に合わせて録音方式を選んでください。



4 REC ボタンを押す

- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします。
- 他の機器からの録音の場合、「AUX Ready」と表示窓に表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音が入力されると、サウンドシンクロ録音が始まります。

MD CD TAPE

AUX Ready

お知らせ

- サウンドシンクロ録音では、ソース機器の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。また、ソース(音源)の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

ご注意

- 接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操作
FM/AM	FM/AM ボタンを押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選択する。
テープ再生(TAPE)	テープを入れてリバースモードを選び、TAPE ◀▶ ボタンを押してから ■ ボタンを押す。
他の機器の音(AUX)	AUX ボタンを押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。

2 録音用のMDを入れる

誤消去防止つまみを閉じておきます(⇒ 60 ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。



36 ページへ続く

MDに録音する (つづき)

トラックマーク(曲番号)をつける

- 録音中に、曲の変わり目でリモコンの**SET**ボタンを押すとトラックマーク(曲番号)をつけることができます。録音が終わったあともMDの編集機能(➡ 45)ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照でトラックマークをつけることができます。

途中で録音をやめる

- ボタンを押します。
- 「**UTOCwriting**」と表示して録音が終了します。

ご注意

- 「**UTOCwriting**」の表示中、本体やその設置場所に衝撃を与えないでください。MDの録音内容が損傷する原因となります。必ず「**UTOCwriting**」の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

お知らせ

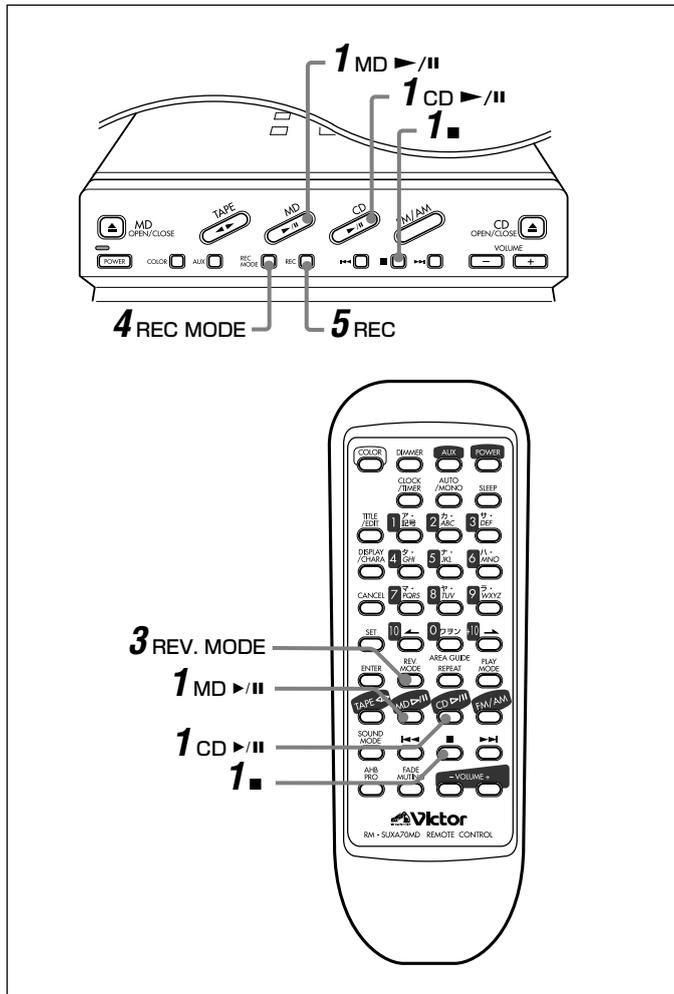
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

テープに録音する

CD/MDのシンクロ録音

CD/MDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する1曲録音ができます。

- 曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。
- 録音に使用できるのはノーマルテープ(TYPE I)のみです。



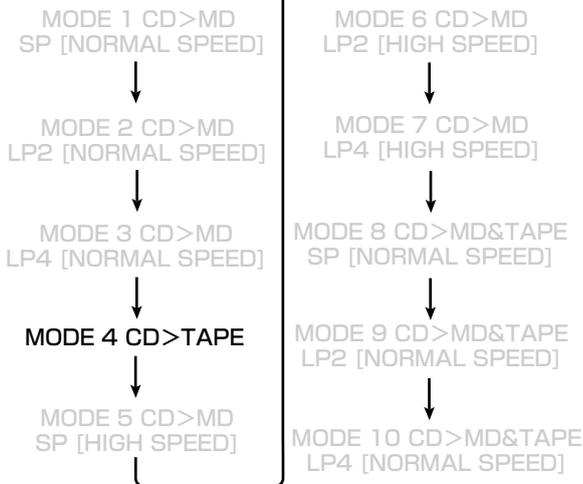
お知らせ

- リバースモードを「連続再生(↻)」に設定しても、録音時にはB面の終わりでテープは自動的に停止します。録音中の表示も↻となります。

4 REC MODE ボタンを押して録音方式を選ぶ

録音方式は次のようになります。目的に合わせて録音方式を選んでください。

■CDの場合



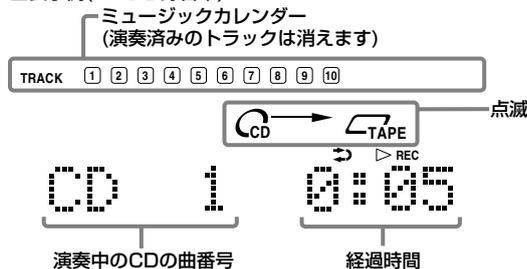
■MDの場合

MODE 1 MD>TAPE SP [NORMAL SPEED]

5 REC ボタンを押す

テープの録音が始まります。

■表示例(CDから録音中)



- CDまたはMDの演奏が終わると、テープは自動的に停止します。
- 録音中には、CD/MDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。

途中で録音をやめる

- ボタンを押します。録音の一時停止はできません。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

CD ▶/|| または MD ▶/|| ボタンを押したあと、■ ボタンを押します。

2 録音用のテープを入れる

- ➔ 28 ページ「テープを聞く」参照。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➔ 61 ページ参照)。

3 REV. MODE ボタンを押してリバースモードを選ぶ

- ➔ : A面(表面)のみ、またはB面(裏面)のみの片道録音
- ↻ : A面(表面)からB面(裏面)への往復録音



テープに録音する (つづき)

曲の途中でテープの裏面に反転する

- 録音中に曲の途中で A 面から B 面に反転すると、B 面(裏面)に録音されるのは、
A面の最後の曲が12秒以下のときはひとつ前の曲の頭から、
A面の最後の曲が12秒以上のときはその曲の頭から、録音されます。

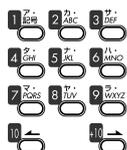
▶▶/◀◀ ボタンで曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。

- 手順 4 で REC MODE を選ぶ前に操作してください。

1 曲録音をする

- 数字ボタンでダイレクトに録音したい曲を選び、手順 4 と手順 5 の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 曲の演奏中または一時停止中に、手順 4 と手順 5 の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。



プログラム録音をする

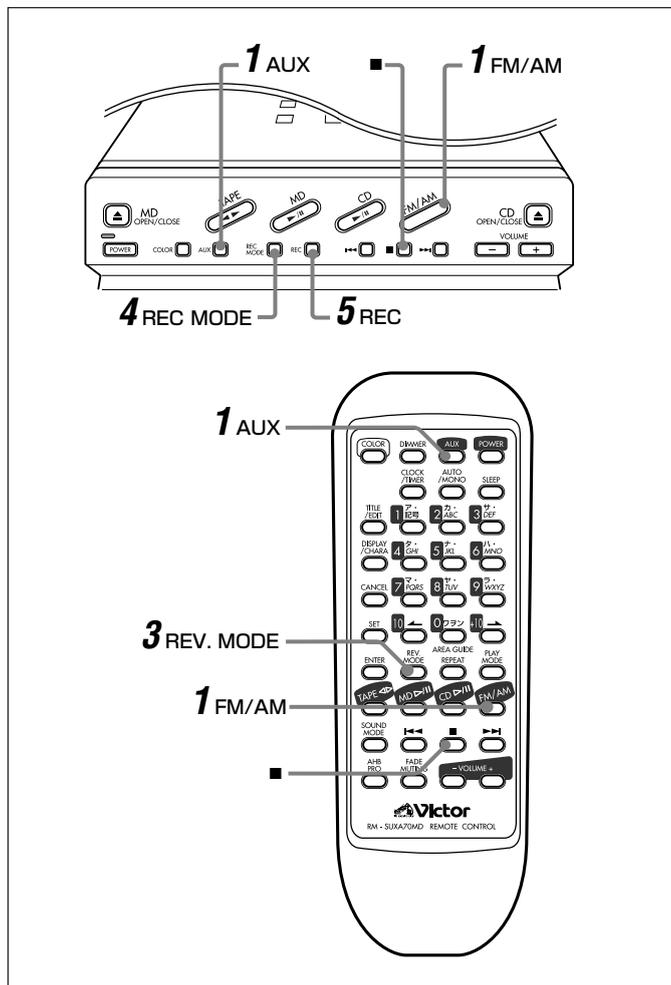
はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(⇒ 22 ページ「CDのプログラム演奏」参照)。CD▶/|| ボタンは押さないでおきます。次に、手順 4 と手順 5 の操作をします。

録音済みのテープの音を消す

- ソース(音源)をテープに切り換えます。REC MODE ボタンをくり返し押して「MODE4 TAPE」を選び、録音します。無音のテープができます。

放送や他の機器からの録音

- 録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。
- 録音に使用できるのはノーマルテープ(TYPE I)のみです。



1 FM/AM または AUX ボタンを押す

ソース(音源)	操作
FM/AM	FM/AM ボタンを押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音 (AUX)	AUX ボタンを押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。

2 録音用のテープを入れる

「テープを聞く」(⇒ 28 ページ)参照。

- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(⇒ 61 ページ参照)。

MDとテープに同時録音する

3 REV. MODE ボタンを押してリバースモードを選ぶ

- ➡ : A面(表面)のみ、またはB面(裏面)のみの片道録音
- ↔ : A面(表面)からB面(裏面)への往復録音

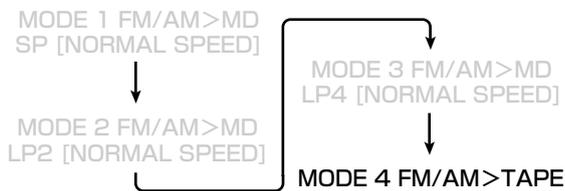
お知らせ

- リバースモードを「連続再生(↔)」に設定しても、録音時にはB面の終わりでテープは自動的に停止します。録音中の表示も↔となります。

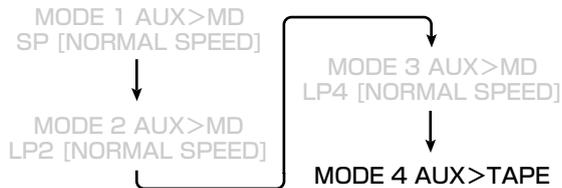
4 REC MODE ボタンを押して録音方式を選ぶ

それぞれ録音方式は一通りだけです。

■FM/AMの場合



■AUXの場合



5 REC ボタンを押す

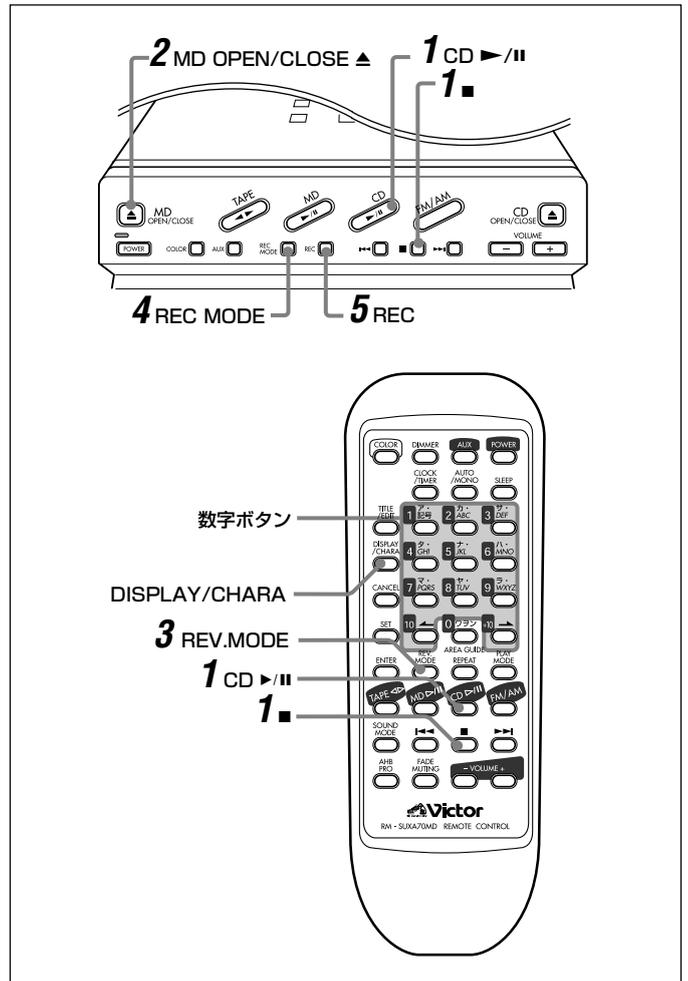
録音が始まります。

途中で録音をやめる

- ボタンを押します。
 - 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

CDのシンクロ録音(定速)を、MDとテープへ同時に行ないません。また、MDのステレオ長時間録音もできます。

- 録音レベルは自動的にコントロールされます(ALC方式)。



1 CD ▶/|| ボタンを押してから ■ ボタンを押す

ソース(音源)をCDにして停止状態にします。
(➡ 20 ページ「CDの演奏」参照)

2 録音用のMDとテープを入れる

- MDの誤消去防止つまみは閉じておきます(➡ 20 ページ参照)。MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 61 ページ参照)。

3 REV. MODE ボタンを押してテープのリバースモードを選ぶ

- ➡ : A面(表面)のみ、またはB面(裏面)のみの片道録音
- ↔ : A面(表面)からB面(裏面)への往復録音



40 ページへ続く

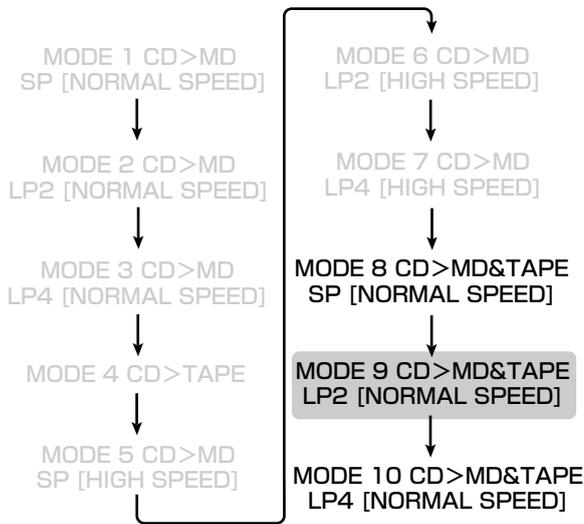
お知らせ

- リバースモードを「連続再生(↔)」に設定しても、録音時にはB面の終わりでテープは自動的に停止します。録音中の表示も↔となります。
- MDの録音残量時間に見合うよう、テープの種類とリバースモードを選んでください。

4 REC MODE ボタンを押して録音方式を選ぶ

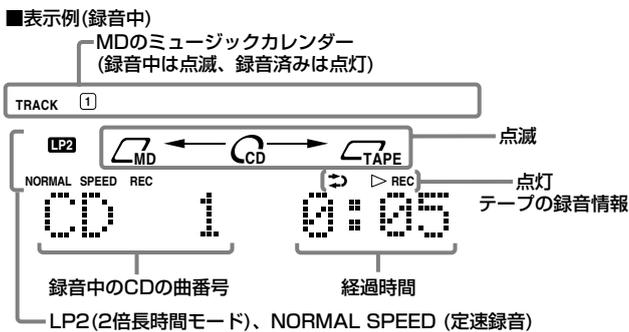
ボタンを押すごとに下図のような録音方式が表示窓にくり返し表示されます。

- 目的に合わせて録音方式を選んでください。ここでは例として「MODE9」を選びます。



5 REC ボタンを押す

MDの2倍長時間モードの定速録音とテープの同時録音が始まります。



録音が終わると、「UTOCwriting」と表示して自動的に停止します。

- MDの録音残量時間がなくなると、自動的に停止します。
- テープの録音残量時間がなくなると、テープへの録音は自動的に停止し、MDの録音はそのまま続きます。

途中で録音をやめる

- ボタンを押します。

- MDとCDが同時に停止し、「UTOCwriting」と表示して録音が終了します。

▶▶/◀◀ ボタンで曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。

- 手順4でREC MODEを選ぶ前に操作してください。

1曲録音をする

- 数字ボタンでダイレクトに録音したい曲を選び、手順4と手順5の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 曲の演奏中または一時停止中に、手順4と手順5の操作をします。演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。

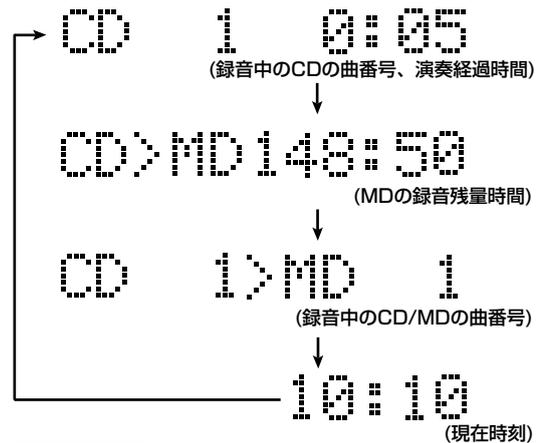


プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(⇒22ページ「CDのプログラム演奏」参照)。CD▶/|| ボタンは押さずにおきます。次に、手順4と手順5の操作をします。

表示窓の表示内容を切り換える

- DISPLAY/CHARA ボタンを押すごとに、録音中のCD/MDの曲番号や演奏経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。



お知らせ

- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。
- 録音の途中でテープが反転したときは、録音中の曲の一部が音切れになります。

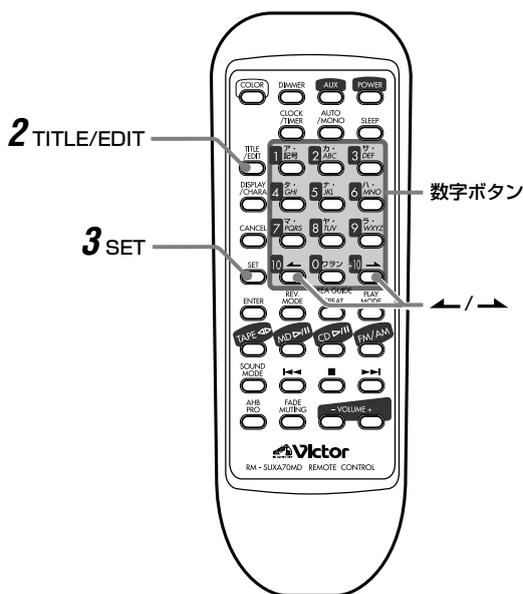
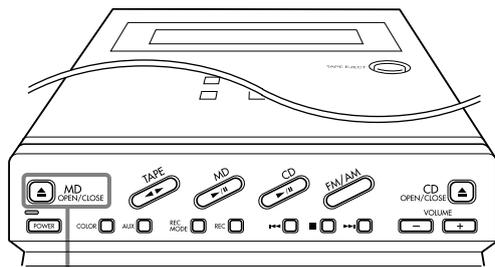
タイトルをつける

MDには録音・演奏の他に、あとから編集できるという特長があります。録音した曲に名前をつけたり、好きなところで曲を分けてたり、つなげたり、移動したり、消したり、またそれらを自由に組み合わせてアレンジすることもできます。

- リモコンで操作します。

TITLE EDIT「タイトル編集」とは

- リモコンを使って、MDにディスクタイトルをつけたり指定した曲に曲タイトルをつけることができます。
- ディスクタイトルには最大64文字まで、曲タイトルには最大61文字までつけることができます。文字の種類はカタカナ、英大文字/英小文字、記号、数字があります。
- CDの録音中は、16曲分のタイトルを先行して入力できます。ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあとでMD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押すと、MDを取り出す前に「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「UTOCwriting」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でTITLE/EDIT ボタンを押すとタイトル入力解除されます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、TITLE/EDIT ボタンを押すと編集モードになります。プログラムされているときは、プログラムの内容が削除されます。
- 62文字以上のタイトルが入力されているMDは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。



1 タイトルをつける MD を入れる

- 誤消去防止つまみは閉じておきます。

2 TITLE/EDIT ボタンを押して「DISC TITLE?」を選ぶ

自動的にMDの編集モードに切り換わります。

- ▲ ボタンを押すと「1 TITLE?」と表示され、曲タイトルの編集モードに入ります。押すごとに「ディスクタイトル→1曲目のタイトル→2曲目のタイトル…」という順番になります。
- ◀/▶ ボタンを押すと、ディスクタイトルの入力と曲タイトルの入力とに切り換えることができます。

3 SET ボタンを押す

表示窓がタイトル入力表示に変わります。

- MD 停止中の表示例：

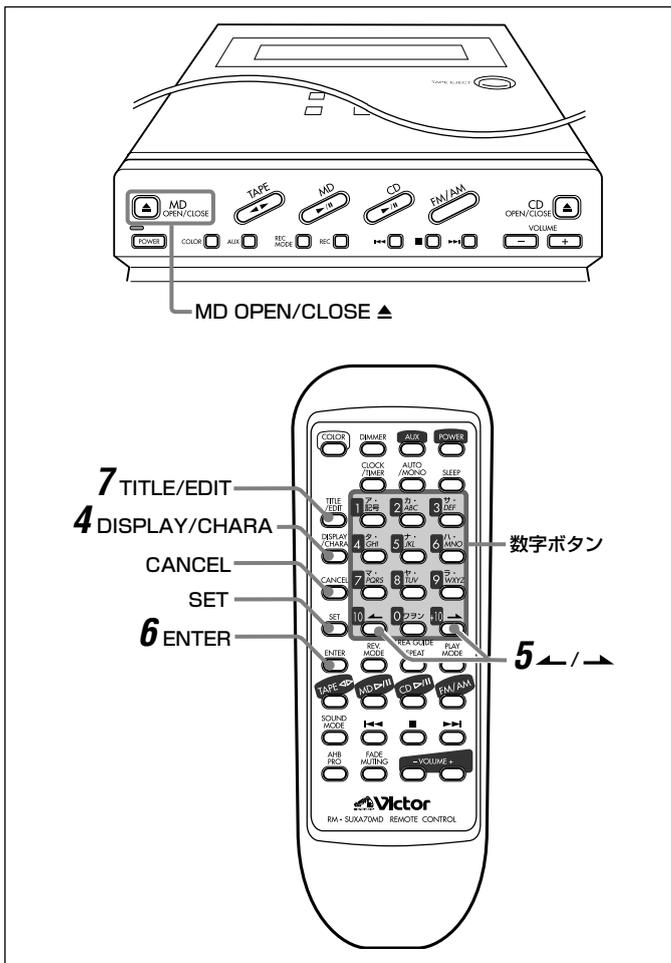


MDの演奏中または特定の曲で停止中のときは、その曲番号の曲タイトル入力表示になります。

すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルを修正したり文字を追加、削除ができます。



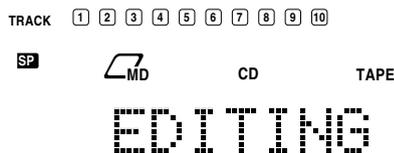
タイトルをつける (つづき)



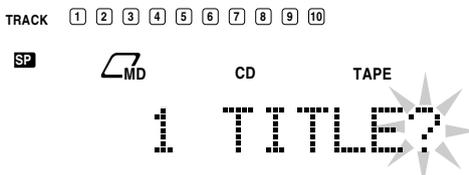
- 1つのボタンをくり返し押しして文字を選ぶあいだは、文字の入力位置は移動しません。
別のボタンを押したり←ボタンを押すと、文字の入力位置は右に1文字分移動します。
- 手順4から手順5をくり返して好きなタイトルを入力してください。

6 ENTER ボタンを押す

表示窓には「EDITING」と表示され、タイトルが登録されます。



- ディスクタイトルをつけたあとは、「1 TITLE?」と表示され、曲タイトルの入力操作になります。



- SET ボタンを押すと1曲目の曲名入力表示に変わり、手順4～手順6のくり返し操作になります。
演奏中に操作しているときは、演奏中の曲がくり返し演奏されます。
- 曲名の入力後、次の曲があるときは、その曲のタイトル入力表示になります。
演奏中は、次の曲の演奏になります。
- 最後の曲にタイトルをつけ終わると、MDの通常表示に戻ります。
演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

タイトル入力を終了するとき

4 DISPLAY/CHARA* ボタンを押して 入力する文字の種類を選ぶ

DISPLAY/CHARA ボタンを押すごとに、「カナ→英大文字・記号→英小文字・記号→数字」と変わります。

[43]ページの「文字配列表」をご覧ください。

キャラクター

*CHARA: CHARACTERの略で、文字や記号の意味です。

5 数字ボタンを使ってタイトルを入力する

数字ボタンの一つひとつは次のような働きをします。

例えば「3」のボタンをくり返し押すと、カナ入力の場合は「サ→シ→ス→セ→ソ」のサ行5文字、英大文字・記号入力の場合は「D→E→F」の3文字、英小文字・記号入力の場合は「d→e→f」の3文字を順番に表示します。



「*、-、°」は、「0」のボタンのカナ入力に割り当てられています。

- 文字をまちがえたときは
CANCEL ボタンを押します。
画面上の点滅している部分の文字が消去され、右側に文字があるときは左に1文字分つまります。
- 文字の入力位置を移動させるには
←/→ ボタンを押します。左/右に1文字ずつ移動します。
点滅位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。
- 「空白」をつくるには
「1」のボタンの中からスペース(空白)を選ぶか、←ボタンで入力位置を右に移動させます。

7 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押し て、MDの通常表示に切り換える

- MDを取り出すときは、本体のMD OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押します。
MDが出てくる前に「UTOCwriting」表示が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。

お知らせ

録音中にもタイトルの入力を行うことができます。

- **TITLE/EDIT** ボタンを押したときの曲、または **▲/▶** ボタンで選んだ曲にタイトルをつけます。
- **REC MODE** ボタンを使って CD を録音中(1曲録音は除く)は、次の曲のタイトル入力画面が表示されます。16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます。手順 **3**～手順 **6** の操作をくり返します。
- 録音が終了するまでに **ENTER** ボタンが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。
- **MD に入力できる文字数について**

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナを使用したときも、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。

またスペース(空白)は、文字と同じ量のデータを必要としています。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭に「LP:」とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：

- ・ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ・ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

ご注意

- ステレオ長時間(LP2またはLP4)録音中に曲タイトルの入力をして、その直後に入力済みの曲タイトルを **▲** ボタンで再度表示させると誤表示することがあります。このようなときは、**TITLE/EDIT** ボタンを押してタイトル入力を解除してください。このとき **ENTER** ボタンを押すと、誤表示された曲タイトルがついてしまいますので押さないでください。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

●文字配列表

ボタン	カ ナ	英大	英小	数字
1 	アイウエオアイウエオ	記号*	記号*	1
2 	カキクケコ	ABC	abc	2
3 	サシスセソ	DEF	def	3
4 	タチツテトツ	GHI	ghi	4
5 	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
6 	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
7 	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
8 	ヤユヨヤユヨ	TUV	tuv	8
9 	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
0 	ワラン `ー °			0

*「記号」ボタンで表示する内容

<input type="checkbox"/> スペース(空白)	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+
,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	@

お知らせ

- 「`」や「°」は、濁音や半濁音になる行の文字以外には入れることができません。

トラックを編集する

TRACK EDIT「トラック編集」とは

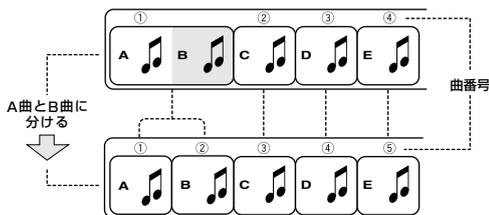
- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせることもできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、TITLE/EDITボタンを押すと編集のモードになります。プログラムされているときは、プログラムの内容が削除されます。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「UTOCwriting」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはTITLE/EDITボタンを押すと、編集操作を中止することができます。

TITLE/EDIT ボタンを押すごとに、「DISC TITLE?」に続いて次の5つの機能が呼び出されます。

- 停止中または演奏中に、リモコンで操作します。

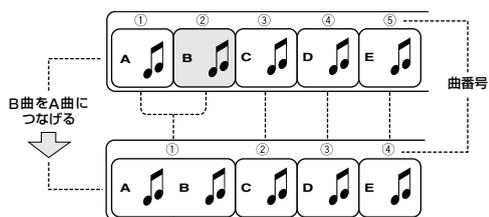
曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。



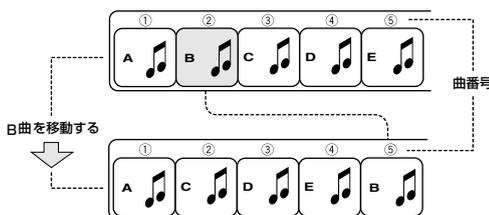
曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲と1つにまとめます。



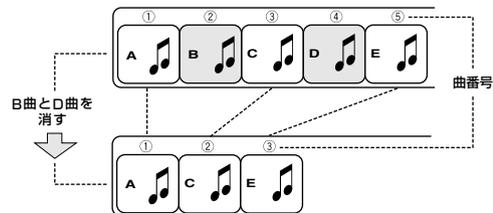
曲を移動する (MOVE)

好きな順番に曲を入れ換えます。



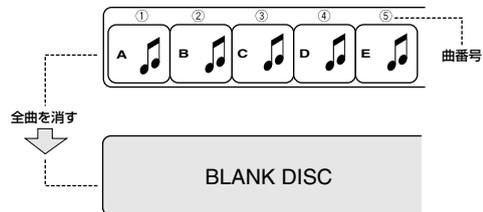
曲を消す (ERASE)

不要な曲やナレーションなど、消したい曲を一度に15曲まで指定して消すことができます。曲番号があらたにふり直されます。



全曲を消す (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去します。



お知らせ

- トラックマークとは**
曲ごとの頭の部分に頭出しのために付いているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(トラックナンバー)です。

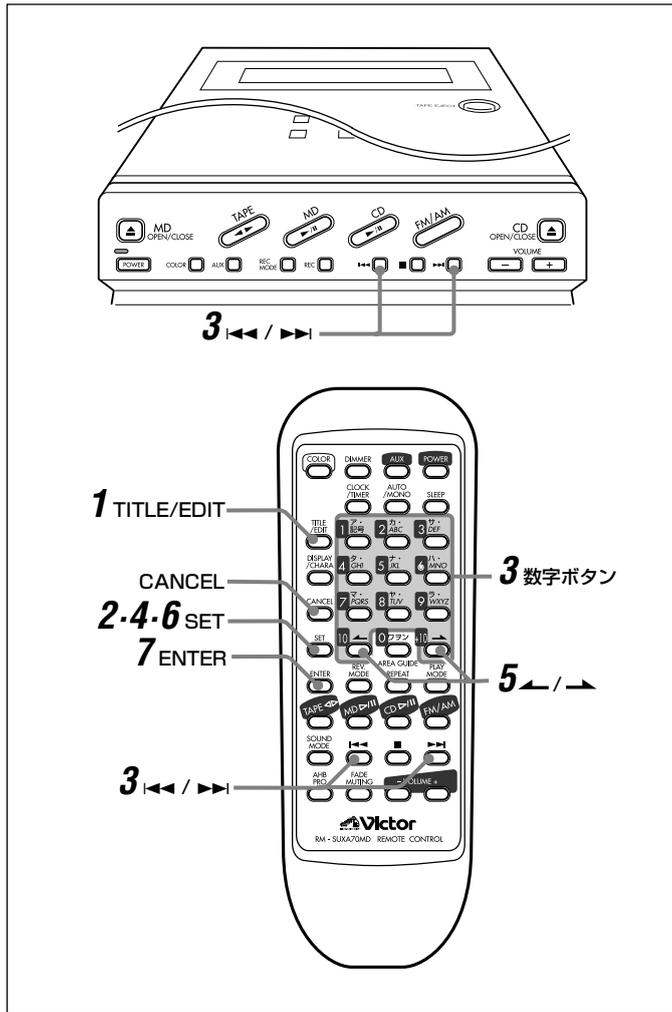
TITLE/EDITボタンを押すごとに、「DISC TITLE?」に続いて5つの機能が呼び出されます。

- リモコンで操作します。
- 編集したいMDを用意してください。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。

メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てるができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。



お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、**CANCEL** または **TITLE/EDIT** ボタンを押します。
- もとに戻すときは、**JOIN**(ジョイン)の操作をします。「曲をつなげる(JOIN)」(⇒ 40) ページ参照)
- MDによっては「曲を分ける」ことができないものがあります。(例えば、254曲録音してあるものなど)このようなMDのときは、手順 7 で **ENTER** ボタンを押すと「**DISC FULL**」が表示されます。

1 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押し て「DIVIDE?」を選ぶ

DIVIDE ?

2 SET ボタンを押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。

すでに演奏中のときは、いま演奏している曲が最初から演奏されます。

3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して編集 したい曲を選ぶ

- 数字ボタン(1 ~ 10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 曲を分けたいところで SET ボタンを 押す

「POSIT. 0?」と表示され、SET ボタンを押したところから3秒間がくり返し演奏されます。

TRACK ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

SP MD CD TAPE

POSIT. 0?

- 希望どおりに分けられたときは、手順 6 に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL** ボタンを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順 5 へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 ◀/▶ ボタンを押して微調節する

± 128 ポジション(約± 8 秒)の範囲で分けるところが調節できます。

トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL** ボタンを押します。

6 SET ボタンを押す

「PUSH ENTER」と表示されます。

- 分割しないときは、**TITLE/EDIT** を押します。

7 ENTER ボタンを押す

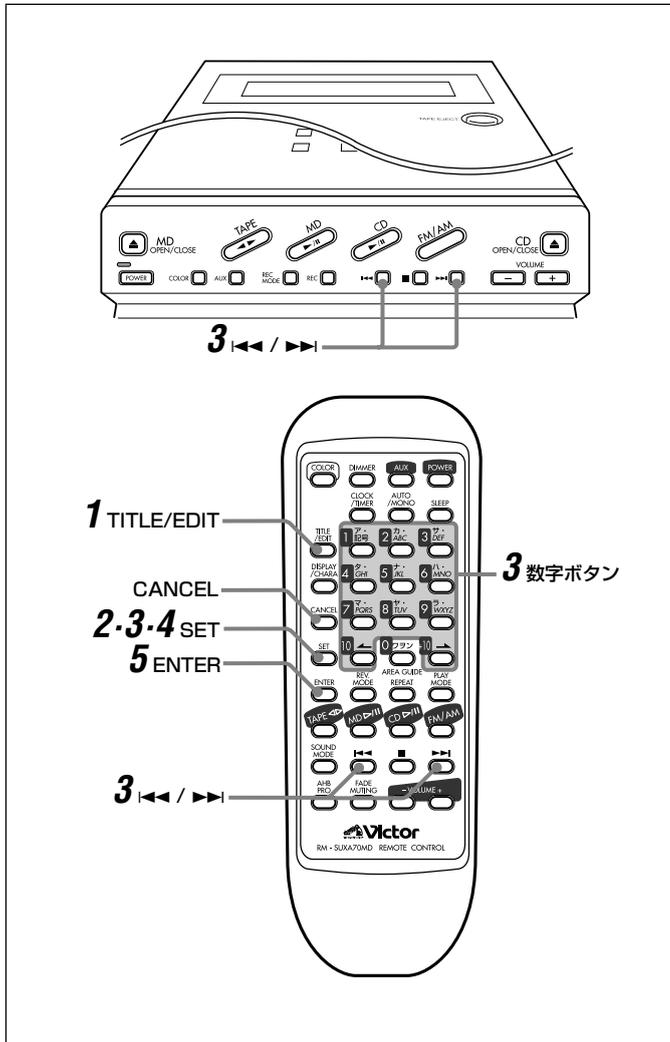
「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

トラックを編集する (つづき)

曲をつなげる(JOIN)

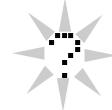
不要なトラックマークを取り除いて、1つ前の曲と1曲にまとめることができます。

JOIN をすると曲番号は自動的に減少します。



1 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押し
て「JOIN?」を選ぶ

JOIN

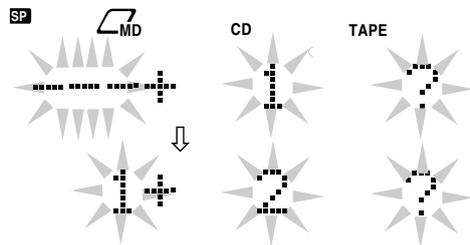


2 SET ボタンを押す

「----+ 1 ?」と表示されます。

3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押してつな
げたい曲を選ぶ

TRACK ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



表示は「1+2?」「2+3?」のように次々と変わっていきます。
この例では、1曲目と2曲目をつなげます。

- 数字ボタン(1~10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET ボタンを押す

「PUSH ENTER」と表示されます。

- つなげる曲を選び直すときは、CANCEL ボタンを押します。

5 ENTER ボタンを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

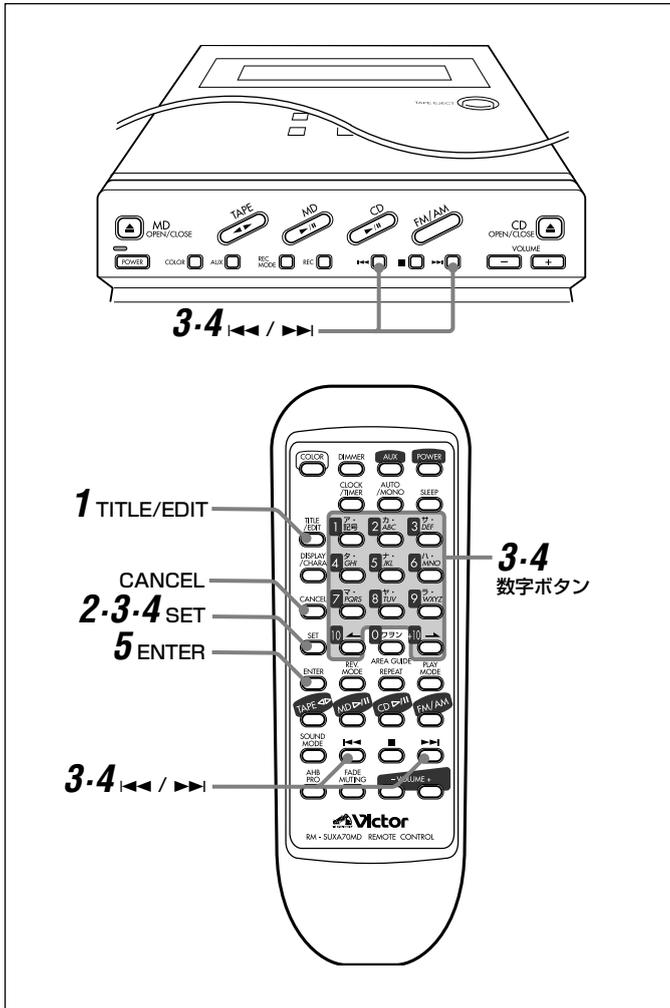
- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとするとき「CANNOT JOIN」が表示されます。

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、CANCEL または TITLE/EDIT ボタンを押します。
- もとに戻すときは、DIVIDE(ディバイド)の操作をします。(➡ 46 ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照)
- MDによっては「曲をつなげる」ことができないものがあります(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)。

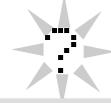
曲を移動する(MOVE)

移動したい曲を選んで、指定した位置に曲を移動します。



1 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押しして「MOVE?」を選ぶ

MOVE



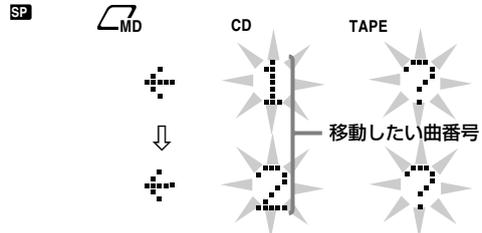
2 SET ボタンを押す

「 ← 1 ?」と表示されます。

3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して移動したい曲番号を選び、SET ボタンを押す

表示は「 ← 2?」「 ← 3?」のように変わります。

TRACK ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



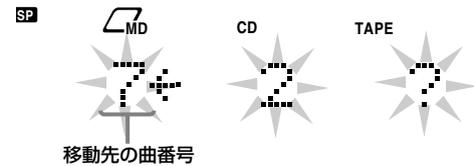
- 数字ボタン(1～10 +10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCEL ボタンを押します。

4 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して移動先の曲番号を選び、SET ボタンを押す

表示は「7← 2 ?」のように変わり、「PUSH ENTER」と表示されます。

この例では、2曲目を7曲目に移動します。

TRACK ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



- 数字ボタン(1～10 +10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCEL ボタンを押します。

5 ENTER ボタンを押す

「EDITING」が表示されたあと、「UTOwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

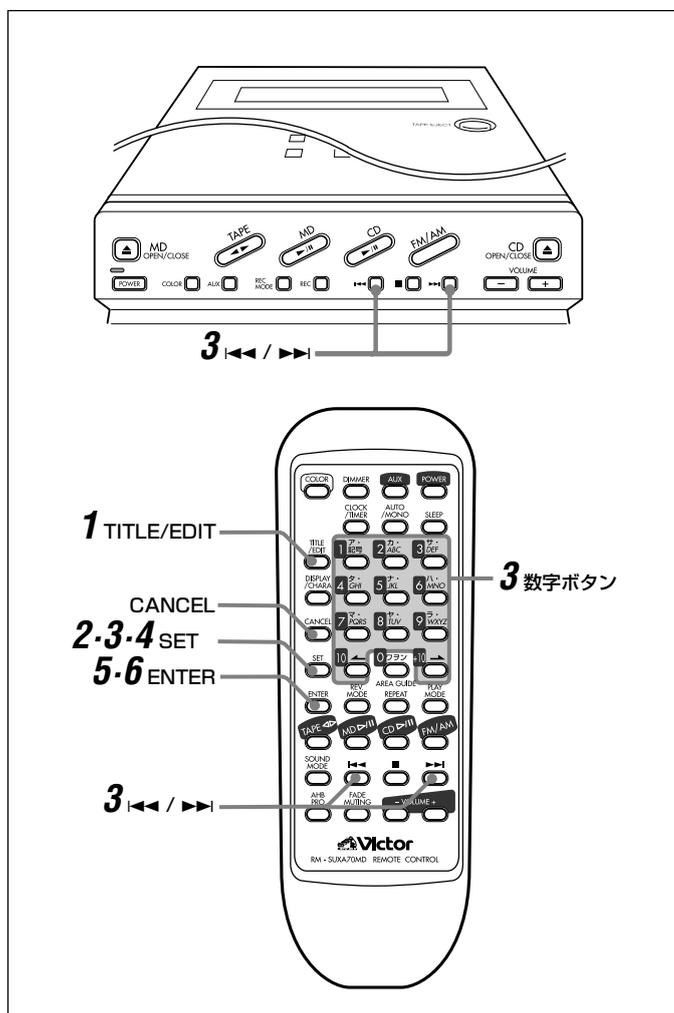
お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、CANCEL または TITLE/EDIT ボタンを押します。
- MDによっては「曲を移動する」ことができないものがあります(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)。

トラックを編集する (つづき)

曲を消す (ERASE)

指定した曲を消します。最大15曲まで1回の操作で消すことができます。曲番号は自動的に減ります。



1 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押し て「ERASE?」を選ぶ

ERASE?

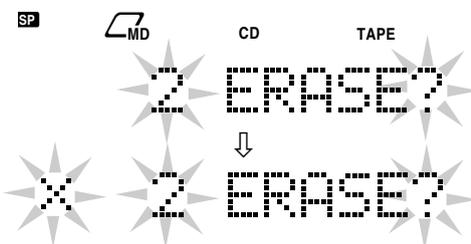
2 SET ボタンを押す

「1 ERASE?」と表示されます。

3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して消した い曲を選び SET ボタンを押す

表示は「× 2 ERASE?」「× 3 ERASE?」のように
変わります。

TRACK 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET ボタンを押す

- 手順3と手順4をくり返し、最大15曲まで消したい曲を選ぶことができます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCEL ボタンを押します。

5 ENTER ボタンを押す

確認のため、「PUSH ENTER」と表示されます。

- 手順4に戻すときは、CANCEL ボタンを押します。

6 ENTER ボタンを押す

指定した曲が消去されます。

「EDITING」が表示されたあと、「UTOCwriting」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

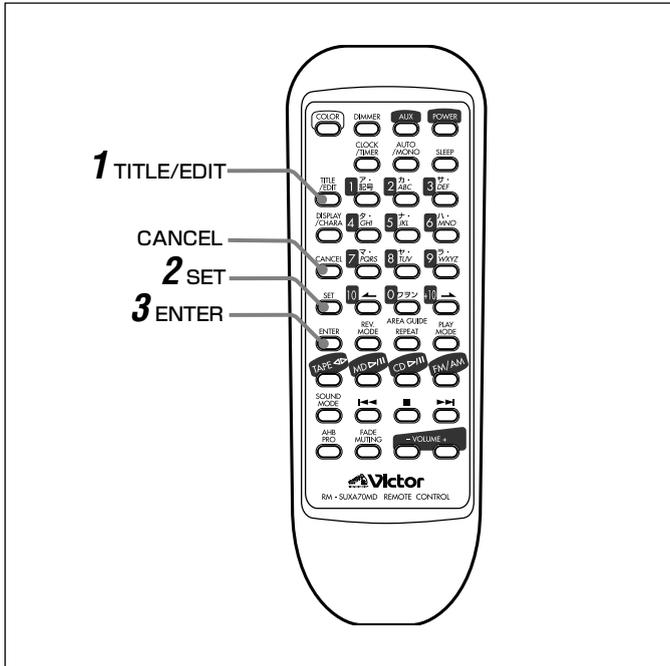
- 一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください。(→ 60 ページ参照)

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、CANCEL または TITLE/EDIT ボタンを押します。

全曲を消す (ALL ERASE)

MDに録音されている内容をすべて消して、ブランクディスクにします。



1 TITLE/EDIT ボタンをくり返し押し て「ALL ERASE?」を選ぶ

ALL ERASE?

2 SET ボタンを押す

「PUSH ENTER」と表示されます。

- 取り消すときは、CANCEL ボタンを押します。

TRACK 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

SP MD CD TAPE

PUSH ENTER

3 ENTER ボタンを押す

すべての曲が消去されます。

「EDITING」が表示されたあと、「UTOwriting」が点滅表示され、「BLANK DISC」と表示されます。

ご注意

- 一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください。(→ 60 ページ参照)

タイマーを使う

3種類のタイマー機能を使うことができます。

タイマー操作をする前に

- タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください(⇒[14]ページ参照)。

時計合わせをしていないときに**CLOCK/TIMER**ボタンを押しても、「RECタイマー」と「DAILYタイマー」の項目は表示されず操作はできません。また、**SLEEP**ボタンを押しても「**CLOCK ADJUST**」と表示され、操作がとまります。

🔒 **REC タイマー** (録音タイマー⇒[50]ページ参照)

留守中などにラジオ番組やLINE入力端子に接続した機器から留守録音をするタイマーです。設定後に1回だけ動作します。

- 開始時刻(電源が「入」になる時刻)、終了時刻(電源が「切」になる時刻)、録音する放送局と録音する機器を設定します。

🌅 **DAILY タイマー** (目覚ましタイマー⇒[52]ページ参照)

目覚ましのように毎日同じ時刻に動作するタイマーです。

- 開始時刻(電源が「入」になる時刻)、終了時刻(電源が「切」になる時刻)、聞きたいソース、音量を設定します。タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。

🌙 **SLEEP タイマー** (おやすみタイマー⇒[54]ページ参照)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。

- 電源を「切」にするまでの時間を設定し、設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

📌 ご注意

- 他の機器を接続して留守録音をするときは、タイマー機能のついた他の機器をご使用ください。
- 「RECタイマー」と「DAILYタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源プラグが抜いてあったときや停電のときは、「RECタイマー」と「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

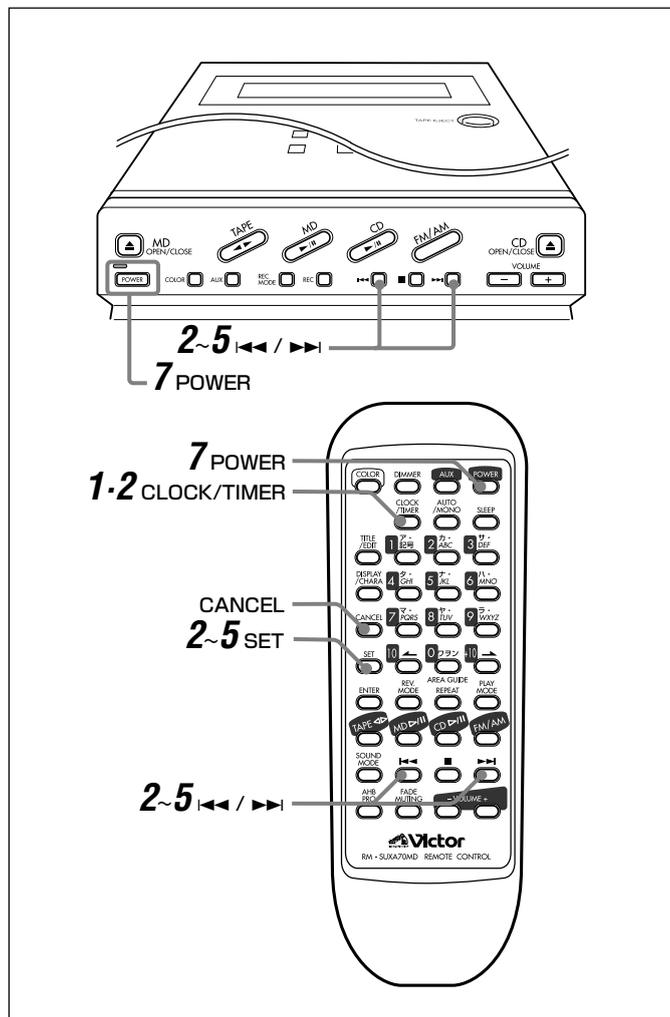
📌 お知らせ

- タイマーの時刻は「24時間表示」方式です。

RECタイマー (録音タイマー)

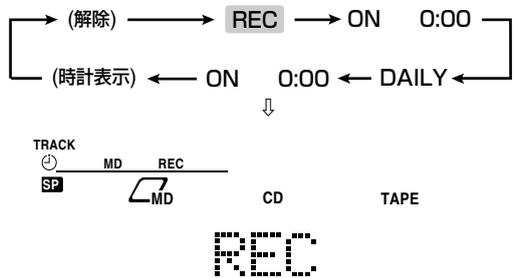
録音タイマーの設定をする前に、本機の時計を現在時刻に合わせておいてください(⇒[14]ページ参照)。

- 演奏中または停止中に、リモコンを使って操作します。
- 電源「切」の状態でも設定できます。



1 CLOCK/TIMERボタンを押して「REC」と表示させる

ボタンをくり返し押しすと⌚とREC表示が点灯し、表示は次のように変わります。

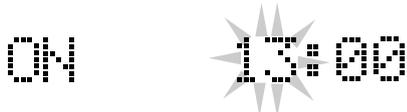


2 CLOCK/TIMERボタンをもう一度押しあと録音「開始時刻」を合わせる

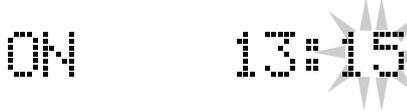
「開始時刻」の設定表示になります。

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押しして「時」を選び、SETボタンを押します。

例：午後 1 時 15 分に開始のとき



▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押しして「分」を選び、SETボタンを押します。

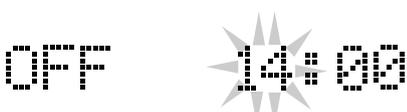


- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると、時刻表示は連続的に変化します。
- 続いて「終了時刻」の設定表示に移ります。

3 「終了時刻」を合わせる

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押しして「時」を選び、SETボタンを押します。

例：午後 2 時 15 分に終了のとき



▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押しして「分」を選び、SETボタンを押します。



- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると、時刻表示は連続的に変化します。
- 続いて録音するソース(音源)の設定表示に移ります。

4 録音するソース(音源)を設定する

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押しすごとに、右上図のように切り換わります。SETボタンを押して設定してください。



お知らせ

- 放送(FM/AM)を選んだときは、SETボタンを押したあとに、▶▶ または ◀◀ ボタンを押してプリセット番号を選びます。
- AUXを選んだときは、タイマー機能のついている他の機器を用意してください。

5 録音する機器を設定する

MDかTAPEかを選ぶ表示になります。

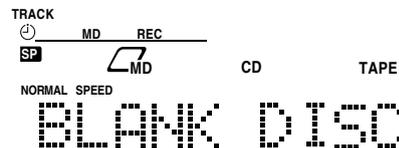
▶▶ または ◀◀ ボタンを押してMDかTAPEかを選び、SETボタンを押します。

- MDを選ぶときは、録音用のMDを入れて録音モード(SP/LP2/LP4)の設定もします。▶▶ または ◀◀ ボタンを押していずれかを選び、SETボタンを押します。
- TAPEを選んだときは、録音したい面を上にして録音用のテープを入れ、リバースモードを選んでおきます。

6 設定内容を確認める

表示窓には、確認のため、「開始時刻」「終了時刻」「ソース(FM/AMはプリセット番号も含む)」「録音する機器」の順に自動で表示され、通常の表示に戻ります。

■例：MDに標準モード(SP)で録音するとき



7 POWERボタンを押して電源を「切」にする

設定の終了です。⌚とREC表示が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になるとRECタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。RECタイマーが解除されます。
- RECタイマー動作中は、スピーカーから音は出ません。

RECタイマーを解除する

- RECタイマーの設定内容は記憶されています。設定を解除するには、手順1の操作のあとCANCELボタンを押してください。「REC off」と表示され、⌚とREC表示が表示窓から消えます。

RECタイマーを再設定する

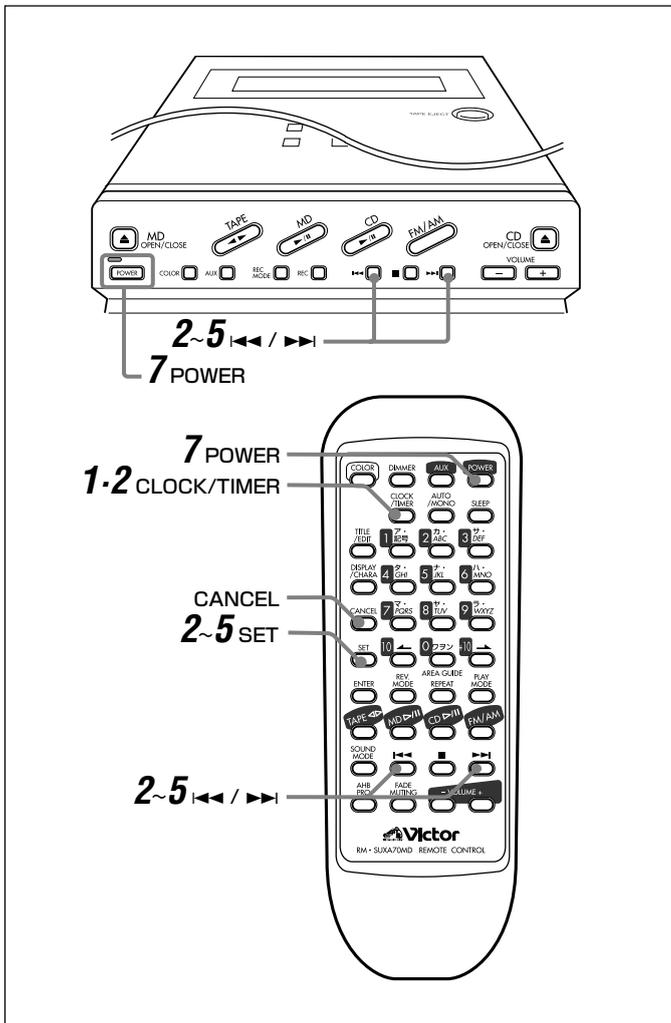
- RECタイマーの設定内容は記憶されていますので、毎日同じ動作をくり返すこともできます。RECタイマー終了後手順1の操作のあとSETボタンを押してください。設定内容が表示窓に表示されます。

タイマーを使う (つづき)

DAILYタイマー (目覚ましタイマー)

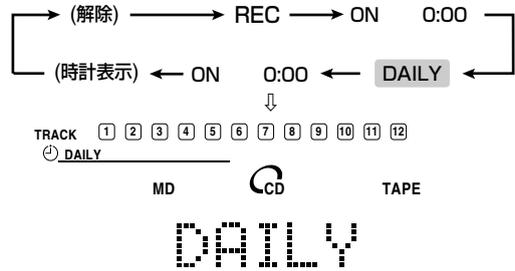
目覚ましタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください(⇒14ページ参照)。

- 演奏中または停止中に、リモコンを使って操作します。
- 電源「切」の状態でも設定できます。



1 CLOCK/TIMER ボタンを押して「DAILY」と表示させる

ボタンをくり返し押すと、☺とDAILY表示が点灯し、表示は次のように変わります。



2 CLOCK/TIMER ボタンをもう一度押したあと「開始時刻」を合わせる

「開始時刻」の設定表示になります。

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押して「時」を選び、SET ボタンを押します。

例：午前6時15分に開始のとき



▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押して「分」を選び、SET ボタンを押します。



- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると、時刻表示は連続的に変化します。
- 続いて「終了時刻」の設定表示に移ります。

3 「終了時刻」を合わせる

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押して「時」を選び、SET ボタンを押します。

例：午前7時15分に終了のとき



▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押して「分」を選び、SET ボタンを押します。



- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押し続けると、時刻表示は連続的に変化します。
- 続いて録音するソース(音源)の設定表示に移ります。

4 演奏するソース(音源)を設定する

▶▶ または ◀◀ ボタンをくり返し押すごとに、下図のように切り換わります。SET ボタンを押して設定してください。



お知らせ

- CD や MD、TAPE を選んだときは、それぞれ演奏用の CD や MD、テープの準備をしておきます(⇒ 20 24 28 ページ参照)。
- 放送(FM/AM)を選んだときは、SET ボタンを押したあとに、▶▶ または ◀◀ ボタンを押してプリセット番号を選びます。
- AUX を選んだときは、タイマー機能のついている他の機器を用意してください。

5 音量を設定する

音量の設定表示になります。

▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音量を選び、SET ボタンを押します。

- ◀◀ ボタンを押して音量を「VOL. ー」に設定すると、今聞こえている音量と同じになります。
- DAILY タイマーがスタートして電源が入ったとき、音量 0 の状態から徐々に音が大きくなるウェイクアップボリューム機能が働きます。

6 設定内容を確認める

表示窓には、確認のため「開始時刻」「終了時刻」「再生ソース(FM/AMはプリセット番号も含む)」「音量」の順に自動で表示され、通常の表示に戻ります。

■例：CDで目覚ましタイマーを利用するとき

TRACK ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
⌚ DAILY

MD CD TAPE

CD 12 55:23

7 POWER ボタンを押して電源を「切」にする

設定の終了です。⌚ と DAILY 表示が点灯していることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると DAILY タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。DAILY タイマーは毎日同じ時刻にタイマー動作を始めます。

DAILY タイマーを解除する(休日前夜など)

- DAILY タイマーの設定内容は記憶されています。設定を解除するには、手順 1 の操作のあと CANCEL ボタンを押してください。「DAILY off」と表示され、⌚ と DAILY 表示が表示窓から消えます。

DAILY タイマーを再設定する(出勤・登校の前夜など)

- DAILY タイマーの設定内容は記憶されていますので、DAILY タイマーを解除しても簡単に再設定することができます。手順 1 の操作のあと SET ボタンを押してください。設定内容が表示窓に表示されます。⌚ と DAILY 表示が点灯します。

お知らせ

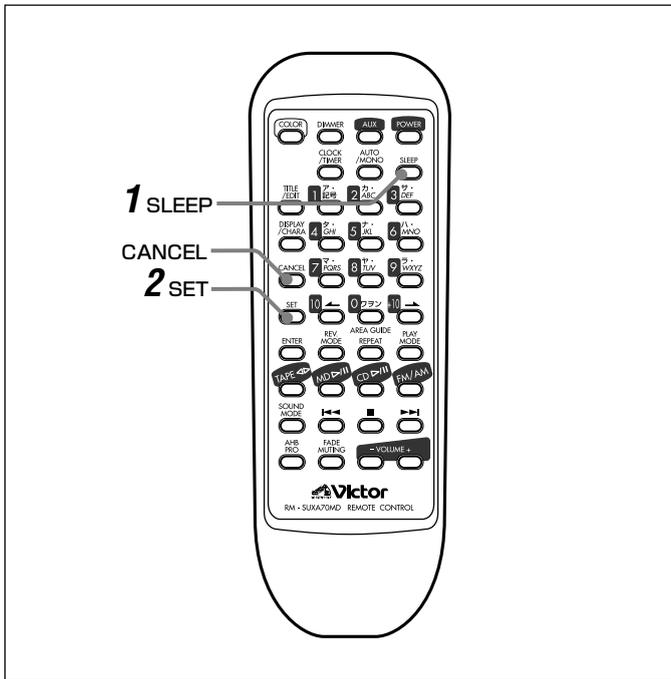
- REC タイマーとの併用もできますが、DAILY タイマー動作中に REC タイマーの開始時刻になると REC タイマーに切り換わります。

タイマーを使う (つづき)

SLEEPタイマー (おやすみタイマー)

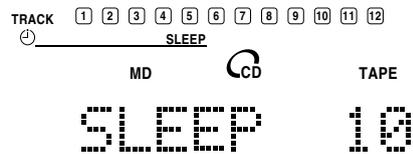
おやすみタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に合わせておいてください(⇒ 14 ページ参照)。

- 演奏中または停止中に、リモコンを使って操作します。

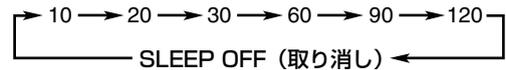


1 SLEEP ボタンを押す

表示窓にⓈと SLEEP 表示が点灯します(例)。



- ボタンを押すごとに、スリープ時間は次のように切り換わります。

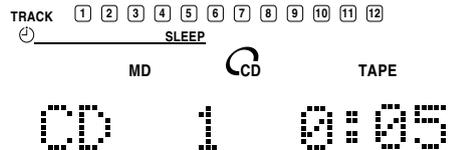


2 SET ボタンを押す

この例では 10 分後に電源が「切」の設定になります。表示窓が通常の表示に戻ります。

- 約 5 秒間何もしないと、自動的に設定されます。
- SLEEP タイマーを設定すると表示窓がうす明るい状態(オートディマー)になります。

■表示例(CD演奏中)



設定したスリープ時間を変更する

- SLEEP タイマー設定後に SLEEP ボタンを 1 回押すと、電源「切」までの残り時間が表示されます。
- 設定を変更するときには、もう一度 SLEEP ボタンをくり返し押しして希望の時間を選びます。

SLEEP タイマーを取り消す

- 表示窓の SLEEP 表示が消えるまで、SLEEP ボタンをくり返し押します。SLEEP タイマーが解除されます。
- POWER ボタンを押して電源を「切」にしたときも、SLEEP タイマーは解除されます。

SLEEP タイマーでおやすみになり、DAILY タイマーで目覚めるには

- DAILY タイマーを設定する (⇒ 52 ~ 53 ページ参照)
- 聞きたいソースを演奏する
- SLEEP ボタンを押して時間を設定する
 - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になり、DAILY タイマーの開始時刻で電源が「入」になります。

お知らせ

- REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タイマー動作中に REC タイマーの開始時刻になると REC タイマーに切り換わります。

MDのメッセージ

MDの操作中、表示窓にあらわれるメッセージには次のような意味があります。

メッセージ	意味	処置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、録音済みのMDに取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CAN NOT LISTEN	倍速録音中にCDの音を聞こうとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
DISC ERROR	MDが異常 (損傷している)。	MDを取り換えてください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください。 (→ 60 ページ参照)
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ボタンを押していったん停止してから、 MD OPEN/CLOSE ▲ (MD取り出し)ボタンを押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
HCMS CAN NOT COPY	倍速で録音した曲を、倍速録音を開始した時点から74分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74分以上待ってから録音を開始してください。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CAN NOT COPY	DVDやCD-ROM(ビデオ CD など)をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。 (DVDやビデオCDは再生できません)
PLAYBACK	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CAN NOT COPY	CD-R(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	POWER ボタンを押していったん電源「切」にした後、本機のCDプレーヤーではなく外部入力を使って録音してください。(→ 35 ページ参照)
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

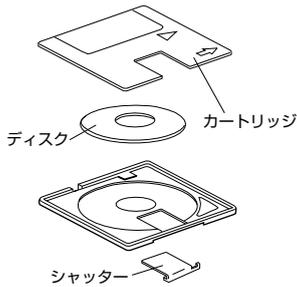
MDの技術解説

MD(ミニディスク)は直径64mmのディスクを使った新しいデジタルオーディオメディアです。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68mm×72mm、厚さ5mmのポケットサイズです。この中に直径64mmのディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。

また、中のディスクは、カートリッジ部およびシャッターによって保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。



2種類のディスク

MD(ミニディスク)には、録音できる「録音用MD」と再生のみできる「再生専用MD」の2種類のディスクがあります。どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

再生専用MD

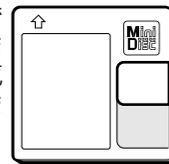
市販のMD(ミニディスク)ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。



再生専用MD

録音用MD

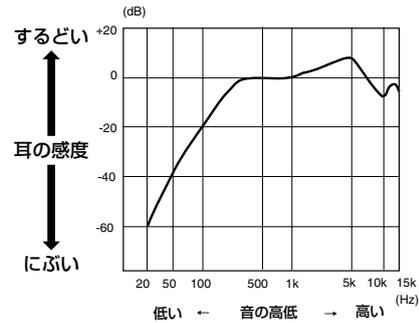
録音用MD(ミニディスク)で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気(MO: Magneto-Optical)ディスク」と呼びます。



録音用MD

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

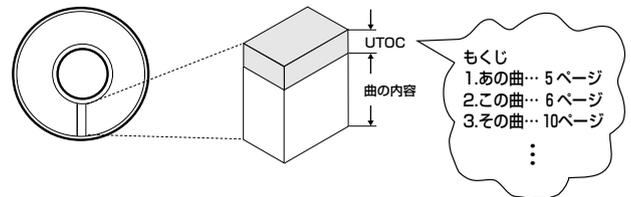
MD(ミニディスク)は、従来のCDの約半分のサイズですがCDと同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術(ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術(ATRAC)」では、聴感上聞えない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータを元のデータの約1/5の量にすることができ、長時間のステレオ録音/再生を可能にしました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。



UTOC (User Table Of Contents)

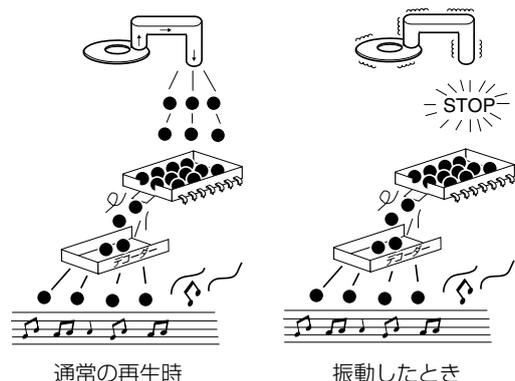
録音用MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。

また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。



音飛びガードメモリー

MD(ミニディスク)を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能があります。これを「音飛びガードメモリー」と呼び、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合、「音飛びガードメモリー」のデータが補完することによって、実際に聞こえる音が途切れたりしません。



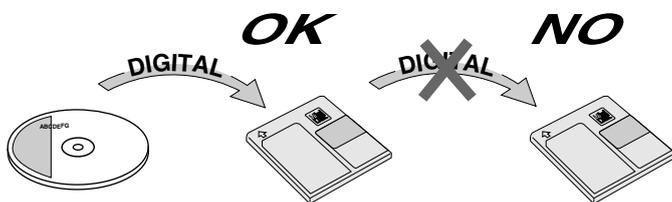
MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症 状	原 因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。(録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちこちに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。
「JOIN」機能が使えない。	分けられて8秒以下の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも2秒間の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

SCMS (Serial Copy Management System)

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。



ご注意

この規定により、1度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

- シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。

倍速録音に関して (HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。

本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の録音はできません。

例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速および等速(ノーマルスピード)で録音することはできません。

お知らせ

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

- 私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336 (代)

エリアガイド放送局一覧

AM 放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼び出されます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよくなる代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9
011,0123~0129 0131~0136 0141~0149	北海道	札幌	NHK1 567kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	HBC 864kHz	NHK1 945kHz	NHK2 1,125kHz	HBC 1,287kHz	STV 1,440kHz	*
0150~0152 0157~0159	北海道	網走 北見	NHK2 702kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	STV 909kHz	NHK1 1,188kHz	HBC 1,449kHz	STV 1,485kHz	NHK1 1,584kHz	*
0153~0156	北海道	釧路	NHK1 585kHz	NHK1 603kHz	STV 882kHz	STV 1,071kHz	NHK2 1,125kHz	NHK2 1,152kHz	HBC 1,269kHz	HBC 1,404kHz	*
0137~0139	北海道	函館	NHK1 567kHz	STV 639kHz	NHK1 675kHz	NHK2 747kHz	STV 882kHz	HBC 900kHz	HBC 1,269kHz	NHK2 1,467kHz	*
0160~0169	北海道	旭川	NHK1 621kHz	NHK2 747kHz	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	HBC 864kHz	NHK1 927kHz	STV 1,197kHz	NHK2 1,602kHz	*
0172~0179	青森	青森	NHK2 774kHz	NHK1 963kHz	NHK1 999kHz	RAB 1,233kHz	RAB 1,485kHz	*	*	*	*
018 0182~0189	秋田	秋田	NHK2 774kHz	ABS 936kHz	NHK1 1,503kHz	*	*	*	*	*	*
019 0190~0199	岩手	盛岡	NHK1 531kHz	IBC 684kHz	NHK2 774kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*
022 0220~0229	宮城	仙台	NHK1 891kHz	NHK2 1,089kHz	TBC 1,260kHz	*	*	*	*	*	*
023 0233~0239	山形	山形	NHK1 540kHz	NHK2 774kHz	YBC 918kHz	NHK1 1,368kHz	*	*	*	*	*
024 0240~0249	福島	郡山	NHK2 693kHz	NHK1 846kHz	RFC 1,098kHz	RFC 1,458kHz	*	*	*	*	*
025 0250~0259	新潟	新潟	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	BSN 1,062kHz	BSN 1,116kHz	BSN 1,530kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*
026 0260~0269	長野	長野	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 693kHz	NHK1 819kHz	SBC 864kHz	SBC 1,098kHz	*	*	*
027 0270~0279	群馬	前橋	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*	*
028 0280~0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	CRT 1,530kHz	*	*	*
029 0290~0299	茨城	水戸	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	IBS 1,197kHz	ニッポン 1,242kHz	IBS 1,458kHz	*	*
03,042,043,044,045 047,048,0421~0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	AFN 810kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	ラジオニホン 1,422kHz	*	*
052,0521~0529 0531~0536	愛知	名古屋	NHK1 729kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	SBS 1,404kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
053,054 0537~0549	静岡	静岡	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	*	*	*	*	*	*
0551~0557	山梨	甲府	NHK2 693kHz	YBS 765kHz	NHK1 927kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*
0550 0558~0559	静岡	沼津	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	SBS 1,557kHz	*	*	*	*	*
058 0561~0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK1 729kHz	NHK1 792kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
058 0592~0599	三重	津	NHK1 729kHz	NHK2 828kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	*	*	*	*	*
06 0720~0729	大阪	大阪	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
0734~0739	和歌山	和歌山	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	WBS 1,431kHz	*	*	*

- *印の欄およびP 9~P 15には、放送局がプリセットされておりません。好きな放送局をご自分でプリセットすることができます(⇒ 19 ページ「放送局を選んで記憶させる」参照)。
- 放送局名は表示窓に表示されます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよくなる代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6	P 7	P 8	P 9
075 0740~0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
076 0761~0762	石川	金沢	MRO 1,107kHz	NHK1 1,224kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
0763~0766	富山	富山	NHK1 648kHz	KNB 738kHz	NHK2 1,035kHz	*	*	*	*	*	*
0760 0767~0769	石川	七尾	NHK1 540kHz	MRO 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
077 0771~0775	京都、滋賀	大津	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	KBS 1,215kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
0770 0776~0779	福井	福井	FBC 864kHz	NHK1 927kHz	NHK2 1,521kHz	*	*	*	*	*	*
078 0790~0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
082,0823~0826 0828~0829	広島	広島	NHK2 702kHz	NHK1 1,071kHz	RCC 1,350kHz	*	*	*	*	*	*
0832~0839 0820,0827	山口	山口	NHK1 675kHz	KRY 765kHz	KRY 918kHz	NHK2 1,377kHz	AFN 1,575kHz	*	*	*	*
0840~0849	広島	尾道	NHK1 999kHz	RCC 1,530kHz	NHK2 1,602kHz	*	*	*	*	*	*
0851~0856	島根	松江	BSS 900kHz	NHK1 1,296kHz	BSS 1,431kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*	*	*
0857~0859	鳥取	米子	BSS 900kHz	NHK1 963kHz	NHK2 1,125kHz	NHK1 1,368kHz	BSS 1,431kHz	*	*	*	*
086 0863~0869	岡山、広島	岡山	NHK1 603kHz	NHK2 1,386kHz	RSK 1,494kHz	*	*	*	*	*	*
087 0875~0879	香川	高松	NHK2 828kHz	NHK2 1,035kHz	NHK1 1,368kHz	RNC 1,449kHz	*	*	*	*	*
0883~0886	徳島	徳島	NHK2 828kHz	NHK1 945kHz	JRT 1,269kHz	*	*	*	*	*	*
0880 0887~0889	高知	高知	RKC 900kHz	NHK1 990kHz	NHK1 999kHz	NHK2 1,152kHz	RKC 1,197kHz	*	*	*	*
089 0892~0899	愛媛	松山	NHK1 846kHz	NHK1 963kHz	Nancy 16 1,116kHz	NHK2 1,512kHz	*	*	*	*	*
092,093,0920 0930,0940~0949	福岡 長崎	福岡	NHK1 612kHz	NHK2 1,017kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	*	*	*	*	*
0951~0955	佐賀	佐賀	NHK1 612kHz	NHK2 873kHz	NHK1 963kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	NBC 1,458kHz	*	*	*
0950,095 0956~0959	長崎	長崎	NHK1 684kHz	NHK2 873kHz	NHK1 981kHz	NBC 1,098kHz	NBC 1,233kHz	*	*	*	*
096 0964~0969	熊本	熊本	NHK1 756kHz	NHK1 846kHz	NHK2 873kHz	RKK 1,197kHz	NHK1 1,341kHz	*	*	*	*
097 0972~0979	大分	大分	NHK1 639kHz	NHK2 873kHz	OBS 1,098kHz	*	*	*	*	*	*
0982~0987	宮崎	宮崎	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 873kHz	MRT 936kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*
098,0980 0988~0989	沖縄	那覇	NHK1 540kHz	NHK1 549kHz	AFN 648kHz	RBC 738kHz	ROK 864kHz	NHK2 1,125kHz	*	*	*
099 0991~0999	鹿児島	鹿児島	NHK1 576kHz	NHK1 792kHz	MBC 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*

ご注意

- 市外局番が4ケタを超える地域では
頭から4ケタまでを入力し、SETボタンを押してください。
- 市外局番が変更になったときは
変更される以前の市外局番を入力し、SETボタンを押してください。

お知らせ

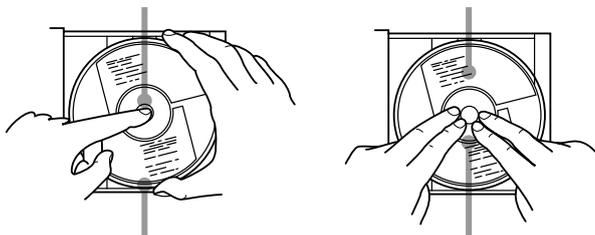
- 隣接した別の地域のAM放送の方がうまく受信できる場合は
聞きたい放送局が受信できる地域の市外局番を入力してください。特定の放送局だけの場合は、「放送局を選んで記憶させる」(→19) ページ参照)をご覧ください。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

・ケースからの出し入れ

- ① センターホルダーを押さえ ① 文字のある面を上にして…



- ② 演奏面(虹色に光っている面)に ② 上から押さえて入れる。
触れないように持って出す。

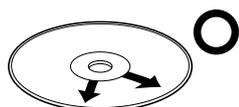
- ・CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- ・CDは曲げないでください。



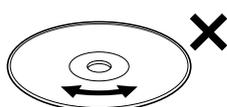
- ・文字のある面に  のマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。
- ・ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



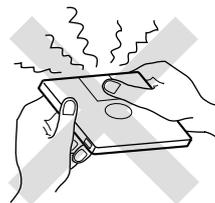
連続したキズは音飛びの原因となります。

- ・シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

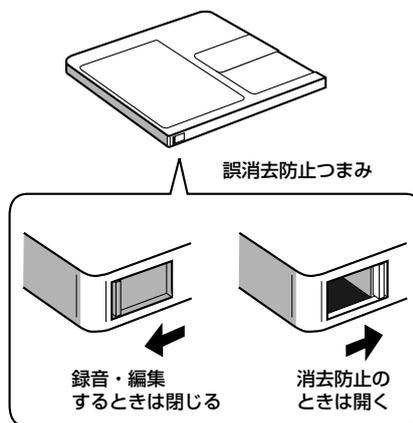


定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

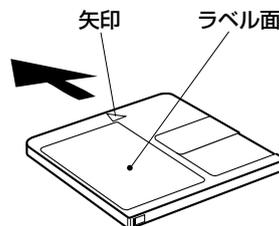
大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違えて消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしないことができません。録音や編集をしないときは、閉じた状態に戻してください。



お知らせ

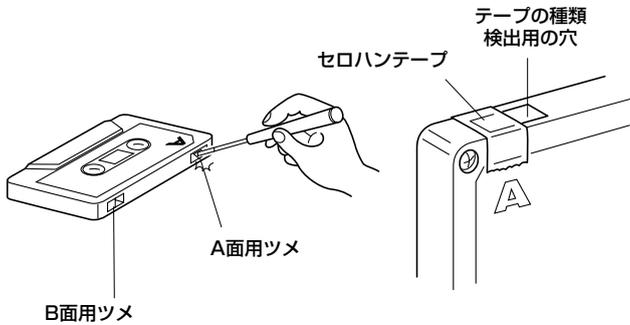
- ・曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- ・MDは  や  などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。



大切な録音を消さないために

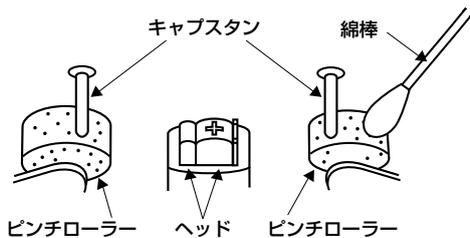
カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。



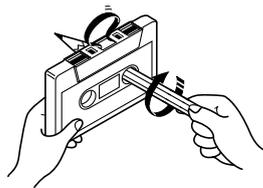
- ヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。



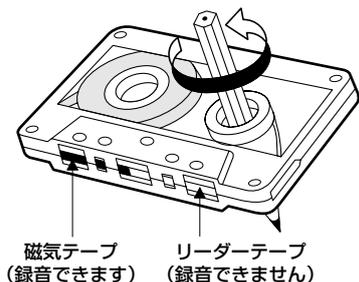
市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。



お知らせ

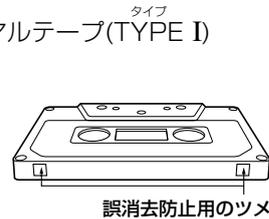
- リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。



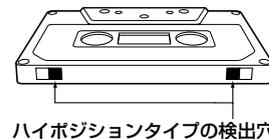
カセットテープの種類検出穴について

本機は、オートテープセレクト方式になっていますのでテープの種類は自動的に判別されます。

- ノーマルテープ(タイプ I)



- ハイポジションテープ(タイプ II)、再生に限り使用できません。



- メタルテープ(タイプ IV)、再生に限り使用できます。



本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

故障かな？と思う前に —修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください—

症 状	原 因	処 置	参照 ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「準備と接続」のページをご覧くださいになり、正しく接続する。	12
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	—
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いていたため。	時計を合わせ直す。	14
CD/MDの演奏が始まらない。	CD/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	20 24 60
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1~2時間待ち、乾いてから使う。	7
特定の箇所が正常に演奏できない。	CDに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	CD/MDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す。	60
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体に水平な状態にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	24 60
MD/テープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。 テープの誤消去防止用ツメをゼロハンテープなどでふさぐ。	60 61
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	61
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	11
ブーンという雑音ができる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	7 12
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。	正しい時刻に設定し直す。	14
	タイマーが解除されている。	タイマー表示  を確認して、設定し直す。	50
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	11
	リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	直射日光やけい光灯などの強い光が当たらないところで操作する。	—

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなが直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音・再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または④ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

②ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	マイクロコンポーネントMDシステム
型名	UX-A70MD-S (シルバー) または UX-A70MD-W (ホワイト)
お買い上げ	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎() -
------	---------	--------

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6682	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東六条南12-11
函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16 函館あおば生命ビル1F	
東北			
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市青葉2-21-2
岩手	盛岡 S.C.	(0172)28-0165	弘前市高田1-1-3
	盛岡 S.S.	(019)637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
秋田	水沢 S.S.	(0197)22-2773	水沢市天文台通り3-12
	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
宮城	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
山形	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	石巻市門脇字四番谷地8-18
福島	山形 S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)28-4991	いわき市平上荒川字桜町19-4
福島	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	会津若松市表町1-44 ハイッソンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越			
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(025)241-4003	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084 新潟市明石1-2-19
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(025)242-8391	940-0012 長岡市下条2-1366-1
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	上越 S.S.	(025)45-1734	942-0081 上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	長野サービスセンター	(026)221-7607	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913 長野市川合新田962-1
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	長野サービスセンター	(0263)25-9165	390-0828 松本市庄内2-4-21
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-0854 前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(028)635-2938	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(029)638-1639	321-0953 宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813 土浦市富士崎1-10-1
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836 水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(052)227-5773	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864 甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001 千葉市美浜区幸町2-1-1
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(0438)23-3035	292-0000 木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	浦安 S.S.	(047)75-4322	277-0863 柏市豊四季512-10-67
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(047)353-6189	279-0001 浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033 文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021 千代田区外神田1-6-6
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014 練馬区豊玉南1-19-1
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大田 S.S.	(03)3727-9385	145-0062 大田区北千束2-20-6
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045 八王子市大和田町2-9-6
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(03)3874-5231	110-0003 台東区根岸5-4-3
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5803-2888	279-0001 千葉県浦安市当代島2-13-27
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	新潟サービスセンター	(045)651-0403	231-0028 横浜市中区鶴町1-3-1
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239-0831 横須賀市久里浜6-4-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	川崎 S.S.	(044)975-1879	216-0024 川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	相模原 S.C.	(0463)36-2160	254-0065 平塚市南原2-4-5
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	相模原サービスセンター	(042)776-2052	229-0004 相模原市古淵3-7-4
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	相模原 S.S.	(042)776-2052	229-0004 相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006 静岡市由金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041 沼津市筒井町6-5
愛知	名古屋 S.C.	(053)421-3441	435-0041 浜松市北島町785
	三河 S.S.	(0568)25-3235	481-0041 西春日井郡西春日町九之坪鶴田121-1
	豊橋 S.S.	(0564)26-1005	444-2133 岡崎市井ノ口町河原西31
岐阜	岐阜 S.S.	(0532)64-0815	440-0853 豊橋市佐藤5-19-1
	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367 岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076 四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815 津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211 富山市二口町四丁目1-3
	石川 S.C.	(076)269-4821	921-8062 金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843 福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033 守山市浮気町268
	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027 大阪市淀川区田川2-4-28
京都	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401 京都市伏見区深草下川原町31-1
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059 福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027 大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0744)2-6271	634-0007 橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027 大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16
和歌山	【出張修理専門】のご相談窓口		
	堺 S.C.	(072)54-2881	591-8032 堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイッソン
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323 和歌山市太田430-8
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(0739)22-9976	646-0031 田辺市湊1581-12
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086 神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口		
	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975 姫路市地中町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927 岡山市西古松西町8-23
	広島 S.S.	(082)243-9839	730-0825 広島市中区光南3-9-17
山口	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973 福山市南蔵王町3-5-15
	山口 S.C.	(0839)73-3708	754-0022 吉敷郡小郡町花園町5-28
島根	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042 徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852 下関市熊野町2-14-23
鳥取	山陰ビクター販売(株)サービスセンター	(0852)31-8900	690-0823 松江市学園1-16-39
	松江 S.S.	(0853)21-4611	693-0001 出雲市今市町854
鳥取	松江 S.S.	(0855)22-1584	697-0023 浜田市長沢町671-1
	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0845 鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057 高松市田村町205-1
	徳島 S.S.	(088)622-7387	770-8052 徳島市沖浜2-3-7
徳島	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122 高知市高須新町4-1-143
	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015 松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087 宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881 新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄			
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011 福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)39-3495	830-0038 久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.S.	(093)921-3981	802-0065 北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	【出張修理専門】のご相談窓口		
	佐賀 S.S.	(095)226-8785	840-0023 佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	【出張修理専門】のご相談窓口		
	長崎 S.S.	(095)862-5522	852-8021 長崎市城山町9-13
大分	【出張修理専門】のご相談窓口		
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166 佐世保市水島町1467-2
熊本	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882 大分市大道町4-1-2
宮崎	【出張修理専門】のご相談窓口		
	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101 熊本市近見町8-1-10
鹿児島	【出張修理専門】のご相談窓口		
	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032 宮崎市霧島町3-59
沖縄	【出張修理専門】のご相談窓口		
	延岡 S.S.	(0982)35-7707	882-0857 延岡市惣領町24-3
沖縄	【出張修理専門】のご相談窓口		
	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034 鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	【出張修理専門】のご相談窓口		
	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1000

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様

— 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。 —

MD/CD レシーバー : CA-UXA70MD

アンプ部

実用最大出力 15 W+15 W (EIAJ/4 Ω)
 入力端子 LINE×1系統、500 mV/47 kΩ
 出力端子 スピーカー端子×1系統、15 W/4 Ω
 適合インピーダンス 4 Ω~16 Ω
 ヘッドホン(×1)、15 mW/32 Ω
 適合インピーダンス 16 Ω~1 kΩ

チューナー部

受信周波数 FM : 76.0~108.0 MHz
 AM : 531~1,629 kHz
 アンテナ FM : 75 Ω不平衡型
 AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式 1日2動作 (DAILY、REC)
 スリープタイマー 10、20、30、60、90、120分
 (オートタイマー)
 時刻表示 24時間表示

CDプレーヤー部

形式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
 サンプリング周波数 44.1 kHz
 チャンネル数 2チャンネル・ステレオ
 周波数特性 20 Hz~20 kHz

MDレコーダー部

形式 ミニディスクデジタルオーディオシステム
 記録方式 磁界変調オーバーライト方式
 録音再生時間 録音モードSP : 80分 (MD80使用)
 録音モードLP2 : 160分 (MD80使用)
 録音モードLP4 : 320分 (MD80使用)

サンプリング周波数 44.1 kHz
 音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
 チャンネル数 2チャンネル・ステレオ
 周波数特性 20 Hz~20 kHz

カセットデッキ部

形式 コンパクトカセットステレオ
 録音方式 交流バイアス
 消去方式 交流消去
 ヘッド 消去 (2ギャップフェライト) } コンビネー
 録音・再生 (ハード/パーマロイ) } ション×1
 早巻き時間 約200秒 (C-60)
 周波数範囲 60 Hz~15 kHz (メタル/ハイポジションテー
 プ、再生のみ)
 60 Hz~14 kHz (ノーマルテープ)

共通部

最大外形寸法 幅 161 mm × 高さ 217 mm × 奥行 330 mm
 質量 約 5 kg

スピーカー : SP-UXA70MD (1本当たり)

形式 2ウェイバスレフ型
 使用スピーカー 低音用 : 10 cm コーン型 × 1
 高音用 : 4 cm コーン型 × 1
 定格入力 6 W (JIS)
 最大入力 24 W (JIS)
 定格インピーダンス 4 Ω
 再生周波数帯域 50 Hz~20 kHz
 出力音圧レベル 85 dB/W・m
 最大外形寸法 幅 130 mm × 高さ 215 mm
 × 奥行 231.5 mm
 質量 約 2 kg (1本)

マイクロコンポーネント MD システム : UX-A70MD

総合

電源電圧 AC 100V(50 Hz/60 Hz共用)
 消費電力 49 W (電源「入」時)
 3W (電源「切」時)

最大外形寸法 幅 431 mm × 高さ 217 mm × 奥行 330 mm
 (付属のスピーカーを含む)
 質量 約 9 kg

付属品 (⇒ 7 ページ参照)

電源コード 1
 AMループアンテナ 1
 FM簡易型アンテナ 1
 リモコン (RM-SUXA70MD) 1
 単3形乾電池 (リモコン動作確認用) 2
 スピーカー 2

- EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリ

• CD レンズクリーナー : CL-CDL
 • MD レンズクリーナー : CL-ML
 • 変換器 : VZ-71A
 • RCA ピンコード : CN-180G
 • レコードプレーヤー : AL-E350
 • フォノイコライザー : AC-S100J

別売りアクセサリは、お買い上げの販売店でお求めください。

索引

英数字・記号

A

AHB PRO(アクティブハイパーバスプロ)	16
ALC方式	32 37 39
ALL ERASE	49
AMループアンテナ	11
AREA GUIDE(エリアガイド)	18 58
ATRAC	56
ATRAC3	2 56
AUTO/MONO	17

B

BASS	16
BLANK DISC(ブランクディスク)	24 55

C

CAN NOT LISTEN	34 55
CD 0 0:00	20
CD NO DISC	20
CDシンクロ録音	32 37 39
CDトレイ	20
CD倍速録音	33
CLASSIC	16
CLOCK ADJUST	50
CLOCK/TIMER	14 50
COLOR	15

D

DAILYタイマー	52
DIMMER	15
DISPLAY/CHARA	42
DIVIDE	45

E

ERASE	48
-------	----

F

FADE MUTING	16
FLAT	16
FM簡易型アンテナ	11

H

HCMS(倍速録音に関して)	31 57
HELLO	13

J

JOIN	46
------	----

L

LINE IN(AUX)端子	12 29
LP:	31
LP2,LP4	24 31 56

M

M1,M2	15
MDLP	2 24 31
MDスロット	24
MEMORY	15
MEMORY FULL	22 26
MONO	17
MOVE	47

N

NAME CUT	18
----------	----

P

PLAYBACK	41 55
PLAY MODE(プレイモード)	22 26
POP	16
POWER	13 51 53
PROGRAM(PRGM)	22 26

R

RANDOM	15 23 27
REC MODE	30
RECタイマー	50
REPEAT(リピート)	21 25
REV. MODE(リバースモード)	28 37 39
RGB	15
ROCK	16

S

SCMS	57
SEE YOU	13
SLEEPタイマー	54
SOUND MODE(サウンドモード)	16
SP	24 31
STEREO	17

U

UTOC	31 36 41 56
------	-------------

V

VOL.—	53
VOL.MAX,VOL.MIN	16

数字・記号

1曲リピート演奏	21 25
1曲録音	33 34 38 40
8センチCD	20
←/→	41 45

五十音

あ

アクティブハイパーバスプロ(AHB PRO)	16
頭出し(スキップ)	21 25
アンテナ端子	11
イチ押しボタン	13
ウェイクアップボリューム	50
エリアガイド(AREA GUIDE)	18 58
往復再生(テープ)	28
往復録音(テープ)	37 39
オート選局	17
音飛びガードメモリー	56
音のエチケッ ト	7
おやすみタイマー	54

か

カセットテープの種類検出穴	61
カートリッジ(MD)	60
片道再生(テープ)	28
片道録音(テープ)	37 39
誤消去防止つまみ(MD)	60
誤消去防止用のツメ(テープ)	61

さ

再生専用MD	56
サウンドシンクロ録音	30 35
サウンドモード(SOUND MODE)	16
サーチ(早送り/早戻し)	21 25
サランネット	12
シェイプCD	20 60
シャッター(MD)	60
周波数	17
受信モード	17
スキップ(頭出し)	21 25
ステレオ長時間録音	24 31 56
スペーサー	12
全曲リピート演奏	21 25

た

タイトル入力に使える文字・記号と数字	43
タイトル編集	41
ダイレクト演奏	21 25
電源コード	13
電動パネル	15 20 24
同時録音	39
トラックナンバー	44
トラック編集	44
トラックマーク	31 36 44

は

倍速録音	31 33 57
早送り/早戻し(サーチ)	21 25
光の三原色	15
表示窓の色	15
ブランクディスク(BLANK DISC)	24 55
プリセット番号	18 19
プリセット選局	18 19
プレイモード(PLAY MODE)	22 26
プログラム演奏	22 26
プログラム録音	33 34 38 40

ま

マニュアル選局	17
目覚ましタイマー	52
メモリー	18

ら

ランダム演奏	23 27
リーダーテープ	61
リバースモード(REV. MODE)	28 37 39
リピート演奏	21 25
連続再生(テープ)	28
録音残量時間	33 34 36 40
録音済みのテープの音を消す	38
録音タイマー	50
録音方式	30 31
録音モード	30
録音用MD	56

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
64 ページの「ビクターサービス窓口案内」を ご覧ください。	東京 ☎ (03) 5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765-4161 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>



JVC

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット
〒371-8543 前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン (027) 254-8952